



XPERIA XZ Premium SO-04J

取扱説明書

'17.11

はじめに

「SO-04J」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

SO-04Jの取扱説明書について

●『クイックスタートガイド』（本体付属品）

各部の名称と機能などを説明しています。

●『取扱説明書』（本端末のアプリ）

各種機能の操作や設定操作などを説明しています。
『取扱説明書』アプリを利用するには、ホーム画面で  [取扱説明書] をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

以後は電子書籍としてご覧いただけます。また、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。

『取扱説明書』アプリをアンインストールした場合は、PlayストアでGoogle Playにアクセスして再インストールできます。ホーム画面で [Playストア] をタップし、『取扱説明書』アプリを検索して選択し、画面の指示に従って操作します。

●『取扱説明書』（PDF ファイル）

各種機能の操作や設定操作などを説明しています。
次のドコモのホームページよりダウンロードできます。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/so04j/index.html>

※ 最新情報ダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

❖ 注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- SO-04Jに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

操作説明文の表記について

本書では、各キー（P.29）およびキーアイコン（P.45）を 、、、、 と表記しています。

また、キー操作や画面に表示されるアイコン・項目の選択操作などを次のように表記して説明しています。

表 記	操作内容
 を1秒以上押す	本体側面のカメラキー（  ）を1秒以上押す
ホーム画面で  ▶ 【設定】▶【画面設定】	ホーム画面で  （アプリボタン）をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「画面設定」をタップする
アイコンをロングタッチ	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

❖お知らせ

- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の画面や製品とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SO-04J」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書はテーマが「Xperia™ Loops」の場合で説明しています。

- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています（P.73）。別のアプリを設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。

本体付属品

- SO-04J 本体（保証書付き）



- クイックスタートガイド



- SO-04Jのご利用にあたっての注意事項
安全上／取り扱い上のご注意

- テレビアンテナケーブル SO01



本端末に対応するオプション品（別売）は、
ドコモのオンラインショップでも確認、購入
いただけます。

[https://www.mydocomo.com/
onlineshop/options/index.html](https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html)

目次

■ 本体付属品	2
■ 本端末のご利用について	5
■ 安全上のご注意 (必ずお守りください) ..	7
■ 取り扱い上のご注意	17
■ 防水／防塵性能	23

ご使用前の確認と設定 29

各部の名称と機能	29
ドコモnanoUIMカードについて	30
microSDカードについて	34
充電する	37
電源を入れる／切る	42
初期設定を行う	43
基本操作	44
通知LEDについて	50
ステータスバー	50
通知パネル	53
クイック設定パネル	54
ホーム画面	55
アプリ画面	63
タスクマネージャ	71
分割画面	72
ホームアプリの切り替えかた	73
本端末内やウェブページの情報を検索する ..	73
文字入力	74
文字入力の設定	81

docomo LIVE UX 82

ホーム画面の見かた	82
ホーム画面の管理	82
アプリ画面の見かた	85
すべてのアプリを表示	87

ホーム画面のバックアップと復元	87
マイマガジンを利用する	88
ホームアプリの情報を確認する	89

電話 90

電話をかける／受ける	90
通話中の操作	95
発着信履歴	97
通話設定	99
電話帳	103

メール／ウェブブラウザ ... 109

ドコモメール	109
メッセージ (SMS)	109
Eメール	112
Gmail	116
緊急速報「エリアメール」	117
Chrome	118

アプリ 122

dメニュー	122
dマーケット	122
Playストア	123
おサイフケータイ	124
テレビ	129
カメラ	135
アルバム	146
メディアプレイヤー	149
位置情報サービスについて	151
スケジュール	154
時計	155
ドコモデータコピー	157

本体設定 160

設定メニューを表示する	160
ネットワークとインターネット	160
機器接続	170
外観	171
アプリと通知	171
バッテリー	174
画面設定	175
音設定	177
ストレージ	179
ロック画面とセキュリティ	180
ドコモのサービス／クラウド	189
ユーザーとアカウント	190
アシスト	192
ユーザー補助	193
Google	195
システム	195

ファイル管理 199

ストレージ構成	199
ファイル操作	199

データ通信 201

Bluetooth機能	201
NFC通信	203

外部機器接続 206

パソコンとの接続	206
DLNA機器との接続	207

海外利用 208

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要	208
海外で利用可能なサービス	208
海外でご利用になる前に	209
滞在先で電話をかける／受ける	212
国際ローミングの設定	214
帰国後の確認	215

付録／索引 216

トラブルシューティング	216
あんしん遠隔サポート	224
保証とアフターサービス	225
ソフトウェアアップデート	228
パソコンに接続して更新する	232
主な仕様	232
認証および準拠について	237
携帯電話機の比吸収率などについて	238
エンドユーザーライセンス契約	251
輸出管理規制について	252
知的財産権について	253
SIMロック解除	256
索引	257

本端末のご利用について

- ・本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音とししか聞き取れません。
- ・本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。

- ・本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。
- ・本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては責任を負いかねます（P.190）。
- ・お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ・本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

- ・本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- ・公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- ・本端末のソフトウェアバージョンは、ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末情報] をタップして確認できます。
- ・microSDカードと端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- ・本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（P.228、P.232）。
- ・本端末の品質改善を行うため、ソフトウェアアップデートによってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ・本端末では、ドコモ nanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモ miniUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモ nanoUIMカードにお取り替えください。
- ・紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.185）。
- ・万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- ・Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社では一切責任を負いかねます。
- ・利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ・アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・spモード、mopera Uおよびビジネスmopera インターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ・テザリングのご利用には、パケットパック/パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。

- ・ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※ 3 物の損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は、次の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、ドコモ nanoUIM カード、テレビアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）..... 8
2. 本端末の取り扱いについて 10
3. アダプタの取り扱いについて 13
4. ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて 15
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて ... 15
6. 材質一覧 16

1. 本端末、アダプタ、ドコモ nanoUIM カード、テレビアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）

危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒ P.23 「防水・防塵性能」



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
⇒ P.23 「防水・防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

⇒P.23「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

⇒P.23「防水／防塵性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用の際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- ・本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
⇒P.23 「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2. 本端末の取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質などが目や口の中に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモ nanoUIM カード／microSD カード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、ドコモ nanoUIM カードや microSD カードの挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください。電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ベットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などに付けないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

⇒P.16「材質一覧」



指示

本端末の受話口／スピーカー部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3. アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トランスコンバーター）を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で
可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書で確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

4. ドコモ nanoUIMカードの取り扱いについて

注意



指示

ドコモ nanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（側面、ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー）	ポリカーボネート樹脂	塗装処理
外装ケース（上面、下面）、音量キー、カメラキー	アルミニウム合金	アルマイト処理
外装ケース（背面、フラッシュ／フォトライト、レーザー AFセンサー、RGB-IRセンサー）、カメラレンズ、透明板（ディスプレイ、カメラレンズ）	強化ガラス	AFP 処理
外装ケース（ヘッドセット接続端子、USB Type-C™ 接続端子）	ナイロン樹脂（ガラス繊維入り）	—
カメラリング（背面）	ステンレス鋼	PVD 処理
電源キー	IC + エポキシ樹脂	塗装処理 + 印刷
ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの防水ラバー	シリコンゴム	—
microSDカードのトレイ、ドコモ nanoUIMカードのトレイ	ポリアセタール樹脂	—
テレビアンテナケーブル：ヘッドセット接続端子（天面）、接続プラグ（天面）	ポリプロピレン樹脂	—

使用箇所	材質	表面処理
テレビアンテナケーブル：ヘッドセット接続端子（ボディー）、ケーブル	エラストマー樹脂	—
テレビアンテナケーブル：接続プラグ（金属部）	黄銅	金メッキ処理

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- ・SO-04Jは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。

アダプタ、ドコモnanoUIMカード、テレビアンテナケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- ・破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。その場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご相談ください。
- ・お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。

- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- ・端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- ・エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- ・本端末に無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
- ・オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。
- ・対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ・落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ 本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご利用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- 通常はドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると端末の誤作動の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接／照度センサーを使用する各種機能が動作しないなど、正常に動作しない場合があります。
近接／照度センサーの位置は、以下をご参照ください。
⇒P.29「各部の名称と機能」

- ・内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- ・充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- ・内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- ・本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- ・本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

■ アダプタについてのお願い

- ・充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- ・次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- ・充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- ・DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- ・抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- ・強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモnanoUIMカードについてお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。

- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

■ Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。

8：想定される干渉距離が80m以下であることを示します。

■ ■ ■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

・Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

- 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

- その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてお願い

・無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

・無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところを利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。

- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

・2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

・5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。

- 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
- 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHz帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

■ FeliCa®およびNFCリーダー／ライター機能についてのお願い

・本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。

・使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。

また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

・航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、ホーム画面で  [設定] ▶ [システム] ▶ [端末情報] ▶ [認証] をタップしてご確認ください。

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SO-04Jは、ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※¹、IPX8※²の防水性能、IP6X※³の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSO-04Jを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SO-04Jが有する防水／防塵性能 でできること

- ・ 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開閉はしないでください。
- ・ 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
 - 洗うときはドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.27）。
- ・ プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- ・ 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（P.27）で水抜きしてください。

- 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
- 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

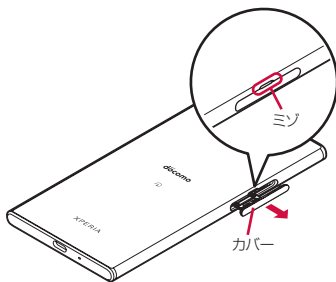
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

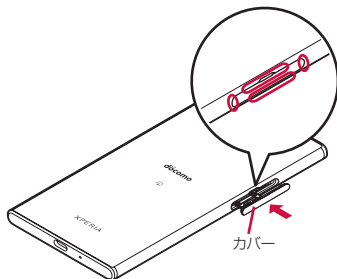
- ・ 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ・ ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- ・ 受話口／スピーカー、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、USB Type-C接続端子などを尖ったものでつかないでください。

- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

- **ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開きかた**
ミゾに指先（爪）をかけてカバーを矢印の方向に引き出してください。



- **ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの閉じかた**
矢印の方向へトレイを奥まで押し込んで
○部分をしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認してください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- ・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- ・規定（P.23）以上の強い水流を直接当てないでください。SO-04JはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- ・万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。

- ・本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- ・水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- ・プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- ・本端末は水に浮きません。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- ・受話口／スピーカー、送話口（マイク）、スピーカー、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ・ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ・ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- ・本端末が水で濡れた状態でテレビアンテナケーブルやイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

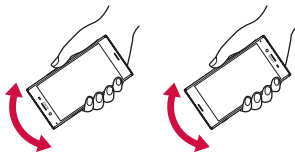
水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

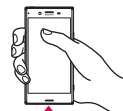
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



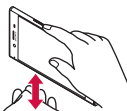
- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り（左図）、上下の向きを変え、再度20回程度振る（右図）



- ③ 本端末の次の部分やすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて拭き取る
- 受話口／スピーカー
 - 送話口（マイク）
 - スピーカー
 - セカンドマイク
 - ヘッドセット接続端子
 - USB Type-C接続端子
 - 電源キー／画面ロックキー／指紋センサー
 - 音量キー／ズームキー
 - カメラキー
 - ドコモ nanoUIM カード／microSD カード挿入口のカバー



上下の向きを変えて
拭き取る



上下の向きを変えて
拭き取る

- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

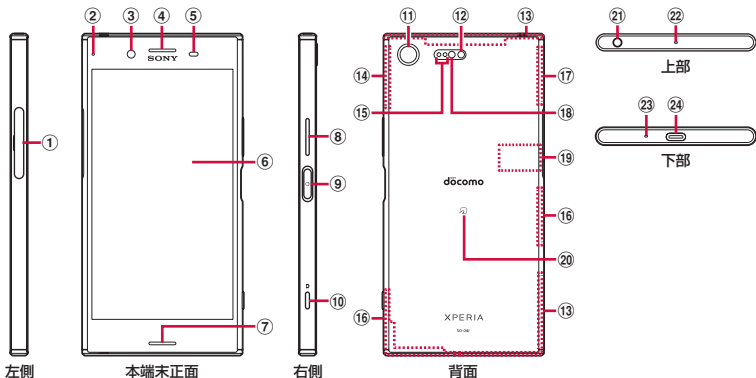
- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。
- 常温の環境で約3時間、自然乾燥させてください。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- 本端末が濡れている状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でType-Cプラグを挿入すると、本端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショートによる異常発熱、故障、火災、やけど、感電などの原因となります。

各部の名称と機能



- ① ドコモ nanoUIM カード／microSD カード挿入口
- ② 通知 LED → P.50
- ③ フロントカメラレンズ
- ④ 受話口／スピーカー
- ⑤ 近接／照度センサー：通話中に顔の接近を検出し、タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- ⑥ タッチスクリーン → P.44
- ⑦ スピーカー
- ⑧ 音量キー／ズームキー
- ⑨ 電源キー／画面ロックキー／指紋センサー → P.42、P.186
- ⑩ カメラキー → P.135、P.139、P.140
- ⑪ カメラレンズ
- ⑫ フラッシュ／フラッシュライト

- ⑬ LTE／FOMA アンテナ部※¹
- ⑭ LTE／Wi-Fi アンテナ部※¹
- ⑮ レーザー AF センサー：撮影時に被写体との距離を検出して自動でピントを合わせます。
- ⑯ LTE アンテナ部※¹
- ⑰ LTE／Wi-Fi／Bluetooth／GPS アンテナ部※¹
- ⑱ RGB-C-IR センサー：撮影時に撮影環境の光源の成分を検出して自動でホワイトバランスを調整します。
- ⑲ 銘板プレート※²
- ⑳ マーク
- ㉑ ヘッドセット接続端子 → P.130、P.233
- ㉒ セカンドマイク：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
- ㉓ 送話口（マイク）
- ㉔ USB Type-C 接続端子

※1 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※2 CEマーク、FCC ID、IMEI情報などを印刷したシールが貼られています。シールをはがしたり、銘板プレートを取り外したりしないでください。故障修理をお断りする場合があります (P.225)。

❖ 注意

- ・近接／照度センサーやレーザー AF センサー、RGBC-IR センサーの上にはシールなどを貼らないでください。
- ・リアカバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- ・電池は本体に内蔵されており、取り外せません。

ドコモ nanoUIM カードについて

ドコモ nanoUIM カードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されている IC カードのことです。

- ・本端末では、ドコモ nanoUIM カードを使用します。ドコモ miniUIM カード、ドコモ UIM カード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ・ドコモ nanoUIM カードが本端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用することができません。

- ・ドコモ nanoUIM カードについて詳しくは、ドコモ nanoUIM カードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・microSD カードを取り付けている場合は、必ず microSD カードのマウント（読み書き可能状態）を解除 (P.36) してから、ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しを行ってください。
- ・電源オンの状態で、ドコモ nanoUIM カードを取り付けたドコモ nanoUIM カードのトレイを抜き差しすると、本端末が再起動します。
- ・ドコモ nanoUIM カード／microSD カード挿入口のカバーの開閉については、「防水／防塵性能を維持するために」(P.24) をご参照ください。

■ ドコモ nanoUIM カードの暗証番号について

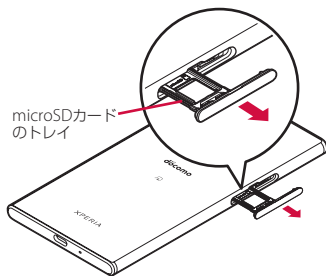
ドコモ nanoUIM カードには、PIN コードという暗証番号があります (P.183)。

❖ お知らせ

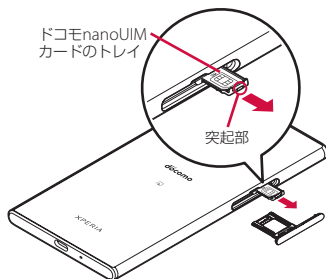
- ・ドコモ nanoUIM カードを取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

ドコモ nanoUIMカードを取り付ける

- 1 ドコモ nanoUIMカード／ microSD カード挿入口のカバーを引き出す (P.25)
- 2 本端末から microSD カードのトレイをまっすぐに引き出して取り外す



- 3 ドコモ nanoUIMカードのトレイの突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す



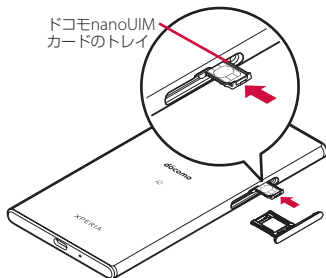
- 4 ドコモ nanoUIMカードのICを上にしてドコモ nanoUIMカードのトレイにはめ込む

- ・切り欠きの方向にご注意ください。
- ・ドコモ nanoUIMカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。



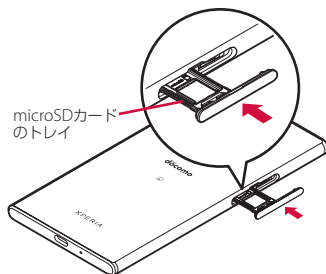
5 本端末を水平にして、ドコモ nanoUIM カードのトレイごと本端末に差し込んで奥までまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。

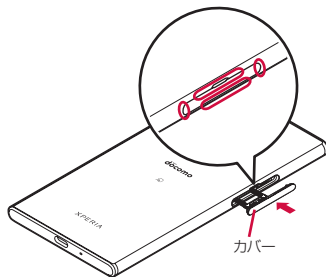


6 microSD カードのトレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。

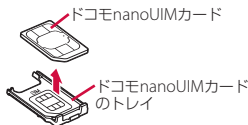


7 microSD カードのトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する



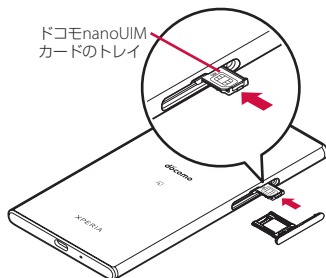
ドコモ nanoUIM カードを取り外す

- 1 ドコモ nanoUIM カード／ microSD カード挿入口のカバーを引き出す (P.25)
- 2 本端末から microSD カードのトレイをまっすぐに引き出して取り外す (P.31)
- 3 ドコモ nanoUIM カードのトレイの突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す (P.31)
- 4 ドコモ nanoUIM カードのトレイからドコモ nanoUIM カードを取り出す



- 5 本端末を水平にして、ドコモ nanoUIM カードのトレイを本端末に差し込んで奥までまっすぐに押し込む

• 本端末とトレイの向きにご注意ください。



- 6 microSD カードのトレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む (P.32)

• 本端末とトレイの向きにご注意ください。

- 7 microSD カードのトレイを奥までしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する (P.32)

microSDカードについて

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。microSDカードは互換性のある他の機器でも使用できます。

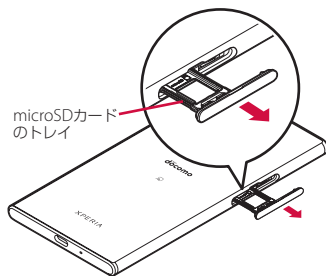
- ・本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、256GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2017年11月現在）。
- ・市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードについては、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- ・microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けしないでください。
- ・データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化を行う必要があります（microSDXCカードのデータはすべて削除されます）。
- ・SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード（microSDHCカードやmicroSDカードなど）をご利用ください。

- ・本端末が対応しているmicroSDカードのスピードクラスは最大クラス10、UHSスピードクラスはクラス1です。ただし、スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

microSDカードを取り付ける

- ・ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開閉については、「防水／防塵性能を維持するために」（P.24）をご覧ください。

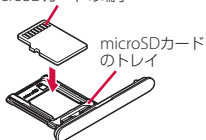
- 1 **ドコモ nanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを引き出す（P.25）**
- 2 **本端末からmicroSDカードのトレイをまっすぐに引き出して取り外す**



3 microSDカードの端子面を上にして microSDカードのトレイにはめ込む

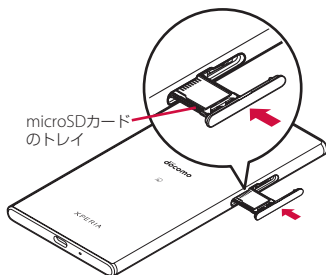
- microSDカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。

microSDカードの端子



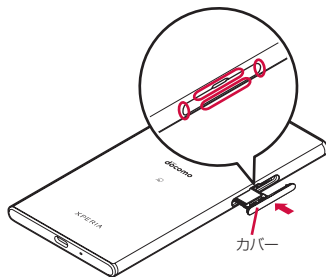
4 本端末を水平にして、microSDカードのトレイごと本端末に差し込んで まっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



5 microSDカードのトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、 本端末とカバーにすき間がないことを確認する

- ステータスバーにが表示され、microSDカードの書き込みができるようになります。

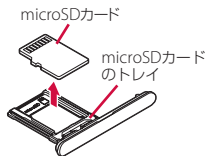


microSDカードを取り外す

microSDカードの取り外しは、マウント（読み書き可能状態）を解除してから行います。

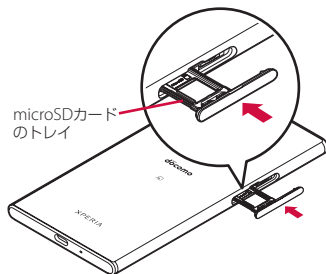
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーの開閉については、「防水／防塵性能を維持するために」（P.24）をご参照ください。

- ホーム画面で田▶【設定】▶【ストレージ】
- 「SDカード」の▲をタップ
 - microSDカードのマウントが解除されます。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカード挿入口のカバーを引き出す（P.25）
- 本端末からmicroSDカードのトレイをまっすぐに引き出して取り外す（P.34）
- microSDカードのトレイからmicroSDカードを取り出す



- 本端末を水平にして、microSDカードのトレイを本端末に差し込んでまっすぐに押し込む

- 本端末とトレイの向きにご注意ください。



- microSDカードのトレイを奥までしっかりと押し、本端末とカバーにすき間がないことを確認する（P.35）

充電する

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

- ・ 充電時間の目安について (P.232)

十分に充電したときの使用可能時間 (目安)

使用環境や内蔵電池の状態により、本端末を使える時間は異なります。

- ・ 使用可能時間の目安について (P.232)

内蔵電池の寿命について

- ・ 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- ・ 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。
- ・ 充電しながらテレビの視聴などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- ・ 内蔵電池の性能は、ホーム画面で **田** ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末情報] ▶ [機器の状態] ▶ [電池性能表示] をタップすると確認できます。

充電について

- ・ 充電にはACアダプタ 06 (別売品) を使用することをおすすめします。ACアダプタ 06の取り扱いについて詳しくは、ACアダプタ 06の取扱説明書をご覧ください。
- ・ ACアダプタ 06の対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ・ 充電には対応のACアダプタやUSBケーブル A to Cをご使用ください。対応充電器以外をご使用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ・ ACアダプタのコードやUSBケーブル A to Cは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- ・ 充電を開始すると、本端末の通知LEDが電池残量に応じた色で点灯します (P.50)。
- ・ 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で **田** ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末情報] ▶ [機器の状態] をタップし、「電池残量」で確認できます。
- ・ 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが充電状況をお知らせする画面が起動します。このため、電源を切る必要がある場所では充電を行わないでください。

電池の寿命を延ばすには（いたわり充電）

いたわり充電とは、お客様の充電の習慣（充電器に長く接続している時間帯）を学習して充電速度を調節し、電池の性能をより良い状態に保ち、電池の寿命を延ばすための機能です。

■「いたわり充電」機能を開始する

学習した充電の習慣から、充電器が取り外される時刻を予測し、その時刻に満充電になるように充電速度を調節します。いたわり充電で充電を開始後、満充電になる前にいったん充電を停止した状態にします。その後、満充電の予定時刻の前に充電を再開し、満充電予定時刻に満充電になるよう充電します。

■通常の充電に切り替える

- ホーム画面で **田**▶ [設定] ▶ [バッテリー] ▶ [いたわり充電] ▶ **●** をタップし、いたわり充電をオフにします。
- いたわり充電を一時的に中断して通常の充電に切り替えるには、ステータスバーを下にドラッグして、いたわり充電の通知をタップします。

❖注意

- 習慣の学習の完了には7日以上かかる場合があります。

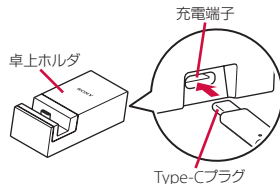
- 充電の習慣に規則性を見つけれない場合は学習が完了しないため、いたわり充電は開始されず、通常の充電となります。
- いたわり充電中に充電器を取り外すと、満充電されていない場合があります。

卓上ホルダを使って充電する

卓上ホルダ SO27（別売品）とACアダプタ 06（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

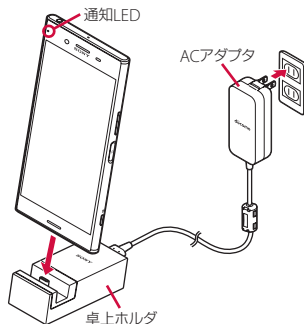
- 卓上ホルダに付属されているアタッチメントは本体の厚みによって使い分けて取り付けて充電してください。アタッチメントを取り付けていない卓上ホルダに本端末を取り付けると、USB Type-C 接続端子などの破損の原因となります。
- 本端末に市販のケースやカバーを取り付けていない場合は、卓上ホルダにはアタッチメント 52B（P.39）を取り付けてお使いください。

1 卓上ホルダの背面の充電端子に、ACアダプタのType-Cプラグを差し込む



2 ACアダプタの電源プラグを起こしてコンセントに差し込み、本端末を卓上ホルダに取り付ける

- 電源オンの状態で充電を開始すると充電の開始音が鳴り、本端末の通知LEDが点灯します (P.50)。



3 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本端末を上方向に持ち上げて取り外す

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-Cプラグを卓上ホルダから抜く

❖ 注意

- 本端末を無理に取り付けしないでください。無理に取り付けようとすると破損の原因となります。

- 卓上ホルダに取り付けた状態で本端末を強く押し込んだりすると、破損の原因となります。

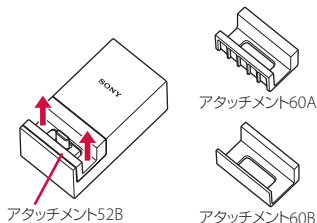
アタッチメントを取り付ける／取り外す

■ 取り付ける場合

- 1 アタッチメントの前後の形状と卓上ホルダの取り付け部分の形状をよく確認し、アタッチメントを卓上ホルダに合わせる
- 2 アタッチメントをまっすぐにしっかりと押し込み、卓上ホルダとすき間がないことを確認する

■ 取り外す場合

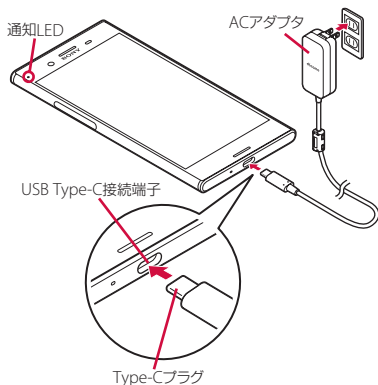
- 1 卓上ホルダを押さえながらアタッチメントの両側を上方向に持ち上げて取り外す



ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 06（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 **ACアダプタのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む**
- 2 **ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む**
 - 電源オンの状態で充電を開始すると充電の開始音が鳴り、本端末の通知LEDが点灯します（P.50）。



- 3 **充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-Cプラグを本端末から水平に抜く**

❖ 注意

- ACアダプタのType-Cプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 05（別売品）は、自動車のアクセサリソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 01（別売品）が必要です。取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ、USBケーブル A to Cの取扱説明書をご覧ください。

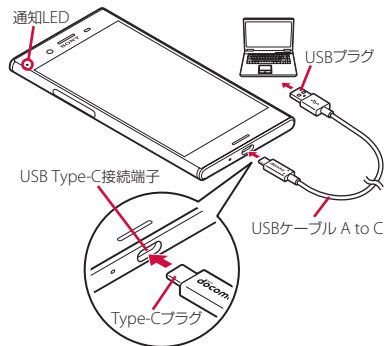
パソコンを使って充電する

本端末をパソコンに接続して充電するには、USBケーブル A to C 01（別売品）が必要です。

1 USBケーブル A to CのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

2 USBケーブル A to CのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

- 電源オンの状態で充電を開始すると充電の開始音が鳴り、本端末の通知LEDが点灯します（P.50）。



- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上にソフトウェアのインストールを確認する画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。
- 本端末上に「USB接続の用途」画面が表示されたら、[キャンセル] をタップしてください。

3 充電が完了したら、USBケーブル A to CのUSBプラグをパソコンのUSBポートから抜き、Type-Cプラグを本端末から水平に抜く

❖ 注意

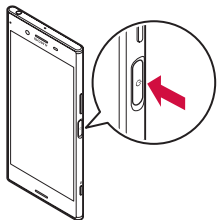
- USBケーブル A to CのType-Cプラグを無理に接続しないでください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を1秒以上押す

- 本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- 電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定を行います (P.43)。



2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法について (P.43)

❖お知らせ

- 電源オフの状態では  を押した際に、通知LEDが赤色で数回点滅したり、電池残量が少ないことを示すアイコンが表示される場合は電池残量が十分ではありません。本端末を充電してください (P.37)。

- SIMカードロック (P.184) を設定している場合は、PINコード入力画面でPINコードを入力します (P.184)。

電源を切る

1 を1秒以上押す

2 【電源を切る】

を1秒以上押したときのメニューを利用する

メニューから次の操作ができます。

電源を切る	P.42
再起動	本端末を再起動します。
緊急省電力モード	P.48
スクリーンショット	P.47

スリープモードにする

スリープモードにすると、画面のバックライトが消灯してタッチスクリーンやキーの誤操作が防止できたり、画面ロックがかかったりします。

1 を押す

- 再度  を押すと、スリープモードが解除され、画面のバックライトが点灯します。

❖お知らせ

- ・設定した時間が経過して、自動的に画面のバックライトが消灯した場合も、スリープモードになります。画面のバックライトが消灯するまでの時間は変更できます (P.175)。

画面ロックを解除する

ロック画面は電源を入れたとき、または  を押してスリープモードを解除したときに表示されます。

1 ロック画面で上／左にスワイプ（フリック）

- ・ロック画面の表示中に  に触れても、画面ロックを解除できます。

❖お知らせ

- ・ロック画面で  や  をスワイプ（フリック）すると、電話やカメラを利用できます。
- ・画面ロックの解除方法は変更できます (P.185)。
- ・指紋設定で指紋を登録すると、指紋認証で画面ロックを解除できます (P.186)。

初期設定を行う

電源を入れた後に「ようこそ」と表示されたときは、画面の指示に従って各機能やサービスなどの初期設定を行います。

1 【開始する】

- ・[日本語] をタップすると言語を変更できます。
- ・[視覚補助] をタップすると、ユーザー補助機能に関する設定ができます。
- ・以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
 - 重要な情報の設定
 - セットアップ方法の選択
 - ネットワーク接続の設定
 - Google アカウントの設定
 - 指紋によるロック解除の設定
 - Google サービスの設定
 - Google アシスタントの設定
 - Xperia™ サービスの設定
 - Xperia インテリジェンスエンジン™ の設定
 - 使用するホームの設定

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「すべてのリンク先の内容に同意する」の●をタップ▶ 【次へ】

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
 - dアカウントの設定
 - ドコモクラウドの設定
 - アプリ一括インストールの設定
 - その他の設定項目の設定

3 セットアップ完了画面が表示されたら【終了】

❖お知らせ

- 操作の状況により、表示される設定などが異なる場合があります。
- 設定した各機能は後から変更できるものもあります（P.73、P.161、P.185、P.186、P.189、P.191、P.192、P.193、P.196、P.198）。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE/3G/GPRS）であることをご確認ください（P.50）。
- Google アカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google Play などの Google サービスがご利用になれません。

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面にのせたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
 - タッチスクリーンが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

タッチスクリーン上の操作

■ タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- ・2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ ロングタッチ

アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

■ スワイプ（フリック）

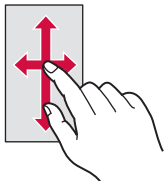
画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。

■ ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。

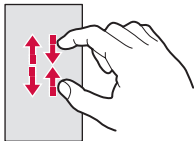
■ スクロール

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。



■ ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）して、表示の拡大／縮小などを行います。



キーアイコンの基本操作



	戻る	直前の画面に戻ります。また、メニューや通知パネルなどを閉じます。
	ホーム	ホーム画面に戻ります。 ロングタッチするとGoogleアシスタントを起動できます。
	タスク／履歴	最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、アプリの起動／終了などができます（P.71）。また、分割画面を利用することもできます（P.72）。

※ 本書では、各キーアイコンの操作を、、を使って説明しています。

縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【画面設定】

2 【機器が回転したときの表示】

3 【画面の表示も回転】

- 本端末の向きを変えても縦画面表示のままにする場合は「画面の表示は縦向きのまま」を選択します。

❖お知らせ

- 表示中の画面によっては、縦画面または横画面に固定されて表示される場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えても、自動で縦／横画面表示に切り替わりません。
- クイック設定パネルからも設定できます (P.54)。

マナーモードを設定する

- マナーモード設定中でも、シャッター音、動画撮影時の撮影開始／終了音、アラーム、動画・音楽などの音声、通話中に📞をタップしたときの音は消音されません。
- マナーモード設定中に音量キーの上を押して音量を上げたり、マナーモード（バイブレーション）設定中に「音設定」の「着信音の音量」（P.178）の音量を調節したりすると、マナーモードは解除されます。
- 音量調節バーの✔をタップすると、メディアの音量やアラームの音量を調節できます。

マナーモード（バイブレーション）を設定する

1 音量キーの上または下を押す

2 □をタップ

- 音量調節バーのアイコンが🔊（白色）に変わります。

マナーモード（ミュート）を設定する

1 音量キーの上または下を押す

2 をタップ

3 音量キーの下を押す

- 音量調節バーのアイコンが（グレー）に変わります。
- 音量調節バーの「今すぐOFFにする」をタップすると、マナーモード（ミュート）が解除されます。
- クイック設定パネル（P.54）で「通知の鳴動制限」を「アラームのみ鳴動」に設定しても、マナーモード（ミュート）を設定できます。「通知の鳴動制限」は、クイック設定パネルでをタップし、「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定すると利用できます。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面の静止画を撮影できます（スクリーンショット）。

- 表示中のアプリによっては、画面を撮影できません。

1 撮影する画面で、と音量キーの下を同時に1秒以上押す

- 静止画が保存され、ステータスバーにが表示されます。

❖ お知らせ

- を1秒以上押す▶「スクリーンショット」をタップしても、画面を撮影できます。
- ステータスバーを下にドラッグ▶スクリーンショットの通知をタップすると、撮影した画像を「アルバム」や「スケッチ」、「フォト」アプリで確認できます。また、スクリーンショットの通知を開き（P.53）、[共有]をタップして画像を送信、[削除]をタップして画像を削除できます。

緊急省電力モードを設定する

災害などの緊急時に機能を制限して消費電力を抑えることができます。

1 を1秒以上押す

2 **【緊急省電力モード】 ▶ 「注意事項」の内容を確認 ▶ 「注意事項を確認しました」にチェックを入れる ▶ 【有効にする】**

- ・起動中のアプリはすべて終了し、本端末が再起動します。

❖お知らせ

- ・緊急省電力モードを解除するには、次のいずれかの操作を行います（解除時に本端末が再起動します）。
 -  を1秒以上押す ▶ **【緊急省電力モード】 ▶ 【解除する】** をタップ
 - ステータスバーを下にドラッグ ▶ 緊急省電力モードの通知を開く（P.53） ▶ **【緊急省電力モードON】 ▶ 【解除する】** をタップ
 - 緊急省電力モードのホーム画面で  ▶ **【緊急省電力モードを解除する】 ▶ 【解除する】** をタップ
- ・緊急省電力モード中に利用できるアプリなどの詳細については、ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【バッテリー】 ▶ 【緊急省電力モード】 ▶ 【注意事項】 ▶ 【利用可能なアプリ】** をタップしてご確認ください。
- ・緊急省電力モードの設定／解除を行うと、ホーム画面上のウィジェットなどの再設定が必要になる場合があります。

利用するアプリを選択する

メールを送信するときや画像を表示するときなどに、複数のアプリを利用できる場合はアプリを選択する画面が表示されます。

〈例〉電話帳からメールを送信するアプリを選択する場合

1 ホーム画面で **【ドコモクラウド】 ▶ 【ドコモ電話帳】 ▶ 「連絡先」タブをタップ ▶ 連絡先を選択**

2 **メールアドレスを選択**

- ・アプリを選択する画面が表示されます。

3 **アプリを選択 ▶ 【1回のみ】 / 【常時】**

- ・利用するアプリを毎回確認する場合は「1回のみ」、常に同じアプリを利用する場合は「常時」を選択します。「常時」を選択すると、次回に同じ操作を行ったときにアプリを選択する画面は表示されません。
- ・以前に同じ操作で「1回のみ」を選択した場合は、アプリが選択された状態の画面が表示されます。別のアプリを利用する場合は「別のアプリの使用」欄からアプリを選択してください。

❖お知らせ

- 利用中の操作によっては、アプリを選択する画面で「1回のみ」／「常時」が表示されず、利用するアプリを毎回選択する必要があります。
- 「常時」に設定したアプリを解除するには、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報] ▶ 設定を解除するアプリをタップ ▶ [標準で開く] ▶ [標準設定をクリア] をタップします。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。許可してアクセス権限を付与すると、アプリ／機能は該当する機能や情報を利用できるようになります。

〈例〉「ミュージック」アプリを初めて起動した場合

- 1 ホーム画面で  ▶ [ミュージック]
• 確認画面が表示されます。

- 2 [許可しない] ／ [許可]

❖お知らせ

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報] ▶ 設定を変更するアプリをタップ ▶ [許可] ▶ 変更する権限の  /  をタップします。
- アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

通知LEDについて

本端末の状態（ステータス）や着信、受信などの通知情報を表示します。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示す
橙の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示す
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
白の点滅*	不在着信、新着メッセージ(SMS) などがあつたことを示す

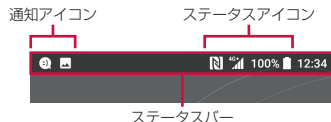
※ 画面のバックライトが消灯しているときに点滅します。

◆お知らせ

- 電源オフの状態 で  を押した際に通知LEDが赤色で数回点滅する場合は、電池残量が十分ではありません。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末の状態（ステータス）と通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



ステータスアイコン

ステータスバーに表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

	電波状態	—
	4G (LTE) 使用可能※1※2	—
	HSPA使用可能※1	—
	3G使用可能※1	—
	国際ローミング中	—
	圏外	—
	モバイルデータ通信無効	—
	Wi-Fi接続中※1	P.161
	インターネット利用不可のWi-Fiネットワークに接続中、およびWi-Fiの電波が不安定な状態	P.162
	Wi-Fiデザリングをオンに設定中	P.167
	Bluetooth機能をオンに設定中	P.201

	Bluetooth機器に接続中	P.202
	機内モード設定中	P.170
	マナーモード（バイブレーション）設定中	P.46
	マナーモード（ミュート）設定中／「通知の鳴動制限」※3を「アラームのみ鳴動」または「サイレント」に設定中	P.47
	スピーカーフォンがオンの状態	P.95
	送話口（マイク）がミュートの状態	P.95
	アラーム設定中	P.155
	NFCのReader/Writer, P2P機能をオンに設定中	P.204
	GPS測位中	—
	VPN接続中	P.169
	データセーバー設定中	P.165
	電池の状態	—
	充電中	P.37
	電池残量が少ない状態	—
	充電が必要な状態	—
	ドコモ nanoUIM カードが未挿入	P.30

※1 通信中はアイコンの左側にが表示されます。

※2 本端末は、LTE 接続時は常にが表示されます。

※3 クイック設定パネル（P.54）でをタップし、「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定すると利用できます。

▼お知らせ

- 「システムアイコン」（P.176）でステータスバーに表示するステータスアイコンを選択できます。

通知アイコン

ステータスバーに表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着Eメールあり	P.113
	新着Gmailあり	P.116
	新着メッセージ（SMS）あり	P.110
	新着エリアメールあり	P.117
	スクリーンショットあり	P.47
	データを受信／ダウンロード	—
	データを送信／アップロード	—
	Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり	P.203
	microSDカードの検出／マウント中	P.35
	アップデート通知あり	—
	インストール完了	P.123
	アプリ更新通知あり	—
	ソフトウェアアップデート通知あり	P.228
	本端末とドコモ nanoUIM カードに NFC／おサイフケータイ ロックを設定中	P.127
	本端末またはドコモ nanoUIM カードに NFC／おサイフケータイ ロックを設定中	P.127
	本端末とドコモ nanoUIM カードにおまかせロックを設定中	—
	本端末またはドコモ nanoUIM カードにおまかせロックを設定中	—
	着信中／発信中／通話中	—
	通話保留中	P.96

	不在着信あり	P.98
	伝言メモあり	P.93、 P.98
	留守番電話あり	—
	スケジュールの予定通知あり	P.154
	ストップウォッチ計測中	P.156
	タイマー使用中	P.156
	アラームの鳴動中／アラームのス ヌーズ中／次のアラームあり	P.156
	楽曲をメディアプレイヤーで再生中	P.149
	楽曲をミュージックで再生中	—
	テレビ視聴中* ¹ ／視聴予約の通知 あり	P.131
	テレビ録画中* ¹ ／録画予約の通知 あり	P.134
	USB 機器を接続中	P.179
	スクリーンミラーリング接続中	P.170
	モバイルデータ通信無効	P.165
	Wi-Fi オープンネットワーク利用可 能	P.163
	本端末をメディアサーバーとして設 定中／接続要求通知あり	P.207
	STAMINA®モード設定中	P.174
	いたわり充電中	P.38
	電池残量が少ない状態（15%以下）	—
	エラーメッセージ／注意メッセージ	—
	同期に問題あり	—
	表示しきれていない通知あり	—
	USB テザリングをオンに設定中	P.167

	Bluetooth テザリングをオンに設定 して Bluetooth 機器を接続中	P.168
	2つ以上のテザリングをオンに設定 中	—
	オートGPS 設定中	P.189
	おまかせロック設定中	—
	マナーモード（ミュート）設定中／ 「通知の鳴動制限」* ² を「アラーム のみ鳴動」または「重要な通知のみ 鳴動」に設定中	P.47
	「通知の鳴動制限」* ² を「サイレン ト」に設定中	—
	ドコモデータコピーでバックアップ 中／復元中／定期バックアップ完了	P.157
	内部ストレージの空き容量低下	—
	microSD カードへのデータ転送の 通知あり（内部ストレージの空き容 量低下）	—
	d アカウント設定の認証失敗	P.189

※1 ホーム画面などの別の画面に切り替え则表示されます。

※2 クイック設定パネル（P.54）で をタップし、「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定すると利用できます。

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知アイコンの内容を確認したり、アプリを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にドラッグ



- ① 通信事業者名
- ② クイック設定ツール
 - ・クイック設定ツール（P.54）の一部が表示されます。
 - ・タップして各機能のオン／オフを設定できます。
- ③ 設定
 - ・設定メニューを表示します（P.160）。

④ 通知

- ・通知を左右にスワイプ（フリック）すると、一覧から削除できます。ただし、通知内容によっては削除できない場合があります。
- ・通知を左右にドラッグして表示される  をタップするか、通知をロングタッチすると、通知設定を変更できます。
- ・通知を左右にドラッグして表示される  をタップすると、設定した時間の経過後に、再度通知を表示できます。

⑤ クイック設定パネルを開く

- ・クイック設定パネル（P.54）を開きます。

⑥ 通知を開く／閉じる

- ・表示させない通知内容や操作メニューを開きます。
- ・アイコンが表示されていない場合でも、通知を下にドラッグするか、通知上でピンチ（P.45）すると、通知を開ける場合があります。
- ・通知によっては表示されない場合や、タップしても通知が開かない場合があります。

⑦ 操作メニュー

- ・通知を開くと「発信」や「削除」などの操作メニューが表示される場合があります。
- ・通知によっては、操作メニューの項目をタップして、通知パネル上でメッセージ（SMS）の返信などの操作ができる場合があります。

⑧ すべて削除

- ・通知パネル内の表示をすべて削除します。通知内容によっては削除できない場合があります。

❖お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、をタップするか、通知パネルを上ドラッグします。
- ステータスバーに通知アイコンが表示されていない場合でも、本端末の状態を示す通知などが表示されることがあります。
- 通知があるときにロック画面で画面を下にスワイプ（フリック）しても通知パネルが表示され、通知を確認できます（画面ロックの設定後に発生した新着通知や一部の通知は、操作をしなくても表示されます）。ロック画面に通知を表示させないように設定（P.174）したり、通知を常に表示させるように設定（P.174）したりすることもできます。

クイック設定パネル

クイック設定パネルを開いて機能のオン／オフなどを設定できます。

1 2本の指でステータスバーを下にドラッグ



① 通信事業者名

② クイック設定ツール

明るさのレベル	画面の明るさを調節できます。
Wi-Fi	Wi-Fi機能のオン／オフを設定できます。[Wi-Fi 
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。[Bluetooth 
自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定できます。

マナーモード (××××) ※	マナーモードを設定します。
現在地	位置情報のオン/オフを設定できます。
ライト	フラッシュ/フォトライトのオン/オフを設定できます。
機内モード	機内モードのオン/オフを設定できます。
バッテリー	STAMINAモードのオン/オフを設定したり、電池残量と使用状況から予測された残りの使用可能時間を確認したりできます。
手ぶくろモード	手ぶくろモードのオン/オフを設定できます。

※「××××」には、マナーモードの状態が表示されます。

③ ユーザー

- 本端末を利用するゲスト/ユーザーの追加や切り替え、ゲストの削除ができます。
- [詳細設定] をタップすると、設定メニューの「ユーザー」が表示されます (P.190)。

④ 編集

- 編集画面を表示して、クイック設定ツールの追加や削除、並び順の変更ができます。
- クイック設定ツールの下にページ枚数と現在の表示位置を示すアイコンが表示された場合は、クイック設定ツールを左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- 編集画面で  [リセット] をタップすると、初期状態に戻ります。

⑤ 設定

- 設定メニューを表示します (P.160)。

⑥ クイック設定パネルを閉じる

- クイック設定パネルを閉じて、通知パネルを表示します。

◆ お知らせ

- クイック設定ツールをロングタッチすると、各項目の設定画面などが表示されます。
- 端末の操作によってはクイック設定ツールが自動的に追加される場合があります。
- クイック設定パネルは、通知パネルを下にドラッグしたり、ロック画面でステータスバーを下にドラッグしても表示されます。
- クイック設定パネルを閉じるには、 をタップするか、クイック設定パネルを上ドラッグします。

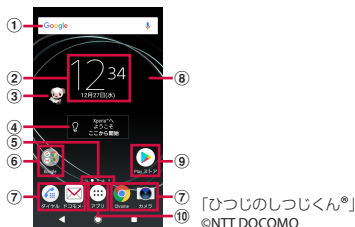
ホーム画面

本端末のホーム画面は、使用するホームアプリを変更することで「docomo LIVE UX」、「Xperiaホーム」または「シンプルホーム」に切り替えることができます。

- 「docomo LIVE UX」について (P.82)
- 「シンプルホーム」について (P.60)
- ホームアプリの切り替えかたについて (P.73)

Xperia™のホーム画面

ホームアプリを「Xperia ホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。



- ① ウィジェット：Google 検索
- ② ウィジェット：時計
- ③ マチキャラ
- ④ ウィジェット：アシスト
- ⑤ 現在の表示位置
 - ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
 - 「Google フィード」(P.59) をオンに設定している場合、左端には「G」が表示されます。
- ⑥ フォルダ
 - フォルダには複数のショートカット（アプリ）などが格納されています。
- ⑦ ドック
 - ショートカット（アプリ）やフォルダなどを配置でき、ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- ⑧ 壁紙

- ⑨ ショートカット（アプリ）
 - ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。★が表示された場合は、タップすると特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。
- ⑩ アプリボタン
 - アプリ画面を表示します（P.63）。

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチするか、ホーム画面をピンチインすると、ウィジェットやショートカットの追加、壁紙の変更などの操作ができます。
- 操作上の開始画面となるページを変更するには、変更するページに切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶画面左上に表示される■をタップします。ただし、「Google フィード」(P.59) をオンに設定している場合は、開始画面を変更できません。
- ホーム画面上のアイコンがない部分を下にスワイプ（フリック）すると、アプリの検索画面が表示されます。
- アプリの通知があるとき、ショートカット（アプリ）やフォルダにドット（点）または数字が表示される場合があります。

ホーム画面のページを追加する

最大20枚のページを追加できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）▶をタップ

❖お知らせ

- ホーム画面を削除するには、削除するホーム画面に切り替えて、ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ▶画面右上に表示されるをタップします。
- 「Google フィード」（P.59）をオンに設定すると、最大20枚のページとGoogle フィード画面を追加できます。ただし、ページはGoogle フィード画面の左側には追加できません。

ホーム画面にフォルダを追加する

ホーム画面に追加したショートカットなどをフォルダに入れて管理できます。

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ▶別のアイコンの上までドラッグ

❖お知らせ

- フォルダにアイコンを移動するには、ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了] をタップします。
- フォルダを削除するには、ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ▶画面上部に表示される「ホーム画面から削除」までドラッグ▶[削除] をタップします。フォルダ内のショートカットなども削除されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用するアプリのことです。ウィジェットを利用して簡単にアプリを起動できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【ウィジェット】▶追加するウィジェットを選択

- 設定画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 追加するウィジェットをロングタッチし、ホーム画面の任意の場所までドラッグしても、ウィジェットを追加できます。

❖お知らせ

- 追加したウィジェットに枠が表示された場合は、枠をドラッグして表示サイズを変更できます。
- ウィジェットを削除するには、ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ▶画面上部に表示される「ホーム画面から削除」までドラッグします。

ホーム画面にショートカットを追加する

ホーム画面に連絡先などのショートカットを追加できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【ウィジェット】 ▶ 【ショートカット】

3 追加するショートカットを選択

- データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- ショートカットを削除するには、ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ ▶ 画面上部に表示される「ホーム画面から削除」までドラッグします。

壁紙を変更する

ホーム画面やロック画面の壁紙を変更できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【壁紙】

3 任意の画像を選択 ▶ 【設定】

- 【ロック画面】 / 【ホーム画面】 をタップすると、選択した画面の壁紙だけを変更できます。
- 画像の左端の【写真】をタップするか、画像の右端の【すべて表示する】 ▶ 【フォト】をタップした場合は、画像を選択し、画面の指示に従って操作してください。

テーマを変更する

ホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを変更できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【テーマ】

3 設定するテーマを選択 ▶ 【テーマを設定】 ▶ 【OK】

❖お知らせ

- 手順3で「さらにテーマを取得」をタップすると、テーマをダウンロードして追加することができます。

画面の切り替えかたを変更する

ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）したときのページの切り替えかたを変更できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【画面切り替え】 ▶ 設定する切り替えかたを選択 ▶ 【設定】

グリッドのサイズを変更する

ホーム画面やアプリ画面のグリッド（格子）のサイズを変更できます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【グリッド】

3 設定するグリッドサイズを選択▶ 【設定】

❖お知らせ

- ・初期状態は「4×5」に設定されています。
- ・変更したグリッドサイズによっては、ホーム画面のレイアウトやウィジェットの表示サイズが自動的に変更されるため、グリッドサイズを変更前に戻しても元の表示に戻らない場合があります。

ホーム画面の設定を行う

1 ホーム画面上のアイコンがない部分を をロングタッチ

2 【設定】

Google フィールド	ホーム画面にGoogle フィールド画面を追加するかどうかを設定します。
おすすめのアプリ情報	アプリの検索画面におすすめのアプリ情報を表示するかどうかを設定します。
自動回転	「機器が回転したときの表示」(P.46)を「画面の表示も回転」に設定しているとき、本端末の向きに合わせて、ホーム画面やアプリ画面を縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
アイコンサイズ	ホーム画面やアプリ画面のアイコンサイズを設定します。

アイコンの見た目	アイコンのデザインを変更します。
アプリアイコンを非表示	ホーム画面のアプリボタンを非表示にするかどうかを設定します。非表示に設定した場合でも、ホーム画面を上からスワイプ（フリック）すると、アプリ画面を表示できます。
ドックに名前を表示	ドック（P.56）に配置したショートカットなどの名前を表示するかどうかを設定します。
ホーム画面にアイコンを追加	アプリ画面のアイコンをロングタッチし、任意の方向に少しドラッグするだけで、ホーム画面にショートカットを追加できるようにするかどうかを設定します。
自動的にアイコンを隙間なく配置	ホーム画面のショートカットなどを、自動的にすき間なく配置するかどうかを設定します。
重複するアプリの削除	ホーム画面に重複したアプリのショートカットの追加を許可するかどうかを設定します。
ライセンス	ライセンスを表示します。
Xperia ID	お使いの端末の識別子を表示します。
ホームのバージョン	アプリのバージョンが表示されません。

シンプルホーム画面

ホームアプリを「シンプルホーム」に設定した場合のホーム画面について説明します。シンプルホームに設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】
- 2 【詳細設定】▶【標準のアプリ】▶【ホームアプリ】▶【シンプルホーム】▶【OK】
- 3 ➡をタップ
 - 文字サイズを「最大」にする場合は、「フォントサイズを「最大」にする」にチェックを入れます。
- 4 【OK】
 - かんたんキーボードを使用する場合は、「かんたんキーボードに設定する」にチェックを入れます。

■ シンプルホーム画面のアプリ



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

マップ	P.152
Chrome	P.118
設定	P.62
マイアプリ	P.63
ツール	連絡先 P.67
	カレンダー P.64
	時計 P.155
	電卓 P.65
	Gmail P.116
	Playストア P.123
	dメニュー P.122
	dポイント P.67
メディア	ミュージック P.66
	アルバム P.146
	ビデオ P.66
	テレビ P.129
	YouTube P.68
カメラ	P.135
ドコモメール	P.109
メッセージ	P.109

ダイヤル	P.65
その他アプリ※	—
短縮	P.61

※「スケジュール」や「ドコモ電話帳」などのアプリ一覧が表示されます。

❖ お知らせ

- 標準のホーム画面に切り替えるには、シンプルホーム画面で [設定] ▶ [ホーム切替] ▶ [OK] ▶ [docomo LIVE UX] / [Xperia ホーム] をタップします。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダなどにドット（点）または数字が表示される場合があります。

短縮機能を利用する

よく電話やメールをする連絡先を「短縮」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

■ 連絡先を登録する

あらかじめ「連絡先」アプリに電話番号やメールアドレスを登録してください。

1 シンプルホーム画面で [短縮] ▶ [OK]

2 登録する連絡先を選択

- シンプルホーム画面の「短縮」の名称は、「連絡先」アプリに登録されている名前に変更されます。

■ 電話をかける

1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択 ▶ [電話をかける]

- 通話中の操作について（P.95）

■ メッセージ（SMS）／メールを送信する

1 シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択 ▶ [メッセージを送る] / [メールを送る]

- メッセージ（SMS）の送信方法について（P.109）
- Eメールの送信方法について（P.113）
- Gmailの送信方法について（P.116）

❖ お知らせ

- 短縮に登録した連絡先を変更／削除／編集する場合は、シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択 ▶ [メニュー] ▶ [登録先を変更] / [登録先を解除] / [登録先を編集] のいずれかをタップします。

シンプル設定を利用する

1 シンプルホーム画面で【設定】

プロフィール		自分の電話番号やメールアドレスなどを確認できます。
画面設定	壁紙変更	シンプルホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。
	テーマ	シンプルホーム画面やロック画面の壁紙などのテーマを設定します。テーマをダウンロードすることもできます。
	画面の明るさ	画面の明るさを調節します。
	画面の自動回転	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかどうかを設定します。
	フォントサイズ	「連絡先」アプリなどに表示される文字サイズを設定します。
	消灯時間変更	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
	ロック画面設定	画面ロックの解除方法や指紋を設定します。

音設定	マナーモード切替	マナーモードを設定します。
	着信音変更	着信音を設定します。
	操作時バイブレーション	キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	タッチ操作音	メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。
ホームカスタマイズ	着信時のバイブレーション	着信時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
	アプリの変更	P.63
	アプリの並べ替え	
初期化		
詳細設定		標準のホーム画面で表示される設定メニューを表示します (P.160)。
ホーム切替		標準のホーム画面に切り替えます。

マイアプリにアプリを登録する

「マイアプリ」フォルダに使用頻度の高いアプリなどを登録しておく、簡単に起動することができます。

1 シンプルホーム画面で【マイアプリ】 ▶【編集】▶【OK】

2 登録するアプリにチェックを入れる ▶【完了】

❖お知らせ

- ・「マイアプリ」フォルダに登録したアプリを削除するには、手順2で削除するアプリのチェックを外す▶【完了】をタップします。

シンプルホーム画面のアプリを変更する

1 シンプルホーム画面で【設定】▶ 【ホームカスタマイズ】

2 【アプリの変更】／【アプリの並べ替え】

3 変更するアプリを選択▶表示するアプリを選択／移動先を選択

- ・グレー表示されているアプリは変更できません。

4 【OK】

❖お知らせ

- ・手順2で【初期化】▶【OK】をタップすると、初期状態に戻ります。ただし、短縮に登録した連絡先や、「マイアプリ」フォルダに登録したアプリは初期化されません。

アプリ画面

ホームアプリを「Xperiaホーム」に設定した場合のアプリ画面について説明します。

- ・ホームアプリの切り替えかたについて（P.73）

1 ホーム画面で☰をタップ



① アプリ検索バー

- ・タップするとアプリの検索画面が表示され、アプリを検索できます。
- ・アプリ画面の1枚目のページを右にスワイプ（フリック）しても、アプリの検索画面を表示できます。

② アプリアイコン一覧

- ・アプリアイコンをロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
- ✳が表示された場合は、タップすると特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

③ 現在の表示位置

- ページ枚数と現在の表示位置を示します。アプリ画面を左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- 左端はアプリの検索画面を示します。

④ メニュー

- アプリアイコンの並べ替えやホーム画面の設定（P.59）ができます。

⑤ マチキャラ

❖ お知らせ

- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダにドット（点）または数字が表示される場合があります。

アプリ一覧

アプリ画面に表示されるアプリは次のとおりです。

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

アルバム

静止画や動画を再生できます。→P.146

あんしんスキャン※¹

ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。

遠隔サポート

「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P.224

おサイフケータイ※²

おサイフケータイ対応サービスを利用できます。→P.124

おすすめアプリ※¹

お客様のアプリ利用状況に合わせてドコモがおすすめするアプリを確認・インストールできるアプリです。→P.86

カメラ

写真や動画を撮影できます。→P.135

カレンダー

予定やリマインダーなどを登録して管理できます。

災害用キット※¹

災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」（P.117）をご利用いただくためのアプリです。

しゃべってコンシェル※¹

話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、電話発信やアラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。

スケジュール※3

スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。→P.154

スケッチ※2

画面に触れて絵やイラストを作成したり、写真を読み込んで加工できるアプリです。また、作成したスケッチを公開したり、他のユーザーとスケッチを共有したりできます。

スプレッドシート※4

スプレッドシートの作成・編集・共有や、Excel ファイルの表示・編集・保存ができます。

スライド※4

プレゼンテーションの作成・編集・共有や、PowerPoint ファイルの表示・編集・保存ができます。

設定

本端末の各種設定ができます。→P.160

ダイアル

Xperia™の電話アプリを起動し、電話の発信／着信ができます。

データコピー

機種変更時のデータ移行や、「microSD カード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです。→P.157

データ保管BOX※3

データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

テレビ

テレビを視聴できます。→P.129

電卓※2

四則演算をはじめ、いろいろな計算ができます。

電話※1

電話の利用や、通話の設定をすることができるとは、アプリです。→P.90

ドキュメント※4

ドキュメントの作成・編集・共有や、Word ファイルの表示・編集・保存ができます。

時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。→P.155

ドコモ電話帳※3

ドコモが提供する電話帳アプリです。docomo のアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→P.103

ドコモメール※3

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPC ブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P.109

ドライブ※4

Google ドライブに保存したファイルを閲覧・管理・共有できます。

取扱説明書

本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

※「はじめに」の「SO-04J」の取扱説明書について」をご参照ください。

トルカ※1

お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P.129

ニュース※5

最新のニュースやお好みの情報をまとめて閲覧できます。

はなして翻訳※1

お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。

ビデオ

「Video & TV SideView」アプリをダウンロードします。インストール後に選択すると「Video & TV SideView」アプリが起動し、動画を再生できます。また、テレビ番組表を見たり、本端末をソニー製テレビなどのリモコンとして利用したりできます。

ファイル管理※2

静止画、動画、音楽データ、ダウンロードしたファイルなどを探すことができます。→P.199

フォト※4

写真や動画を再生できます。Googleアカウントにバックアップすることもできます。

フォトコレクション※3

写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。

マイマガジン※1

選択したジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P.88

マクドナルド

マクドナルドの公式アプリです。店舗で使えるクーポンや最新情報の取得ができます。

マップ※4

現在地の表示、他の場所の検索や経路の検索などGoogleマップのサービスを利用できます。→P.152

マネレコ※1

銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。

ミュージック

音楽データを再生できます。

メッセージ

メッセージ（SMS）を送受信できます。→P.109

メディアプレイヤー※1

音楽や動画を再生することができるアプリです。→P.149

メモ※3

メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。
i コンシェルに対応しています。

連絡先

Xperia™の電話帳アプリを起動し、友人や家族の連絡先を管理できます。

Amazon ショッピング

Amazonから商品を購入できます。

Amazon Kindle

Amazonで購入した書籍を読むためのKindle電子書籍リーダーアプリです。Amazonから電子書籍を購入することもできます。

Chrome

Chromeでウェブページを閲覧できます。→P.118

dポイント

dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→P.122

dメニュー

「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめるサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→P.122

Duo※4

ビデオ通話ができるアプリです。

Eメール※2

Eメールを送受信できます。複数のアカウントを使用できます。→P.112

Facebook※6

Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起きているかを知ることができます。

Gmail※4

Googleや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P.116

Google※4

キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。→P.73

i コンシェル※1

スマートフォンがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。

iDアプリ

ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P.128

Instagram

本端末で撮影した写真や動画を自由に編集し、家族や友達、そして世界中の人と簡単に共有できます。

LAWSON

ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。

Lifelog^{※5}

歩数や消費カロリーなど、日々のさまざまな活動を記録できます。本端末での音楽の再生時間なども記録できます。

Messenger^{※6}

携帯電話の連絡先やFacebookの友達・グループにメッセージ送信、音声・ビデオ通話ができます。

Movie Creator

撮影した写真や動画から自動でハイライトムービーを作成します。写真や動画を選択して手動で作成することもできます。ハイライトムービーはビデオファイルとして保存することで、他の人と共有することができます。

Playストア

Google Playからさまざまなアプリなどをダウンロード・購入できます。→P.123

Playムービー＆TV^{※4}

Google Playの映画などをレンタル・購入できます。

Play Music^{※4}

Play Musicで音楽の再生、購入、共有ができます。

PlayStation

PlayStation™に接続して、PlayStationを操作できます。

Reader by Sony^{※5}

ソニーの本屋「Reader Store」で電子書籍を購入して読むことができます。

Twitter

Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

What's New^{※5}

ゲームやアプリ、テーマなどの最新情報を確認できます。

Xperia™ Lounge Japan^{※5}

ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するアプリです。

YouTube^{※4}

YouTubeで動画を再生できます。

3Dクリエイター

カメラを使用して人物や物体を3Dスキャンし、スキャンしたデータをゲームや壁紙などに使用したり、3Dプリントを作成したりできます。

※1「ドコモのおすすめ」フォルダ内に格納されています。

※2「ツール」フォルダ内に格納されています。

※3「ドコモクラウド」フォルダ内に格納されています。

※4「Google」フォルダ内に格納されています。

※5「Sony」フォルダ内に格納されています。

※6「Facebook」フォルダ内に格納されています。

❖お知らせ

- ・プリインストールされているアプリの一部には、アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.123) などから再度ダウンロードできる場合があります。
- ・アプリによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。
- ・複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあるため、使用しないアプリは終了することをおすすめします。アプリを終了するには、▶サムネイル表示されたアプリを左右にスワイプ(フリック) します。

アプリをホーム画面に追加する

アプリのショートカットをホーム画面に追加できます。

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加するアプリアイコンをロングタッチ

- ・フォルダ内のアプリアイコンは、フォルダの外までドラッグします。
- ・フォルダをロングタッチすると、アプリのショートカットをフォルダごと追加できます。

2 画面上部に表示される「ホーム画面に追加」までドラッグ

- ・ホーム画面が表示されたら、ドラッグしたままショートカットを置く場所まで移動できます。

❖お知らせ

- ・「ホーム画面にアイコンを追加」(P.59) をオンに設定している場合は、手順1で追加するアプリアイコンなどをロングタッチし、任意の方向に少しドラッグするだけで、ホーム画面にアプリのショートカットを追加できます。
- ・「重複するアプリの削除」(P.59) をオンに設定している場合は、ホーム画面に追加したアプリのショートカットが重複すると、最初に追加していたショートカットが自動的に削除されます。

アプリをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリによっては、アンインストールできない場合があります。

1 アプリ画面で削除するアプリをロングタッチ

- ショートカットメニューが表示されます。
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてから削除するアプリをロングタッチします。

2 [アンインストール]

- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。「無効にする」と表示された場合は、アプリを無効化（P.173）することができます。

3 [OK]

アプリ画面にフォルダを追加する

メニュー（P.64）でアプリアイコンの並び順を「カスタム」に設定しているときに、アプリ画面に表示されるアプリアイコンをフォルダに入れて管理できます。

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ▶別のアプリアイコンの上までドラッグ

❖お知らせ

- フォルダにアプリアイコンを移動するには、アプリ画面で移動するアプリアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。
- フォルダ内のアプリアイコンをフォルダから出すには、フォルダをタップ▶アプリアイコンをロングタッチ▶アプリアイコンを置く場所までドラッグします。
- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶[完了]をタップします。

アプリアイコンを並べ替える

メニュー（P.64）でアプリアイコンの並び順を「カスタム」に設定しているときに、アプリアイコンを任意の場所に並べ替えることができます。

1 アプリ画面でアプリアイコンをロングタッチ▶任意の場所までドラッグ

❖お知らせ

- アプリアイコンの並べ替え中に右端のページの画面右端までアプリアイコンをドラッグすると、アプリ画面のページを追加できます。
- メニュー（P.64）でアプリアイコンの並び順を「よく使うアプリ順」「名前順」「日付順」に設定すると自動的に並べ替えられます。

タスクマネージャ

最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの確認や起動、切り替え、終了ができます。

1 □をタップ

- アプリがサムネイル表示されます。

❖お知らせ

- サムネイルをタップすると、アプリの起動や切り替えができます。ただし、表示されているサムネイルによっては、アプリを起動できない場合があります。
- アプリのサムネイルを削除するには、削除するサムネイルを左右にスワイプ（フリック）するか、サムネイルの右上に表示される [X] をタップします。画面右上に表示される [すべて削除] をタップすると、すべてのサムネイルを削除できます。
- アプリのサムネイルを削除すると、アプリを終了できます。
- 「画面のピン留め」（P.181）をオンに設定している場合は、直前に表示していたアプリのサムネイルに📌が表示され、タップすると画面が固定されて表示中のアプリ以外は使用できなくなります。ピン留めを解除するには画面の指示に従って操作してください。

分割画面

画面を上下に分割して2つのアプリを同時に表示し操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- ご使用のアプリによっては、分割画面で利用できない場合があります。

1 □をタップ

- アプリがサムネイル表示されます。

2 表示するアプリのサムネイルをロングタッチ▶画面上部に表示される「分割画面を使用するにはここにドラッグします」までドラッグ

- 画面上部に「アプリで分割画面がサポートされていません。」と表示された場合は、分割画面に表示できません。

3 画面下側から表示するアプリのサムネイルをタップ

- アプリがサムネイル表示されていない場合は、/「最近のタスクはありません」をタップして表示するアプリを起動してください。

❖お知らせ

- アプリの起動中にをロングタッチしても、分割画面を表示できます。
- 分割画面のアプリは、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- 画面下側（横画面表示の場合は右側）に表示したアプリは切り替えができます。アプリを切り替えるには、をタップしてアプリのサムネイルを選択するか、をタップして表示するアプリを起動します。
- 縦画面表示の場合は、分割画面の中央に表示される仕切り線のを上下にドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。
- を画面上部または下部（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグするか、をロングタッチすると、分割画面を終了できます。

ホームアプリの切り替えかた

本端末ではホームアプリを「docomo LIVE UX」「Xperiaホーム」「シンプルホーム」に切り替えられます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】
- 2 【詳細設定】▶【標準のアプリ】▶【ホームアプリ】
- 3 【docomo LIVE UX】／【Xperiaホーム】／【シンプルホーム】のいずれかをタップ▶【OK】
 - ・「シンプルホーム」を選択した場合は、内容を確認して【OK】▶▶▶【OK】をタップします。

❖お知らせ

- ・ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリのショートカットなどが正しく表示されない場合があります。
- ・「優先アプリ設定」(P.171)で、優先して使用するアプリを個別に設定できます。

本端末内やウェブページの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、本端末内やウェブ上の情報を検索できます。

- 1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ
 - ・マイフィードの説明画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 検索する語句を入力
 - ・文字入力について (P.74)
 - ・検索候補が一覧表示されます。
- 3 検索候補またはソフトウェアキーボードの🔍をタップ

❖お知らせ

- ・ホーム画面で【Google】▶【Google】をタップしても「Google」アプリを起動できます。
- ・検索候補にアプリが表示された場合は、選択するとアプリが起動します。
- ・検索結果画面などで≡が表示されている場合は、≡▶【設定】をタップすると検索の設定などができます。

Google音声検索を利用する

検索する語句を音声で入力できます。

- 1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットのをタップ
- 2 送話口（マイク）に向かって検索する語句を話す

文字入力

文字入力は、メールの作成や電話帳の登録などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボード（画面上のキーボード）を使用します。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示されるをタップします。

POBox Plus 日本語入力 使い方ガイド

本端末の文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox Plus」に設定されています。「POBox Plus 日本語入力 使い方ガイド」では、POBox Plusを詳しく解説しています。

- 1 文字入力画面でクイックツールバーの…をタップ
 - クイックツールバーについて（P.77）
- 2 【使い方ガイド】

ソフトウェアキーボードの選択

文字入力時に利用するソフトウェアキーボードを切り替えます。

- 1 **文字入力中に画面右下のをタップ**
 - ・ソフトウェアキーボードの変更画面が表示されます。

- 2 **利用するソフトウェアキーボードを選択**

❖お知らせ

- ・ソフトウェアキーボードの変更画面に利用するソフトウェアキーボードが表示されない場合は、ホーム画面で▶[設定]▶[システム]▶[言語と入力]▶[画面上のキーボード]▶[キーボードを管理]▶利用するソフトウェアキーボードのをタップします。

ソフトウェアキーボード

POBox Plusでは、次のソフトウェアキーボードを使用できます。

- ・文字入力のしかたについて (P.76)

テンキー	携帯電話と同じ配列のキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を選択します（トグル入力）。フリック入力もできます。
PCキーボード	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。フリック入力もできます。

❖お知らせ

- ・ソフトウェアキーボードを使用するほかに、手書き入力や音声入力などで文字を入力することもできます。

ソフトウェアキーボードの切り替えや設定の変更

ツール一覧を表示すると、ソフトウェアキーボードや手書き入力・音声入力の切り替え、プラグインアプリ（拡張機能）の利用、設定の変更などができます。

- 1 **文字入力画面でクイックツールバーの…をタップ**

- ・クイックツールバーについて (P.77)

キーレイアウト	ソフトウェアキーボード（テンキー／PCキーボード）を文字種ごとに設定します。
PCキーに切り替え／テンキーに切り替え	PCキーボード／テンキーに切り替えます。
片手キーボード	片手で入力できるキーボードサイズに変更します。
ユーザー辞書	P.80
設定	POBox Plusの設定を変更できます。
キセカエ	ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。
使い方ガイド	P.74

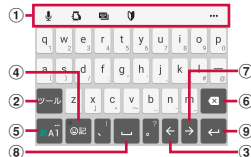
かんたんメニュー	「使い方ガイド」を選択すると、「POBox Plus 日本語入力 使い方ガイド」を表示します (P.74)。「かんたんキーボード」を選択すると、表示が大きくてシンプルなデザインのソフトウェアキーボードに変更します。「元のキーボードに戻す」を選択すると、ソフトウェアキーボードの設定やデザインなどが初期状態に戻ります。
手書き入力	手書き入力に切り替えます。
ドコモ音声入力	ドコモ音声入力に切り替えます。
Google 音声入力	Google 音声入力に切り替えます。
Webからアプリ追加	ウェブサイトからプラグインアプリ (拡張機能) をダウンロードできます。
連絡先引用 2.3	P.80

文字入力のしかた

ソフトウェアキーボードでキーをタップすると、入力した文字に対して候補リストが表示されます。候補リストから入力する語句をタップすると、次々に文章を入力できます。



テンキー



PCキーボード



手書き入力

- ① **クイックツールバー**
よく使う機能のショートカットが表示されます。
…をタップすると、ツール一覧を表示します (P.75)。
クイックツールバーが表示されていない場合は、**ツール**をタップします (**ツール**が表示されていない場合は、**あ** **い** / **あ** **A**)をタップして文字種を「ひらがな漢字」に切り替え则表示されます。
- ② **ツール**
クイックツールバーの表示／非表示を切り替えます。
逆順
テンキーでの入力時に表示され、同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
半角 / **全角**
数字入力時に表示され、半角／全角を切り替えます。
ひ / **ひ** / **ひ**
PCキーボードで英字入力時に表示され、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。
- ③ **←**
カーソルを左へ移動します。
- ④ **記** / **記**
記号、顔文字などの一覧の非表示／表示を切り替えます。
英数 / **英数** / **予測**
ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、変換候補リスト／英数字・カタカナの変換候補リスト／予測候補リストを切り替えます。
- ⑤ **あ** **い** / **あ** **い** / **あ** **A**
文字種を「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。
あ **い** / **あ** **い** / **あ** **A** ロングタッチ
ツール一覧を表示します (P.75)。
- ⑥ **×**
カーソル位置の前の文字を削除します。

- ⑦ **→**
カーソルを右へ移動します。
未確定の文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、直前に入力した文字と同じ文字を入力します (手書き入力を除く)。
- ⑧ **↵**
候補
スペースを入力します。
ひらがな漢字入力時に、候補リスト内の語句をハイライト表示して選択します。
- ⑨ **↵**
確定 ※
改行します。
変換確定前に表示され、文字を確定します。
※一部の画面では、**Q** や **次へ**、**完了**、**実行** などが表示されます。
- ⑩ **戻る**
テンキー／PCキーボードに戻ります。

※お知らせ

- 候補リスト内の **▽** をタップすると、表示領域が拡大されます。ソフトウェアキーボードを表示させるには、**△** または **閉じる** をタップします。
- 変換確定後に変換前の表示に戻すには、つながらり予測候補などに表示される **取消** をタップします (手書き入力を除く)。
- 手書き入力では、次の点に注意してください。
 - 濁点や半濁点は入力画面の中央より上側に入力
 - 句読点や小文字は入力画面の中央より下側に入力

- 手書き入力では、次の操作ができます。
 - 入力した文字の左上に表示されるアイコンをタップすると、入力文字に対する候補が表示されます。水色の文字が認識されている文字になり、候補リストの下に文字の種類別に色分けで表示されます。
 - 入力した文字の右上に表示される  をタップすると、入力した文字を削除できます。
 - 2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、 が表示されます。 をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合できます。1文字の漢字が2文字として認識された場合などは、この操作で結合してください。
- POBox Plusの設定で、「日本語入力ミス補正(強度)」を「OFF」以外に設定している場合は、候補リストの補正された候補に読み仮名が表示される場合があります。

フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

〈例〉「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。
「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。



トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。

同じキーに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、タップしたキーの色が戻るのを待ってから(約1秒)、次の文字を入力します(すぐに次の文字を入力する場合は、 をタップするとキーの色が戻ります)。キーの色が戻っている状態で をタップすると、直前に入力した文字と同じ文字が入力されます。

〈例〉「あお」と入力する場合

1 「あ」を1回タップ▶（キーの色が戻るまで）約1秒待つ

2 「あ」を5回タップ

または

1 「あ」を1回タップ▶（すぐに）➡をタップ

2 「あ」を5回タップ

❖お知らせ

- テンキーで「フリック入力」と「トグル入力」の入力方式を切り替えるには、文字入力画面でクイックツールバーの…▶[設定]▶[キーボードと入力操作]▶[入力操作]をタップし、項目を選択します。

テキストの編集

文字入力画面やウェブページなどのテキストをロングタッチまたはダブルタップすると、選択した文字列の周辺に編集メニューが表示されます。●または●をドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
共有	選択した文字列をアプリに添付して送信します。
すべて選択	テキストをすべて選択します。
ウェブ検索	選択した文字列に関連するウェブ上の情報を検索します。
⋮	表示しきれない編集メニューを表示します。←をタップすると、元の編集メニューに戻ります。

❖お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入する位置でロングタッチ▶[貼り付け]をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入する位置でタップ▶●▶[貼り付け]をタップします。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、編集メニューの表示が異なる場合があります。

連絡先の引用

電話帳に連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。

- 1 **文字入力画面でクイックツールバーの…をタップ**
 - ・クイックツールバーについて (P.77)
- 2 **【連絡先引用2.3】 ▶ 「連絡先」 タブをタップ**
- 3 **引用する連絡先を選択**
- 4 **引用する項目にチェックを入れる▶【OK】**
 - ・引用した情報が表示されない場合は、文字入力欄をタップすると表示されます。

❖お知らせ

- ・「引用履歴」タブには、文字入力時に引用した連絡先、および自分の連絡先が表示されます。

ユーザー辞書

あらかじめユーザー辞書に語句を登録しておくと、文字入力時の候補リストに優先的に表示されます。

- 1 **文字入力画面でクイックツールバーの…をタップ**
 - ・クイックツールバーについて (P.77)
- 2 **【ユーザー辞書】**
- 3 **十をタップ**
- 4 **「読み」の文字入力欄に読みを入力**
- 5 **「語句」の文字入力欄をタップ▶ 語句を入力**
- 6 **【OK】**

❖お知らせ

- ・登録した語句を削除するには、手順3で削除する語句にチェックを入れる▶  ▶【削除】をタップします。

文字入力の設定

POBox Plusなどの入力方法ごとに文字入力の各種設定をしたり、ドコモ文字編集のアプリ情報を確認したりできます。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】▶【言語と入力】

2 【画面上のキーボード】▶ソフトウェアキーボードを選択

- 表示される画面の項目をタップして設定してください。
- サインインの画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

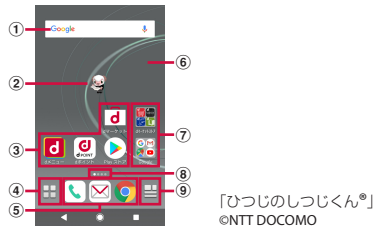
❖お知らせ

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。
- POBox Plusで文字を入力している場合は、文字入力画面でクイックツールバーの…▶【設定】をタップしても、POBox Plusの設定画面が表示されます。
- ソフトウェアキーボードが表示されない場合は、手順2で【画面上のキーボード】▶【キーボードを管理】▶利用するソフトウェアキーボードのをタップします。

ホーム画面の見かた

ホーム画面はをタップすると表示され、アプリやウィジェットなどを起動したり、アプリ画面を表示させたりできます。

- ホーム画面を左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。



- ① ウィジェット：Google 検索
- ② マチキャラ
- ③ アプリアイコン
 - アプリ画面を表示します（P.85）。
- ④ アプリボタン
 - ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- ⑤ アプリアイコン
 - ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- ⑥ 壁紙
- ⑦ フォルダ
 - フォルダには複数のアプリアイコンなどが格納されています。
- ⑧ 現在の表示位置
 - ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。
- ⑨ マイマガジンボタン
 - マイマガジンを表示します（P.88）。

▼お知らせ

- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダにドット（点）または数字が表示される場合があります。

ホーム画面の管理

ホーム画面にアプリなどを移動／追加する

ホーム画面にアプリアイコンを移動したり、ウィジェット、フォルダなどを追加したりできます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 【アプリを表示】／【ウィジェットを表示】／【フォルダを作成】のいずれかをタップ

- アプリやウィジェットを移動／追加する場合は、アイコンをロングタッチ▶画面下部のホーム画面表示域までドラッグします。

▼お知らせ

- フォルダの中にアプリアイコンを移動するには、ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ▶フォルダの上までドラッグします。

- フォルダ名を変更するには、フォルダをタップ▶フォルダ名をタップ▶フォルダ名を入力▶ソフトウェアキーボードの **完了** をタップします。
- ウィジェットをロングタッチして指を離したときに枠が表示された場合は、枠をドラッグして表示サイズを変更できます。

ホーム画面のアイコンを移動する

- 1 ホーム画面で、移動するアイコンをロングタッチ
- 2 任意の場所までドラッグ
 - ロングタッチしたままホーム画面の左端または右端にドラッグすると、隣のページへ移動できます。

ホーム画面のアイコンを削除する

- 1 ホーム画面で、削除するアイコンをロングタッチ
- 2 画面上部に表示される「アプリ一覧に戻す」／「ホーム画面から削除」までドラッグ

ホーム画面のアプリやウィジェットをアンインストールする

- アンインストールする前に、アプリやウィジェット内に保存されているデータも含めて、そのアプリやウィジェットに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリやウィジェットによっては、アンインストールできない場合があります。

- 1 ホーム画面で、アンインストールするアイコンをロングタッチ
- 2 画面上部に表示される「アンインストール」までドラッグ▶ **【OK】**

❖お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットは、手順2で画面上部に表示される「アプリ無効化」までドラッグすると無効化 (P.173) することができます。

きせかえを変更する

- 1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ
- 2 **【きせかえを変更】**
- 3 変更するきせかえをタップ▶ **【設定】**

❖お知らせ

- ホーム画面で **田▶:■▶** **【きせかえ】** をタップしても変更できます。

- きせかえのコンテンツは、[サイトから探す] をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、手順3で削除するきせかえをタップ▶[削除]▶[削除する] をタップします。

壁紙を変更する

表示中のホーム画面の壁紙を変更できます。

- あらかじめ変更するホーム画面のページを表示しておいてください。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [壁紙を変更]

3 変更する壁紙をタップ

- [写真の一覧から選ぶ] をタップすると、写真の一覧から画像を選択できます。
- [他の壁紙を選ぶ] をタップすると、「ライブ壁紙」「Xperiaホーム」「フォト」「画像」から画像を選択できます。

4 画面の指示に従って壁紙を設定

マチキャラの表示設定を変更する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [マチキャラ設定]

3 「キャラ表示」の / をタップ

❖ お知らせ

- マチキャラについて詳しくは、手順3で▶[ヘルプ] をタップしてヘルプをご覧ください。

ホーム画面のページを追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分をロングタッチ

2 [ホーム画面一覧]

3 をタップ

- ホーム画面を削除するには、削除するホーム画面のサムネイルの  をタップします。
- ホーム画面を並べ替えるには、並べ替えたいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶任意の場所までドラッグします。

❖ お知らせ

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧を表示できます。
- 最大7枚のページを設定できます。
- ホーム画面に戻るには、 または  をタップするか、ピンチアウトします。

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で田をタップ

- ホーム画面を下にスワイプ（フリック）してもアプリ画面を表示できます。



- ① アプリ／ウィジェット／壁紙タブ
 - アプリアイコン／ウィジェット／壁紙一覧を表示します。
- ② アプリアイコン一覧
 - ホーム画面上のアプリは一覧に表示されます。
 - 一覧画面を左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- ③ すべてのアプリを表示
 - アプリを検索できます（P87）。
- ④ ホーム画面表示域
 - 左右にスワイプ（フリック）するとページを切り替えられます。
- ⑤ メニュー
 - 本体設定などのメニューを表示します。
- ⑥ 「おすすめ」ボタン
 - ドコモがおすすめするアプリをインストールできます（P86）。

⑦ 現在の表示位置

- 一覧画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。アプリアイコン／ウィジェット一覧ごとに表示されます。

❖お知らせ

- 画面下部のホーム画面表示域を上からスワイプ（フリック）すると、ホーム画面に戻ります。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンにドット（点）または数字が表示される場合があります。

アプリ画面をカスタマイズする

アプリやウィジェットをホーム画面に移動／追加する

1 アプリ画面で、ホーム画面に移動／追加するアイコンをロングタッチ

2 画面下部のホーム画面表示域までドラッグ

- ホーム画面が表示されたら任意の場所までドラッグします。

アプリやウィジェットをアンインストールする

アプリ画面から一部のアプリやウィジェットをアンインストールできます。

- ・アンインストールする前に、「ホーム画面のアプリやウィジェットをアンインストールする」(P.83)をご確認ください。

1 アプリ画面で、アンインストールするアイコンをロングタッチ

2 画面上部に表示される「アンインストール」までドラッグ▶【OK】

❖お知らせ

- ・アンインストールできない一部のアプリやウィジェットは、手順2で画面上部に表示される「アプリ無効化」までドラッグすると無効化 (P.173) することができます。

アプリアイコン一覧でアプリを移動する

1 アプリ画面で、移動するアプリアイコンをロングタッチ

2 任意の場所までドラッグ

おすすめアプリをインストールする

ドコモがおすすめするアプリをインストールできます。

1 アプリ画面で【おすすめ】

- ・初めて使用するときには利用の確認画面が表示され、[おすすめアプリを見る]をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で  / [おすすめアプリ一覧へ] をタップするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もオンになります。

2 利用するアプリを選択

- ・アプリの紹介画面が表示されます。

❖お知らせ

- ・アプリの一覧画面で  ▶ 「通知設定」の  /  をタップすると、おすすめアプリの通知のオン/オフを切り替えることができます。

すべてのアプリを表示

アプリを検索する機能です。

- 1 **ホーム画面で田▶【すべてのアプリを表示】**
 - すべてのアプリが一覧表示されます。
- 2 **アプリをタップ**
 - アプリが起動します。
 - 画面右上の【アプリ名順】をタップすると、アプリの表示順を切り替えることができます。
 - 田をタップすると、アプリのある画面がアプリアイコンにフォーカスが当たった状態で表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で田▶田▶▶【すべてのアプリを表示】をタップしても、すべてのアプリの一覧を表示できます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされた docomo LIVE UX のデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。復元すると、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- バックアップと復元を利用するには、d アカウントの設定が必要です (P.189)。

ホーム画面をバックアップする

- 1 **ホーム画面で田▶田▶▶【配置のバックアップと復元】**
- 2 **田▶▶【バックアップ】**

ホーム画面を復元する

- 1 **ホーム画面で田▶田▶▶【配置のバックアップと復元】**
- 2 **【最新のバックアップデータを復元】
／【バックアップデータ一覧から復元】**
- 3 **【復元する】**
 - 「バックアップデータ一覧から復元」を選択したときは、復元するデータを選択▶【復元】をタップします。

バックアップ設定

1 ホーム画面で田▶▶▶【配置のバックアップと復元】

2 田をタップ

自動バックアップ	docomo LIVE UXのホーム画面の設定情報が更新された場合に、定期的にバックアップするかどうかを設定します。
マルチデバイス同期	アプリがインストールされた際に、ご利用中の別の端末にもアプリ情報を通知するかどうかを設定します。
Wi-Fi通信設定	Wi-Fi接続時のみバックアップや同期を行うかどうかを設定します。
海外ローミング設定	国際ローミング時にバックアップや同期を行うかどうかを設定します。
利用情報の送信	利用状況を送信するかどうかを設定します。
バックアップデータの削除	バックアップ済みの情報をサーバーから削除します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
利用規約	利用規約を表示します。
ヘルプ	使い方ガイドを表示します。
アプリケーション情報	アプリのバージョンなどを表示します。

マイマガジンを利用する

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

1 ホーム画面で田をタップ

- 初めて使用するときには、表示するジャンルの選択画面でジャンルを選択し、[OK] をタップします。
- 記事一覧画面を左右にスワイプ（フリック）するとジャンルが切り替わります。

2 読みたい記事をタップ

❖ お知らせ

- ホーム画面を上からスワイプ（フリック）しても記事一覧画面が表示されます。
- 手順2で田をタップして、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

ジャンルを設定する

- 1 ホーム画面で▶▶【表示ジャンル設定】
- 2 表示するジャンルにチェックを入れる

マイマガジンの利用設定を変更する

- 1 ホーム画面で▶▶【マイマガジン設定】▶【マイマガジン利用設定】
- 2 【利用する】／【利用しない】▶
【OK】

❖お知らせ

- ・アプリ画面で▶【マイマガジン利用設定】をタップしても設定できます。

ホームアプリの情報を確認する

- 1 アプリ画面で▶【アプリ情報】

❖お知らせ

- ・docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

❖ 注意

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番の緊急通報を発信した場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。

ただし、お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。

なお、「184」を付加してダイヤルした場合や通話ごとに「発信者番号通知」を通知しない（非通知）設定で発信した場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。

また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番に発信した際には、携帯電話からかけていることと、警察機関などの緊急通報受理機関側から確認などの電話をする場合があるため電話番号と明確な現在地を伝えてください。また、途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

❖ お知らせ

- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- ロック画面で【緊急／情報】をタップして、緊急通報をかけることができます。
- 着信拒否設定がオンの状態で緊急通報を発信すると、着信拒否設定は自動的にオフになります。ただし、番号指定拒否の設定は、120分後に再度設定されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

ポーズ (,) (;) を入力して発信する

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を入力する必要があるサービスを利用する場合は、あらかじめ電話番号のほかに追加する番号を入力して発信できます。

- 2秒間の停止 (,) を利用する
電話がつながると、追加した番号が約2秒後に自動的に送信されます。

- 1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ
- 2 電話番号を入力▶:▶【2秒間の停止を追加】▶追加する番号を入力▶をタップ
- 3 通話が終了したらをタップ

- 待機 (;) を利用する
電話がつながったら自動的に待機し、追加した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ
- 2 電話番号を入力▶:▶【待機を追加】▶追加する番号を入力▶をタップ
- 3 確認画面で【はい】
- 4 通話が終了したらをタップ

国際電話をかける (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ
- 2 + ([0] をロングタッチ)▶国番号、地域番号 (市外局番)、相手先電話番号の順に入力▶をタップ
- 3 通話が終了したらをタップ

❖お知らせ

- ・地域番号 (市外局番) が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話／ビデオコールを受ける

- 電話やビデオコールの着信があると、着信画面が表示されます。

画面のバックライト点灯中（ロック画面を除く）やアプリの起動中は、画面上部に通知が表示されます（P.94）。

1 着信画面で📞(左)を👉(右)にドラッグ

- ビデオコールを受ける場合は、「ビデオコールで応答」の📞(左)を👉(右)にドラッグします。音声電話で応答する場合は、「音声で応答」の📞(左)を👉(右)にドラッグします。

2 通話が終了したら🔴📞をタップ

❖お知らせ

- 「スグ電設定」(P.101)の「応答」がオンの場合は、電話がかかってきたときに本端末を耳に当てることで電話を受けられます。
- 「スグ電設定」(P.101)の「切断（モーション／音声）」がオンの場合は、通話中にモーションや音声で電話を切ることができます。
- ビデオコールの着信時にはパケット通信料がかかります。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で伝言メモを起動できます。

1 着信画面で【着信オプション】

2 【伝言メモを起動】

❖お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに🗨️が表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶ 伝言メモの通知をタップすると、伝言メモリストが表示され、録音された伝言メモを確認できます。

着信音を聞こえないようにする

1 着信時に音量キーまたは🔇を押す

❖お知らせ

- マナーモード（バイブレーション）設定中の着信時に音量キーまたは🔇を押すと、着信バイブレータの振動を止めることができます。
- ホーム画面などで音量キーを押すと、着信音量を調節できます。

着信を拒否する

1 着信画面で🔴📞(右)を👉(左)にドラッグ

着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する

電話に出られない場合などに、着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信できます。送信するメッセージはあらかじめ登録されており、必要に応じて編集することもできます。

1 着信画面で【着信オプション】

2 送信するメッセージをタップ

- [新規メッセージ作成] をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

◆お知らせ

- あらかじのメッセージを編集／追加する場合は、ホーム画面で  ▶▶▶ [通話設定] ▶▶▶ [応答拒否メッセージ] ▶▶▶ 既存のメッセージまたは空欄を選択して編集▶▶▶ [OK] をタップします。

アプリ起動中に電話／ビデオコールを受ける

画面のバックライト点灯中（ロック画面を除く）やアプリの起動中に着信があると、画面上部に通知が表示されます。

1 [応答]

音声通話ができます。

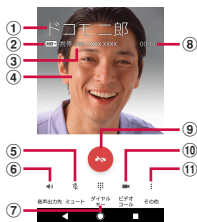
- ビデオコールを受ける場合は「ビデオで応答」をタップします。
- 着信を拒否する場合は「拒否」をタップします。
- 表示された通知の上部をタップすると、着信画面が表示されます。

2 通話が終了したらをタップ

通話中の操作

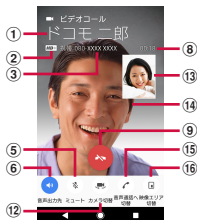
通話中画面で音声出力先やミュートを設定したり、電話番号を入力して別の相手に電話をかけたりすることができます。

■ 音声通話中画面



■ ビデオコール通話中画面

ビデオコール通話中は、相手の映像が親画面に、自分の映像が子画面に表示され、操作アイコンは非表示となります。画面をタップすると操作アイコンが表示されます。



- ① 通話相手の名前や電話番号など
- ② VoLTE 通話の音声品質
 - VoLTE (HD+) 通話中に **HD+** (超高音質)、VoLTE (HD) 通話中に **HD** (高音質) が表示されます。
- ③ 電話帳に登録された電話番号
- ④ 連絡先に設定された写真/画像
- ⑤ ミュート：送話口 (マイク) の消音のオン/オフを設定
- ⑥ 音声出力先：スピーカーフォンのオン/オフを設定
 - 通話相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
 - ビデオコールでは、スピーカーフォンがオンの状態で発着信されます。
 - Bluetooth 機器などと接続している場合は、タップして音声出力先を切り替えられます。
- ⑦ ダイヤルキー：通話中にプッシュ信号を送信
- ⑧ 通話時間
- ⑨ 通話終了
- ⑩ ビデオコール：音声通話からビデオコールに切り替える
 - タップして、相手がビデオコールへの切り替え操作を行うと、ビデオコールができます。
 - 相手がビデオコール切り替えを拒否したり、相手が VoLTE エリア外の場合や VoLTE 非対応端末の場合には、本端末上に切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声通話が継続されます。
 - 3G での音声通話の場合には「通話を保留」が表示されます。

⑪ その他（音声通話）

- 通話を保留
[その他] ▶ [通話を保留] / [通話を再開] をタップして、音声通話を保留／再開できます。
- 通話を追加
[その他] ▶ [通話を追加] をタップして、音声通話を追加できます。
- 3Gでの音声通話の場合には「通話を追加」が表示されます。

⑫ カメラ切替

- タップするたびに、自分側の映像を撮影するカメラを切り替えます。

⑬ ビデオコール子画面（自分側の映像）

⑭ ビデオコール親画面（相手側の映像）

⑮ 音声通話へ切替

- タップして、音声通話へ切り替えられます。

⑯ 映像エリア切替

- タップすると、親画面（相手側の映像）と子画面（自分側の映像）の表示エリアを切り替えられます。

❖ 注意

- 聴力を損なわないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。

❖ お知らせ

- 通話を保留／追加するには「キャッチホン」の契約が必要です（P.99）。
- 発信中／着信中／通話中／保留中は、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。ホーム画面など別の画面に切り替えても、ステータスバーを下にドラッグし、電話の通知をタップすると、通話中の画面に戻ります。
- ビデオコール通話中にホーム画面など別の画面に切り替えると、カメラがOFFの状態になります。

通話音量を調節する

1 通話中に音量キーを押す

発着履歴

発着履歴画面には、着信履歴や発信履歴などが時系列で一覧表示されます。

発着履歴を表示する

1 ホーム画面で「履歴」タブをタップ

■ 発着履歴画面



- ① 電話帳
 - 電話帳一覧画面が表示されます。
- ② メニュー
- ③ すべてタブ
- ④ 電話番号／名前
 - タップすると電話やビデオコールの発信、SMSのメッセージ作成などができます。
 - ロングタッチすると、「発信前に番号を編集」「通話履歴から削除」「着信拒否番号として登録」「お気に入り登録」「居場所を確認」のメニューが表示されます。
- ⑤ 着信タブ
- ⑥ 発信タブ

- ⑦ 音声電話発信ボタン
 - タップすると、履歴の電話番号に音声電話で発信されます。
- ⑧ 発信日時
- ⑨ 履歴内容
 - 発信信の内容（発信／着信／不在着信）が表示されます。

※お知らせ

- 発着履歴の最大保存件数は、本端末のメモリの空き容量により異なります。

発着履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 ホーム画面で「履歴」タブをタップ▶電話番号をタップ▶【電話帳登録】

- 発着履歴画面で電話番号をロングタッチ▶[発信前に番号を編集]▶[電話帳登録]をタップしても登録できます。

2 【新規連絡先として登録】／【既存の連絡先に追加】

- 「既存の連絡先に追加」を選択した場合は、追加登録する連絡先を選択してください。

3 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力

- 項目を追加する場合は、[その他項目を追加]をタップします。

4 【登録完了】

発着信履歴を削除する

1 ホーム画面で☎▶「履歴」タブを
タップ▶削除する発着履歴／着信履歴
をロングタッチ

2 【通話履歴から削除】▶【OK】

❖お知らせ

- 発着信履歴をすべて削除するには、発着信履歴画面で「すべて」タブをタップ▶⋮▶[履歴削除]▶「全選択」にチェックを入れる▶[削除]▶[削除]をタップします。
- 発着信履歴に音声通話／ビデオコールの違いはありません。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーに☒が表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 【不在着信】

❖お知らせ

- 不在着信が1件の場合は、通知パネルの「不在着信」の下に「発信」／「SMS」から、不在着信の相手に電話をかけたり、メッセージ(SMS)を送信したりできます。不在着信が複数件ある場合は、「不在着信」の下に件数が表示されます。
- ロック画面に不在着信と件数が表示された場合は、ダブルタップして履歴を表示できます。

伝言メモ

伝言メモを設定すると、留守番電話サービスを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音秒数は約60秒です。

- 伝言メモは、ビデオコールではご利用いただけません。

1 ホーム画面で☎▶⋮をタップ

2 【通話設定】▶【伝言メモ】

伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間設定	応答するまでの時間を設定します。
ローミング時の使用	海外渡航時に伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答メッセージ	応答メッセージを日本語または英語に切り替えます。
伝言メモリスト	録音された伝言メモを確認できます。

❖お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶伝言メモの通知をタップすると伝言メモリストが表示され、伝言メモを確認できます。
- 伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ▶[削除] / [すべて削除] ▶[OK] をタップします。
- 最大保存件数は本端末のメモリの空き容量により異なります。

通話設定

ネットワークサービスを設定したり、着信拒否を設定したり、応答拒否メッセージを編集したりできます。

1 ホーム画面で▶: をタップ

2 【通話設定】

ネットワークサービス	留守番電話サービス※ ¹	かかってきた電話に回答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス※ ¹	かかってきた電話に回答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン※ ¹	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけたりすることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに自分の電話番号を通知するかどうかを設定します。
	迷惑電話ストップサービス	迷惑電話の番号を着信拒否登録します。
	番号通知お願いサービス	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
	着信通知	電源オフ時や圏外時などの着信ができない場合に、メッセージ（SMS）で着信をお知らせするサービスです。

ネット ワーク サービス	英語ガイド ダンス	音声ガイドダンスを英語や日本語に切り替えます。
	遠隔操作 設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
	公共モード（電源 OFF）設定	電源オフ時や機内モード設定中の着信時に、電話をかけてきた相手に電話に出られない旨のガイドダンスを流し、自動的に電話を終了します。
海外設定		海外での着信を規制したり、ローミングガイドダンスの利用を設定したりします（P.214）。
伝言メモ		P.98
着信拒否設定		電話帳に登録していない電話番号、非通知設定の電話番号、公衆電話、通知不可能な電話番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。 「番号指定拒否」では登録した電話番号からの着信とメッセージ（SMS）の受信を拒否することができます。
応答拒否メッセージ		着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信するときのメッセージを編集／追加します（P.94）。
サブアドレス設定		電話番号に含まれる「★」をサブアドレスの区切りにするかどうかを設定します。

プレフィックス設定	電話をかけるときに電話番号の先頭に付加できるプレフィックス番号を登録します。
スグ電設定	P.101
ドコモへのお問合せ※2	総合お問い合わせ先や、故障した場合、海外で紛失・盗難等された場合、海外で故障した場合のお問い合わせ先へ電話をかけます。
通話アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。
オフィスリンク設定	オフィスリンクの保留転送を利用するための設定を行います。 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

※1 ビデオコールではご利用いただけません。

※2 ドコモ nanoUIM カードを取り付けていない場合は表示されません。

スグ電設定

モーションおよび音声キーワードで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で▶: をタップ

2 【通話設定】▶【スグ電設定】

応答	本端末を耳に当てることで応答するかどうかを設定します。
切断（モーション／音声）	モーションまたは音声で電話を切るかどうかを設定します。 「モーション」をオンにすると、画面を下向きにして本端末を水平に置くか、または本端末を2回振ることで電話を切ることができます。 「音声」をオンにすると通話中に切断キーワードを発した後に端末を耳から離すことで電話を切ることができます。
発信	ホーム画面で本端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発信履歴に記録された相手に発信するかどうかを設定します。
消音・拒否	着信中に画面を下向きにして本端末を水平に置くか本端末を2回振ることで、着信音を消すか、または応答拒否をするかどうかを設定します。 「消音」「拒否」「拒否してSMS送信」から選択できます。
発信ランキング	発信回数の多い相手を確認できます。

着信時名前非表示	電話帳に登録した相手の名前を、着信時のみ非表示にするかどうかを設定します。
利用情報の送信	スグ電を通じて利用者情報をドコモに送信するかどうかを設定します。
ローミング時スグ電無効	海外渡航時にスグ電の各設定を無効にするかどうかを設定します。

スグ電利用時のご注意

- スグ電は、本端末を動かすモーションおよび音声キーワードで電話の操作ができますが、次の場合には正しく動作しません。
 - スピーカーフォン利用時
 - イヤホンやヘッドセット利用時
 - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合
 - 通話中にさらに発信または着信を行う場合
 - 寝ている体勢の場合
 - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
 - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合
- 着信中に着信画面のままでかばんやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または拒否されることがあります。

- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
応答をする際に、髪の毛の上から受話口を当てていると近接センサーが正常に動作しにくいので、電話に応答できないことがあります。その場合は、耳に直接受話口を当ててください。
- また、切断／拒否をする際に、黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断／拒否できない）ことがあります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断／拒否）します。
- スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、次のホームページをご参照ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/>

スグ電の各機能について

● 発信について

スグ電での発信は、ホーム画面またはロック画面（「画面のロック」が「設定しない」または「スワイプ」の場合）から発信できます。

● 着信時名前非表示について

スグ電はビデオコールには非対応ですが、「着信時名前非表示」の設定はビデオコールにも対応しています。

● 消音・拒否について

「消音・拒否」の設定がオンの場合、着信中に本端末を1回でも強く振ると、モーションが実行されたとみなされ応答拒否をすることがあります。

● 切断（モーション／音声）について

「切断」がオンの場合に切断動作（モーション／切断キーワード）が実行されると、次の状況でも電話が切れます。

- 通話相手が保留中
- 相手が伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）

● 切断（モーション）について

- 「切断」がオンの場合に切断動作（モーション）が実行されると、伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）でも電話が切れます。
- スグ電のモーションで切断する際に、本端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）ことがあります。その場合は、動作をゆっくり行くと反応（切断）します。
- 「切断」がオンの場合、通話中に本端末を1回でも強く振ると、モーションが実行されたとみなされ通話が切断されることがあります。

● 切断（音声）について

- 音声での切断がオンの状態で通話しているときは、マイクや通話中の音声を利用する通話録音などのアプリは使用できない場合があります。通話中に通話録音アプリを使用する場合は、音声での切断をオフにしてください。
- 伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）は、音声での切断ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、音声での切断が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- スグ電の音声機能には音声認識技術や言語処理技術を用いていますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または発話のしかたによっては、音声認識ができない場合があります。

● ローミング時無効機能について

初期状態は、海外ではスグ電が自動で無効になります。海外でスグ電をご使用の場合は「ローミング時スグ電無効」をオフにしてからお使いください。

電話帳

電話帳では、電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

電話帳を表示する

1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブをタップ

- 電話帳一覧画面が表示されます。

❖ お知らせ

- 電話帳にてクラウドサービスをご利用になるには、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。「ドコモ電話帳」アプリを初めて使用する（アプリの初期化後を含む）ときや「ドコモ電話帳」アプリでクラウドにログインするときには、「クラウドの利用について」画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。
- 所有者以外のユーザーに切り替えて利用する場合は、ドコモ電話帳のクラウドサービス機能は利用できません。
- ホーム画面で ▶【電話帳】をタップしても電話帳一覧画面が表示されます。
- ドコモデータコピーを利用すると、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップ・復元できます（P.157）。
- ホーム画面で ▶【連絡先】をタップすると、Xperia™の連絡先アプリを起動できます。

■ 電話帳一覧画面

電話帳一覧画面では、連絡先の名前などが表示されます。連絡先に写真や画像を設定したり、グループごとの電話帳を表示したりすることもできます。



- ① グループタブ
 - 電話帳グループを表示します。
- ② クラウド
 - クラウドへのログイン（「クラウドの利用について」画面の表示）／クラウドからのログアウト（「同期の停止」画面の表示）ができます。
- ③ メニュー
- ④ 連絡先タブ
- ⑤ 連絡先に登録された名前
 - タップするとプロフィール画面が表示されます。
- ⑥ 連絡先に設定された写真／画像
- ⑦ 検索
- ⑧ 登録
- ⑨ マイプロフィールタブ
 - 自分の電話番号を確認できます。

- ⑩ インデックス文字
 - インデックス文字をタップすると、インデックス文字に振り分けられている連絡先を表示します。
- ⑪ インデックス
 - インデックス文字を表示し、五十音順、アルファベット順などで検索できます。

電話帳を管理する

連絡先を登録する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブをタップ▶【登録】
 - 2 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力
 - 項目を追加する場合は［その他項目を追加］をタップします。
 - 3 【登録完了】
- ❖お知らせ
- 電話帳一覧の並びは、姓または名のふりがなが五十音順、アルファベット順に表示されます。ふりがなが空欄の場合は登録した姓または名の五十音順、アルファベット順に表示されますが、漢字の姓名は「他」欄に表示されます。
 - 英字（半角）の姓名は、名・姓の順に表示されます。

電話帳から電話／ビデオコールをかける

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブをタップ▶連絡先を選択
- 2 プロフィール画面でをタップ
 - ・ビデオコールをかけるときはの右の▶「ビデオコール」をタップします。

連絡先を編集する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブをタップ▶編集する連絡先を選択
- 2 プロフィール画面で【編集】
- 3 必要な項目を選択して編集
- 4 【登録完了】

連絡先をお気に入りに登録する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブをタップ▶お気に入りに登録する連絡先を選択
 - 2 プロフィール画面で【お気に入り】
- ❖お知らせ
- ・お気に入りに登録した連絡先を表示するには、電話帳一覧画面で「グループ」タブをタップ▶【お気に入り】をタップします。

メニューを利用する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブ／「マイプロフィール」タブをタップ
- 2 電話帳一覧画面／マイプロフィール画面でをタップ
 - ・電話帳一覧画面で連絡先を選択▶プロフィール画面でをタップすると、プロフィール画面のメニューが表示されます。

■ 電話帳一覧画面

連絡先削除		連絡先を複数／全選択して削除します。
クラウドメニュー※ ¹		クラウドメニューを表示します。
SDカード／SIMカード／共有		電話帳をエクスポート／インポートしたり、Bluetooth機能やEメールなどを使って送信します(P.107)。
設定	ドコモ電話帳の海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する場合に設定します。
	dアカウント情報／Wi-Fi利用設定	dアカウントを設定して、ドコモサービスをWi-Fi経由で利用できるようにします。
	連絡先の表示順	連絡先の表示順を設定します。
	表示するアカウント	電話帳一覧画面に表示させるアカウントを設定します。
	i コンシェルメニュー※ ²	i コンシェルで電話帳をサポートする機能を設定します。
ヘルプ		ドコモ電話帳のヘルプを表示します。
連絡先登録件数		登録されている連絡先の件数をアカウントごとに表示します。
アプリケーション情報		ドコモ電話帳のバージョンなどを表示します。

※¹ クラウドへのログインが必要です。

※² i コンシェルのご契約が必要です。

■ プロフィール画面

共有	表示している連絡先をBluetooth機能やEメールなどを使って送信します。
削除	表示している連絡先を1件削除します。
着信音を設定	表示している連絡先の着信音を設定します。
統合／分割	表示している連絡先を統合／分割します。

■ マイプロフィール画面

マイプロフィール 一斉送信※	マイプロフィールを変更したときに、ドコモ電話帳に登録されているメールアドレス宛てに変更内容をメールで一斉に送信します。
共有	マイプロフィールの登録内容をBluetooth機能やEメールなどを使って送信します。

※ クラウドへのログインが必要です。

連絡先をグループに設定する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「グループ」タブをタップ
- 2 任意のグループをタップ
- 3 【メンバー追加】▶追加する連絡先にチェックを入れる▶【決定】▶【OK】

❖お知らせ

- ・グループ設定を解除する場合は、手順3で「メンバー削除」▶解除する連絡先にチェックを入れる▶「決定」▶「OK」をタップします。
- ・Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウントごとにグループが表示され、同じアカウント内でグループを設定／解除できます。

電話帳のグループを新規作成する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「グループ」タブをタップ
- 2 【グループ追加】
- 3 グループ追加画面でアカウントを選択し、グループ名、アイコン、色を入力▶【OK】
 - ・設定項目は、アカウントの種類により異なります。

❖お知らせ

- ・docomoのアカウントのグループは並べ替えができます。手順2で「並べ替え」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ・docomoのアカウントのグループ、およびGoogleアカウントなどで追加したグループは編集／削除できます。グループを編集／削除する場合は、グループをロングタッチ▶「グループ編集」／「グループ削除」をタップします。

マイプロフィールを確認して情報を編集する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【ドコモ電話帳】▶「マイプロフィール」タブをタップ▶【編集】
- 2 マイプロフィール画面で名前などの必要な項目を入力
- 3 【登録完了】

電話帳をエクスポート／インポート／共有する

電話帳をmicroSDカードやドコモ nanoUIMカードからインポートしたり、microSDカードにエクスポートしたりできます。エクスポートした情報は、別の電話に移行する場合などに役立ちます。また、Bluetooth機能やEメールなどを使って、電話帳データの全件データ送信ができます。

- ・オンラインの同期サービスでも電話帳を同期できます（P.192）。
- ・microSDカードへエクスポート／インポートする場合は、あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.34）。

1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶ 【ドコモ電話帳】▶「連絡先」タブを タップ▶：▶【SDカード／SIM カード／共有】

2 項目を選択

- [全件データ送信（共有）] をタップした場合は、画面表示を確認してステータスバーを下にドラッグ▶ドコモ電話帳の通知をタップして送信するアプリを選択します。
- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- microSDカードへのバックアップや復元にはドコモデータコピーを利用します（P.157）。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

- 1 **ホーム画面でをタップ**
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。

メッセージ (SMS) を送信する

- 1 **ホーム画面で田▶ [メッセージ]**
- 2 ** (新規作成) をタップ**
- 3 **送信相手の電話番号を入力**
 - ・ をタップすると、登録されている連絡先から選択できます。[インデックス] をタップすると、インデックス文字から連絡先を検索できます。
- 4 **[メッセージを作成] ▶ 本文を入力**
 - ・入力した文字数が制限文字数に近づくと、入力できる残り文字数がテキストボックスの右下に表示されます。
- 5 **▶ (送信) をタップ**

❖ お知らせ

- ・メッセージ (SMS) を指定した日時に送信するよう設定できます。手順4で本文を入力後、**!**▶ [メッセージの送信予定設定] をタップして日付と時刻を設定し、▶ (送信) をタップします。送信予定のメッセージ (SMS) を確認するには、ホーム画面で**田**▶ [メッセージ] ▶**!**▶ [送信予定設定済みメッセージ] をタップします。
- ・海外通信事業者のお客様の間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者について詳しくは、ドコモのホームページをご確認ください。
- ・宛先が海外通信事業者の場合、「+」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

メッセージ (SMS) を読む

送受信したメッセージ (SMS) は、宛先／送信者ごとにスレッド表示されます。

- 1 ホーム画面で**田**▶ [メッセージ]
 - ・未読のメッセージ (SMS) がある送信者は太字で表示されます。
- 2 読みたいメッセージ (SMS) の送信者を選択

❖ お知らせ

- ・メッセージ (SMS) を受信すると、ステータスバーに**田**が表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したメッセージ (SMS) を確認できます。
- ・メッセージ (SMS) をロングタッチ▶ [スターを付ける] をタップすると、スターが付きます。スターを付けたメッセージ (SMS) を一覧で確認するには、ホーム画面で**田**▶ [メッセージ] ▶**!**▶ [スター付きメッセージ] をタップします。

メッセージ (SMS) の電話番号を電話帳に保存する

- 1 ホーム画面で**田**▶ [メッセージ]
- 2 保存する電話番号の画像部分をタップ▶ [保存]
- 3 [新規連絡先として登録] / [既存の連絡先に追加]
 - ・「既存の連絡先に追加」を選択した場合、追加登録する連絡先を選択してください。
- 4 プロフィール編集画面で名前などの必要な項目を入力▶ [登録完了]

❖ お知らせ

- ・すでに電話帳に登録されている送信者の場合は、手順2で写真／画像部分をタップすると、電話帳に登録した情報を確認できます。

メッセージ (SMS) 本文を削除する

- 1 ホーム画面で田▶ [メッセージ]
- 2 削除するメッセージ (SMS) の送受信者を選択
- 3 削除するメッセージ (SMS) 本文をロングタッチ

4 [メッセージを削除] ▶ [削除]

❖お知らせ

- 複数のメッセージ (SMS) を削除するには、手順3で田▶ [メッセージを削除] ▶ 削除するメッセージ (SMS) にチェックを入れる▶田▶ [削除] をタップします。

メッセージ (SMS) を送受信者ごとに削除する

- 1 ホーム画面で田▶ [メッセージ]
- 2 削除する送受信者をロングタッチ
- 3 田▶ [削除]

❖お知らせ

- 複数の送受信者のメッセージ (SMS) を削除するには、手順3で削除する送受信者を選択▶田▶ [削除] をタップします。

メッセージ (SMS) の設定を変更する

- 1 ホーム画面で田▶ [メッセージ]
- 2 田▶ [設定]

配信確認レポート	送信相手が受信した際に、自分の送ったメッセージ (SMS) にチェックを付けるかどうかを設定します。
標準のメッセージアプリ	通常使用するメッセージアプリを設定します。
番号指定拒否	登録した電話番号からの着信とメッセージ (SMS) の受信を拒否するかどうかを設定します。
コスト節減	送信できるテキストの文字数を増やすため、各国独自の文字を変換するかどうかを設定します。
SIMメッセージ	ドコモ nanoUIMカードに保存したメッセージ (SMS) を管理します。
SMSセンター番号	SMSセンターの番号を確認します。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。

複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Eメールの初期設定をする

Eメールアカウントを画面の指示に従って設定します。

1 ホーム画面で田▶ [Eメール]

- 2件目以降のEメールアカウントを設定する場合は、ホーム画面で田▶ [Eメール] ▶ ≡▶ [設定] ▶ [アカウントを追加] をタップします。

2 Eメールアドレスを入力▶ [次へ]

3 パスワードを入力▶ [次へ]

- Eメールアカウントを手動で設定する場合は、[手動セットアップ] をタップし、画面の指示に従って設定してください。

4 画面の指示に従って必要な項目を設定▶ [次へ] をタップして各設定を完了する

- アカウントの種類を選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力▶ [設定完了]

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去されることがあります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で田▶ [Eメール]

2 (新規作成) をタップ

3 送信相手のEメールアドレスを入力

- Eメールアドレス入力欄に名前またはEメールアドレスを入力すると、電話帳で一致する連絡先がリスト表示されます。
- 複数のEメールアドレスを直接入力する場合は、半角カンマ (,) または半角スペースで区切って次のEメールアドレスを入力します。
- CcまたはBccを追加する場合は、▶ 「Ccを表示」／「Bccを表示」にチェックを入れます。

4 件名や本文を入力

5 (送信) をタップ

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Eメール作成中にをタップし、ファイルを選択します。
- Eメールを下書き保存するには、Eメール作成中に▶ [下書き保存] をタップするか、別の画面に切り替えると保存されます。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのEメール受信を拒否する設定を行っている、Eメールを受信できません。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面で田▶ [Eメール]

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、▶ 受信するEメールアカウントをタップします。

2 受信トレイで画面を下にフリック

- 受信トレイを更新します。

3 読みたいEメールをタップ

❖お知らせ

- 受信したEメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
- Eメールアカウントの設定 (P.115) で「通知」を設定し、「確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいEメールの受信をお知らせするがステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したEメールを確認できます。
- 受信したEメールのアドレスをタップし、[連絡先に追加] ▶ [OK] をタップすると、電話帳に登録できます。すでに登録されているアドレスの場合は、[連絡先を表示] をタップすると電話帳を表示できます。
- 受信トレイやEメール本文の画面で☆／をタップすると、スターに色が付き、Eメールが「スター付き」フィルターに追加されます。スターを付けたEメールを一覧で確認するには、受信トレイで▶ 確認するEメールアカウントをタップ▶▶「フィルター」のをタップ▶「スター付き」をタップします。

Eメールの添付ファイルを保存する

- 1 ホーム画面で田▶ [Eメール]
- 2 添付ファイル付きのEメールをタップ
 - 添付ファイルがダウンロードされていない場合は、「読込」をタップします。
- 3 保存するファイルの [保存]
- 4 保存先を選択 ▶ [保存]
 - 必要に応じてファイル名を変更できます。保存先を選択し、ファイル名を変更してから [保存] をタップします。

Eメールを返信／転送する

- 1 ホーム画面で田▶ [Eメール]
- 2 返信または転送するEメールをタップ▶ [返信] / [全員に返信] / [転送] のいずれかをタップ
 - [転送] をタップした場合は、転送先のEメールアドレスを入力します。

- 3 本文を入力
- 4 送信(送信) をタップ

❖お知らせ

- 元のEメールの内容を削除するには、「本文を引用」のチェックを外します。
- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが添付されます。添付ファイルを削除するには、✕をタップします。

Eメールを削除する

- 1 ホーム画面で田▶ [Eメール]
- 2 削除するEメールをタップ
- 3 削除をタップ

❖お知らせ

- 複数のEメールを削除するには、手順2で削除するEメールをロングタッチ▶削除するEメールにチェックを入れる▶削除をタップします。
- [Eメール] アプリ全体の設定 (P.115) で「削除確認」がオンになっている場合は、削除をタップした後に確認画面が表示されますので、「削除」をタップします。

Eメールアカウントの設定を変更する

〈例〉IMAPに対応したEメールアカウントを設定する場合

- 1 ホーム画面で田▶【Eメール】
- 2 ≡▶【設定】
- 3 設定を変更するEメールアカウントをタップ

通知		Eメールの通知方法を設定します。
同期設定	確認頻度	新着Eメールの確認頻度を設定します。
	同期するEメールの期間	同期するEメールの期間を設定します。
	自動ダウンロード	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
	プリダウンロードの制限	Eメールを開く前に、本文を含め全体をダウンロードするかどうかを設定します。

全般設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
	名前	あなたの名前（差出人名）を変更します。
	受信サーバー設定	ユーザー名やパスワードなど受信サーバーの設定をします。
	送信サーバー設定	ユーザー名やパスワードなど送信サーバーの設定をします。
	署名	署名の変更や挿入の設定をします。
	クイック返信	Eメール作成時に挿入できる定型文を登録します。
	セキュリティ	証明書の選択や、デジタル署名、暗号化の設定をします。
	一時ファイル	一時ファイルを削除します。
	アカウントの削除	Eメールアカウントを削除します。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。
- 「確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびにパケット通信料が発生する場合があります。
- 手順3でアカウントの下部に表示される設定項目を選択すると、「Eメール」アプリ全体の設定を変更できます。

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Googleアカウント (P.191) やEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Googleアカウントを設定した後、Gmailを同期していない場合は、「アカウントが同期していません」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- Gmailについて詳しくは、ホーム画面で [Google] ▶ [Gmail] ▶  ▶ [ヘルプとフィードバック] をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Gmail]
- 2  (新規作成) をタップ
- 3 送信相手のEメールアドレスを入力
 - Eメールアドレス入力欄に名前またはEメールアドレスを入力すると、電話帳で一致する連絡先がリスト表示されます。
 - CcまたはBccを追加する場合は、
▼ をタップします。

4 件名や本文を入力

5 (送信) をタップ

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Gmail作成中に  ▶ [ファイルを添付] をタップし、ファイルを選択します。

Gmailを更新する

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Gmail]
- 2 受信トレイで画面を下にフリック
 - 受信トレイを更新します。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- 本端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能です。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴る
• ステータスバーにが表示されます。
- 3 エリアメールの本文が自動で表示される

受信したエリアメールを後で確認する

- 1 ホーム画面で田▶【災害用キット】
- 2 【緊急速報「エリアメール」】
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で田▶【災害用キット】
- 2 【緊急速報「エリアメール」】
- 3 削除するエリアメールにチェックを入れる▶【削除】▶【OK】

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で田▶【災害用キット】

2 【緊急速報「エリアメール」】

3 ■▶【設定】

受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	専用ブザー音・専用着信音の鳴動時間や音量、マナーモード中でもブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報（気象等に関する特別警報を含む）のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
翻訳・アプリ連携設定	受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

❖ お知らせ

- ホーム画面で田▶【災害用キット】▶■をタップすると、緊急省電力モードを設定できます（P.48）。

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面で🌐をタップ

2 画面上部のウェブページのアドレス入力欄をタップ

- アドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

3 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力

- アドレス入力欄の🔍をタップすると、検索する語句を音声で入力できます。
- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。

4 候補を選択するか、ソフトウェアキーボードの実行をタップ

- ウェブページを拡大／縮小するには、画面をピンチアウト／インするか、ダブルタップします。
- 前のページに戻るには、◀をタップします。

❖お知らせ

- ウェブページのテキストをコピーするには、コピーするテキストをロングタッチ▶またはをドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択▶「コピー」をタップします。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブページの閲覧ができます。

1 ホーム画面で▶▶▶ [新しいタブ]

2 ウェブページを表示

- アドレス入力欄の横に表示されているアイコン内の数字は、開いているタブの件数です。

シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページの閲覧ができます。

1 ホーム画面で▶▶▶ [新しいシークレットタブ]

2 ウェブページを表示

❖お知らせ

- シークレットタブでは、アドレス入力欄の周囲が灰色になります。
- シークレットタブを閉じるには、「タブを閉じる」(P.119)をご参照ください。

- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブページはシークレットタブでも保存されます。

タブを切り替える

1 をタップ

- 現在開いているタブがサムネイルで一覧表示されます。

2 表示するタブをタップ

❖お知らせ

- 手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

タブを閉じる

1 ▶閉じるタブのをタップ

- タブを左右にフリックしても閉じることがができます。

❖お知らせ

- 手順1のアイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

ウェブページのテキストを検索する

1 ホーム画面で▶▶ [ページ内検索]

2 検索する語句を入力

- ・ ^ / v をタップすると、前後の一致項目にハイライトが移動します。

❖お知らせ

- ・ 検索バーを閉じるには、✕ をタップします。

Chromeの設定を変更する

1 ホーム画面でをタップ

2 ≡▶ [設定]

Chromeにログイン	GoogleアカウントでChromeにログインします。
検索エンジン	検索エンジンを設定します。
自動入力とお支払い	自動入力を利用するかどうかや自動入力時に利用する住所やクレジットカードの情報を設定します。
パスワードの保存	ウェブページに入力したパスワードを保存するかどうかを設定します。
ホームページ	ホームページを設定します。
プライバシー	アクセスエラー時の候補表示やアドレス入力欄に入力する際の候補表示などを設定したり、閲覧履歴データを消去したりします。
ユーザー補助機能	文字のサイズやズームを設定します。
サイトの設定	CookieやJavascriptなどサイトに関する設定をします。

データセーバー	データ通信量を抑えるようにするかどうかを設定します。
Chromeについて	Chromeのバージョンなどを確認できます。

リンクを操作する

ウェブページ内のリンクや画像をロングタッチすると、URLをコピーしたり、画像をダウンロードしたりできます。

❖お知らせ

- ・ ウェブサイトによってはファイルなどのダウンロードができない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

履歴の確認やブックマークの保存などができます。

ウェブページをブックマークする

1 ホーム画面で▶ブックマークするウェブページを表示

2 ≡▶☆をタップ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスできます。

1 ホーム画面で【dメニュー】

- ウェブブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

❖お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）またはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリの一部には、有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で【dマーケット】

❖お知らせ

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを本端末にインストールできます。

- Google Playのご利用には、Google アカウントの設定が必要となります (P.191)。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは Google Play のヘルプをご覧ください。
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様が Play ストアからインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で **【Playストア】**
- 2 **アプリを検索 ▶ インストールするアプリをタップ**

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

❖ お知らせ

- アプリによっては、自動的にパケット通信を行う場合があります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【モバイルネットワーク】** ▶ **【モバイルデータ通信】** の  をタップ ▶ **【OK】** をタップします。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリをアンインストールする

- 1 ホーム画面で **【Playストア】**
- 2 **≡ ▶ 【マイアプリ&ゲーム】 ▶ 「インストール済み」タブをタップ**
- 3 **アンインストールするアプリをタップ ▶ 【アンインストール】 ▶ 【OK】**

- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは Google Play のヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。

また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

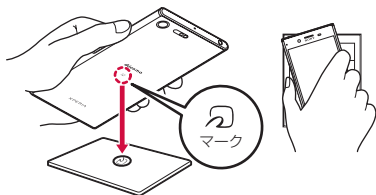
- ・おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- ・本端末の故障により、ICカード内データ※1およびドコモnanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりできませんので、原則としてデータをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや差し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサー

ビスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

- ・機種変更前のドコモ nanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモ nanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
 - ・故障や機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモ nanoUIMカード内データの消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに關して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - ・本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
- ※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- ④ マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- ④ マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- ④ マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイアプリより利用するサービスを設定してください。

1 ホーム画面で田▶【おサイフケータイ】

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 本端末の④ マークを読み取り機にかざす

❖お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。

- 本端末の「STAMINAモード」(P.174)や「データセーバー」(P.165)の設定に関わらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- インストールしているおサイフケータイ対応アプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面のバックライト消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能が利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】
- 2 【NFC／おサイフケータイ 設定】▶【Reader/Writer, P2P】の●をタップ▶【OK】
 - NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーにNが表示されます。
- 3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに
☞ マークをかざす

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」設定を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】

2 【NFC／おサイフケータイ 設定】▶【NFC／おサイフケータイ ロック】

3 パスワードを入力▶【次へ】

- 初めて「NFC／おサイフケータイ ロック」をご利用になる場合は、任意のパスワードを入力すると設定されます。

❖お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できなくなります。電池残量にご注意ください。「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除する場合は、充電後に解除してください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロックの解除が必要になります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモnanoUIMカードを取り付けた状態で行ってください。

■ NFC

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などがご利用いただけます。

タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

- タップ&ペイの詳細については、ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【機器接続】** ▶ **【NFC／おサイフケータイ 設定】** ▶ **【タップ&ペイ】** ▶ **⋮** ▶ **【ヘルプ】** をタップして、タップ&ペイのヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で田** ▶ **【設定】** ▶ **【機器接続】****

2 **【NFC／おサイフケータイ 設定】 ▶ **【タップ&ペイ】****

3 サービスを選択

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報について詳しくは、iDのホームページをご覧ください。
<http://id-credit.com/>

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メールやウェブダウンロードで取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。トルカについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

❖お知らせ

- ・トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ・コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
 - 更新／トルカの共有／地図表示
- ・本端末の「STAMINAモード」(P.174)や「データセーバー」(P.165)の設定に関わらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。

テレビ

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

「フルセグ／ワンセグ」サービスについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかります。NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

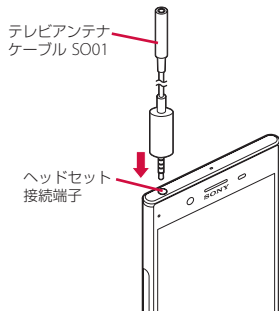
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

テレビアンテナケーブルの向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

テレビアンテナケーブルについて

本端末でテレビを視聴するには、付属のテレビアンテナケーブル SO01 をご使用ください。

1 テレビアンテナケーブル SO01 の接続プラグを、本端末のヘッドセット接続端子に接続



❖ お知らせ

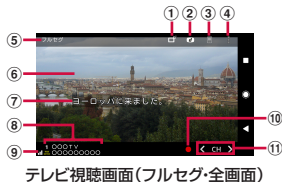
- 音声を市販のイヤホンやヘッドホンから出力する場合は、テレビアンテナケーブル SO01 にイヤホンやヘッドホンを接続してください。イヤホンやヘッドホンを接続するときは、テレビアンテナケーブル SO01 の接続端子に対してまっすぐに、奥までしっかりと差し込んでください。

テレビを見る

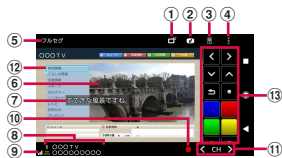
1 ホーム画面で田▶ [テレビ]

- 初めて使用するとき、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください (P.133)。

■ テレビ視聴画面



テレビ視聴画面(フルセグ・全画面)



テレビ視聴画面(フルセグ・データ放送あり)

- フルセグ/ワンセグの切替設定
- データ放送を表示/非表示
- リモコンを表示/非表示
- メニュー
- 視聴中の放送サービス (フルセグ/ワンセグ)
- 映像
- 字幕
- チャンネル、放送局名、番組情報
- 受信レベル
- 録画を開始

⑪ チャンネル選局キー

- ◀/▶をロングタッチすると、受信可能なチャンネルを検索します。

⑫ データ放送

- ワンセグの視聴画面では、縦画面のみ表示されます。

⑬ データ放送用リモコン

❖ お知らせ

- フルセグの縦画面ではデータ放送用リモコンが表示され、チャンネルリストや番組情報を表示することもできます。
- ワンセグの縦画面でデータ放送の領域をロングタッチ▶ [データ放送全画面表示] をタップすると、データ放送が全画面で表示されます。
- メニューなどのアイコンを表示/非表示にするには、テレビ視聴画面で映像をタップします。
- テレビ視聴中に音量キーを押すと、音量を調節できます。
- テレビは本端末を縦向き/横向きにして視聴できます (P.46)。
- 視聴するチャンネルを切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。
 - チャンネル選局キーをタップ
 - テレビ視聴画面の映像を左右にフリック
 - テレビ視聴画面の映像をロングタッチ▶ 表示されるチャンネルリストからチャンネルを選択
- テレビを起動したりチャンネルを変更したりすると、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

- 電波状態によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。
- テレビ視聴中に着信があった場合、通話を開始するとテレビは中止され、通話終了後に再開します。
- データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

テレビを終了する

1 テレビ視聴画面で $\blacksquare$ をタップ

❖お知らせ

- $\blacksquare$ をタップしてホーム画面に戻っても、テレビは終了しません。テレビを起動したままだと電池の消耗が早くなる場合があります。

テレビの設定をする

テレビ視聴画面の設定やデータ放送の設定、チャンネルの設定などができます。

メニューを利用する

テレビの録画／視聴予約や各種設定などができます。

1 ホーム画面で $\text{田}\blacktriangleright$ 【テレビ】

2 $\blacksquare$ をタップ

番組	番組表	番組表を表示します。
	番組詳細情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
	番組情報	視聴中のチャンネルの番組情報を表示します。
録画ファイルリスト		録画した番組の一覧を表示します (P.134)。
録画／視聴予約		録画／視聴の予約をしたり、予約失敗一覧を表示したりします。
テレビリンク		テレビリンクのリスト画面を表示します。 データ放送によってはテレビリンクが表示されるものがあり、登録することで関連サイトに接続できます。※1
エリア切替		放送エリアの登録や変更をします (P.133)。
字幕／音声／映像設定		字幕表示のオン／オフや表示位置、主／副音声、音声言語の設定をします。※2

設定	文字スーパー設定	フルセグの文字スーパー表示のオン/オフや、言語の設定をします。
	データ放送設定	位置情報の利用や端末情報の利用の有無を設定したり、放送局メモリーの削除や郵便番号を設定したりします。
	オフタイマー	テレビ視聴を終了するタイマーの設定をします。
	受信機のデバイスID	受信機のデバイスIDを表示します。
	ご利用にあたって	ご利用にあたっての情報を表示します。

※1 テレビリンクには有効期限が設定されているものがあります。

※2 字幕表示位置はワンセグの横画面でのみ、音声種別は副音声を放送している番組を視聴中、音声言語はフルセグで多重音声を放送している番組を視聴中に設定できます。

現在地のチャンネルを登録する

お使いの地域（放送エリア）によって視聴できるチャンネルは異なります。

- 1 ホーム画面で田▶ [テレビ]
- 2 ■▶ [エリア切替]
- 3 未登録の項目をロングタッチ
- 4 [エリア情報設定] ▶ 地方、都道府県、地域を選択
- 5 [OK]

❖お知らせ

- ・手順3で登録されているエリアをロングタッチすると、詳細表示やエリア情報設定、チャンネル更新、エリア名変更、設定削除ができます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

- 1 ホーム画面で田▶ [テレビ]
- 2 映像をロングタッチ
- 3 リモコン番号を変更する放送局をタップ▶ 映像をロングタッチ
- 4 設定するリモコン番号をロングタッチ
- 5 [はい]

- ・別の放送局が設定されているリモコン番号を選択した場合は、[チャンネル上書き登録] ▶ [はい] をタップします。

❖お知らせ

- ・設定した放送局を削除するには、手順3で削除する放送局をロングタッチ▶ [チャンネル削除] ▶ [はい] をタップします。

テレビを録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

- データ放送は、ワンセグの場合のみ録画できます。

1 ホーム画面で田▶【テレビ】

2 赤丸をタップして録画を開始

3 黒▶【録画終了】 / 【現在の番組終了時に録画終了】

- 【現在の番組終了時に録画終了】をタップすると、番組の終了に合わせて録画を終了できます。

❖お知らせ

- フルセグの場合、録画保存できる最大ファイルサイズは1件あたり198GB、連続録画が可能な時間は約1440分です（microSDカード（200GB）の場合）。ワンセグの場合、録画保存できる最大ファイルサイズは1件あたり2GB、連続録画が可能な時間は約640分です。録画保存できる件数は、フルセグとワンセグを合わせて99件までです。
- 録画データはmicroSDカードに保存されます。microSDカードを取り付けていない場合は録画できません。
- 録画中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

録画した番組を再生する

1 ホーム画面で田▶【テレビ】

2 黒▶【録画ファイルリスト】

3 再生する番組をタップ

❖お知らせ

- 録画した番組を削除するには、手順3で削除する番組をロングタッチ▶黒▶【はい】をタップします。
- タイトルを変更するには、手順3で変更する番組をロングタッチ▶黒▶タイトル名を入力▶[OK] をタップします。
- 手順3で黒▶をタップすると、再生モードの設定やメモリー残量の表示、並び替えができます。

カメラ

- 本端末で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。
- microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを取り付けて、保存先を変更してください（P.144）。
- 本端末の温度が上昇すると、カメラが起動しない場合や、停止する場合があります。

■ 著作権・肖像権について

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのような利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権に関わる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になりませんので、ご注意ください。

撮影／画像送信について

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラを起動する

1 ホーム画面で【カメラ】

- 撮影画面が表示されます。

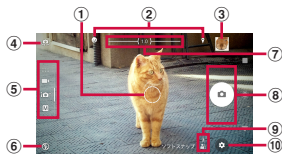
❖ お知らせ

- 撮影画面で約3分間（クイック起動で起動した場合は約30秒間）、何も操作しないとカメラが終了します。

クイック起動を利用する

-  を1秒以上押したり、ロック画面で をスワイプ（フリック）してカメラを起動することを「クイック起動」といいます。
- クイック起動の動作は変更できます（P.146）。

撮影画面



- ① オートフォーカス枠
 - 被写体をタップすると追尾フォーカス枠 (P.142) が表示されます。
- ② ステータスアイコンの表示エリア
 - スマイルシャッター (P.143) や位置情報の保存 (ジオタグ) を設定した場合のアイコンなどが表示されます。
- ③ サムネイル
 - タップすると、撮影した写真の再生画面 (P.147) や動画のプレビュー画面が表示されます。
- ④ フロントカメラ替え
- ⑤ 現在の撮影モード (P.136)
- ⑥ フラッシュの設定
- ⑦ ズームインジケータ
 - インジケータに表示される倍率で撮影されます。
- ⑧ シャッター (写真)
 - 撮影開始／停止／一時停止 (動画)
 - 設定によっては、セルフタイマーや画面タッチ撮影のアイコンが表示されます。
- ⑨ シーン／コンディション
 - 撮影モードが「プレミアムおまかせオート」または「ビデオ」の場合は、カメラが判断したシーンを検出してアイコンを表示します。
 - また、カメラが移動している状態 (人)、カメラが固定されている状態 (罫)、被写体が動いている状態 (人) を検出してアイコンを表示します。

⑩ メニュー

※お知らせ

- 「ARエフェクト」などのカメラアプリをお使いの場合は、表示や操作が異なります。
- ズームするには「音量キー設定」(P.144) を「ズーム」に設定して音量キーで操作するか、画面をピンチアウト／インします。
- 「ARエフェクト」「パノラマ」などに設定している場合やフロントカメラでの撮影時は、ズームを使用できません。
- 撮影時の状況によっては、「プレミアムおまかせオート」または「ビデオ」のシーンが正しく認識されないことがあります。

撮影モード

撮影モードを変更する

「プレミアムおまかせオート」「マニュアル」「ビデオ」およびカメラアプリを切り替えて利用できます。

1 ホーム画面で【カメラ】

2 画面をスワイプ（フリック）

- 横画面では上下に、縦画面では左右にスワイプ（フリック）します。
- カメラアプリについて (P.137)

■ 撮影モードと解像度／ビデオ解像度

撮影モード	解像度（縦横比）／ビデオ解像度
「プレミアムおまかせオート」 「マニュアル」	カメラ： 19MP (4:3) 17MP (16:9) 12MP (4:3) 12MP (16:9) フロントカメラ： 13MP (4:3) 10MP (16:9)
「ビデオ」	ビデオカメラ： 4K フルHD (30fps/60fps) HD* VGA フロントビデオカメラ： フルHD HD VGA

※「スーパースロー」ではHD (30fps/960fps)、
「スーパースロー（ワンショット）」ではHD
(960fps)、「スローモーション」ではHD
(120fps) で撮影されます。

カメラアプリを利用する

カメラアプリを利用して、さまざまな写真や動画を撮影できます。

1 ホーム画面で【カメラ】

2 画面をスワイプ（フリック）してカメラアプリ一覧を表示

- ・横画面では下に、縦画面では左にスワイプ（フリック）します。

3 アプリを選択

- ・他のカメラアプリに切り替えるには、撮影画面右下（縦画面の場合は左下）のカメラアプリのアイコンをタップします。

❖お知らせ

- ・「ARエフェクト」でダウンロードしたテーマなどは内部ストレージに保存されます。
- ・アプリによっては「サウンドフォート」で撮影した画像の音声を再生できない場合があります。
- ・次の撮影データをmicroSDカードに保存する場合は、高速書き込みが可能なmicroSDカード（スピードクラス10またはUHSスピードクラス1）をお使いいただくことをおすすめします。
 - 4K
 - スーパースローモーション
 - スーパースローモーション（ワンショット）
 - スローモーション
- ・カメラの機能について詳しくは次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/myxperia/howtoxperia/camera/>

■ パノラマ撮影のご注意

- 以下の場合はパノラマ撮影に適していません。
 - 動きのある被写体がある場合
 - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
 - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
 - 大きな被写体がある場合
 - 波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目がなめらかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレる場合や、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- パノラマ撮影される画角全体と、ピンントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピンント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できないことがあります。

写真を撮影する

■ シャッターアイコンで撮影する

- 1 ホーム画面で【カメラ】
- 2 画面をスワイプ（フリック）して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示
- 3 シャッターアイコン（) をタップ
 -  をタッチしている間は、連続撮影（最大で100枚）ができます。

◆ お知らせ

- 「プレミアムおまかせオート」では、暗い場所での連続撮影ができない場合があります。
- 連続撮影をした場合の撮影データは、保存先を「SDカード」に設定していても内部ストレージに保存されます。
- フロントカメラは連続撮影に対応していません。

■ 「画面タッチ撮影」で撮影する

- 「画面タッチ撮影」（P.143）をオンに設定する必要があります。
- 1 ホーム画面で【カメラ】
 - 2 画面をスワイプ（フリック）して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示
 - 3 撮影画面をタップ
 - 撮影画面をタッチしている間は、連続撮影（最大で100枚）ができます。

■ カメラキーで撮影する

- 1 ホーム画面で【カメラ】
- 2 画面をスワイプ（フリック）して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示
- 3  を押す
 - ・オートフォーカス機能で撮影するとき、 を半押しし、オートフォーカス枠が青色に変わったら、そのまま を止まるまでしっかり押してください。
 - ・「カメラキー設定」(P.143) を「連続撮影」に設定すると、 を押している間は連続撮影（最大で100枚）ができます。

■ 音量キーで撮影する

- ・「音量キー設定」(P.144) を「シャッター」に設定する必要があります。
- 1 ホーム画面で【カメラ】
 - 2 画面をスワイプ（フリック）して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示
 - 3 音量キーを押す
 - ・音量キーを押している間は、連続撮影（最大で100枚）ができます。

■ ハンドシャッターで撮影する

- フロントカメラで撮影する際に、カメラに手のひらを向けることで自動的に撮影することができます。アイコンをタップするなどの操作をせずに自分撮りができます。
- ・「自動撮影」(P.143) を「ハンドシャッター」に設定する必要があります。
- 1 ホーム画面で【カメラ】
 - 2 画面をスワイプ（フリック）して「プレミアムおまかせオート」または「マニュアル」撮影画面を表示
 - 3 フロントカメラに切り替えてカメラに手のひらを向ける
 - ・ をタップしてセルフタイマーを設定できます。
 - ・手のひらマークが現れると撮影されます。

❖ お知らせ

- ・オートフォーカス枠が表示されなかったときは、ピントが合わなかった可能性があります。
- ・被写体の顔を検出すると、顔の位置に枠が表示されます（最大で5個）。そのうち自動でピントを合わせた顔のみ黄色の枠で表示されず、他の枠をタップして、ピントを合わせる顔を変更することができます。
- ・市販のイヤホン、またはBluetooth機器などと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなる場合があります。

動画を撮影する

■ 撮影開始／停止アイコンで撮影する

- 1 ホーム画面で【カメラ】
- 2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」撮影画面を表示
- 3 撮影開始アイコン（）をタップ
- 4 停止アイコン（）をタップ
 - ・一時停止／撮影開始アイコン（／）をタップすると録画を一時停止／再開できます。

■ 「画面タッチ撮影」で撮影する

- ・「画面タッチ撮影」（P.143）をオンに設定する必要があります。
- 1 ホーム画面で【カメラ】
 - 2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」撮影画面を表示
 - 3 撮影画面をタップ
 - ・撮影画面を再度タップすると停止できます。

■ カメラキーで撮影する

- 1 ホーム画面で【カメラ】
- 2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」撮影画面を表示
- 3  を押す
 - ・ を再度押すと停止できます。

■ 音量キーで撮影する

- ・「音量キー設定」（P.144）を「シャッター」に設定する必要があります。
- 1 ホーム画面で【カメラ】
 - 2 画面をスワイプ（フリック）して「ビデオ」撮影画面を表示
 - 3 音量キーを押す
 - ・音量キーを再度押すと停止できます。

❖ お知らせ

- ・動画撮影時は、送話口（マイク）を指などでふさがないようにしてください。
- ・市販のイヤホン、またはBluetooth機器などと接続しているときは、撮影開始／停止音が通常より小さくなることがあります。
- ・動画撮影中にシャッターアイコン（）をタップすると写真を撮影できます。
- ・「自動撮影（録画中）」（P.143）を「スマイルシャッター」に設定した場合、動画撮影中に笑顔を検出して静止画が撮影されてもシャッター音は鳴りません。

撮影時の設定を変更する

メニューから変更する

- 表示される項目や操作は、撮影モード、カメラ/フロントカメラ、カメラアプリによって異なります。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

1 ホーム画面で【カメラ】

2 ▶ 設定項目を選択

- [その他の設定] をタップすると、その他の設定や共通設定の項目が表示されます。
- カメラアプリによっては撮影画面で  をタップして設定します。

3 設定を変更

■ セルフタイマー（写真撮影時のみ）

セルフタイマーの秒数を設定します。シャッターアイコンがタイマーのアイコンに変わり、タップすると設定した秒数が経過した後に撮影します。手ブレの防止としてもセルフタイマーの使用をおすすめします。

■ 色合い・明るさ（「プレミアムおまかせオート」「ビデオ」設定時）

明るさと色合いを調整します。撮影画面に表示されたバーのマーカーをドラッグして調整します。

撮影画面で×をタップするか設定項目の「色合い・明るさをリセット」をタップすると、設定をリセットできます。

- 「プレミアムおまかせオート」で「タッチ追尾フォーカス」がオフの場合は、撮影画面をタップすると明るさの調整バーが表示され、続けて （縦画面では ）をタップすると色合いの調整バーが表示されます。

■ HDR（「マニュアル」設定時のみ）

逆光などの明暗に差のある状況でも見た目に近い自然な印象で撮影するときに設定します。

- HDRをオンにすると、ISOは「AUTO」に設定されます。

■ 解像度（写真撮影時のみ）

写真の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、写真のデータ容量は大きくなります。

■ ビデオ解像度（「ビデオ」設定時のみ）

動画の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、動画のデータ容量は大きくなります。

- **スローモード（「ビデオ」設定時のみ）**
撮影画面でをタップしてスローモードにするとメニューに項目が表示され、スローモードを選択できます。

スーパースロー

動画撮影中にをタップした瞬間をスーパースローモーションで撮影します。

スーパースロー（ワンショット）

をタップした瞬間をスーパースローモーションで撮影します。

スローモーション

120fpsで動画を撮影後、スローモーションにする場面を選択できます。

- スローモードを設定すると、ビデオ解像度は設定できません。
- スーパースローモーション撮影やスローモーション撮影は、シャッタースピードが高速になるため撮影時には十分な明るさを確保する必要があります。
- 屋内や暗い場所など光量が不足する場所で撮影すると、画質が粗くなったり画像が暗くなったりすることがあります。

- **先読み撮影（「プレミアムおまかせオート」設定時のみ）**

被写体の動きや笑顔を検出すると、動きに応じて最大4枚の写真を撮影し保存します。

- **タッチ追尾フォーカス**

撮影画面で被写体をタップすると、被写体が動いてもピントを合わせます。

- **測光（「マニュアル」設定時のみ）**

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。

顔

顔を検出して測光し、適度な明るさになるように露出を調整します。

マルチ

画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって露出を調整します。

中央

撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

スポット

撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

タップ

撮影画面内をタップした箇所で測光して露出を調整します。

■ 自動撮影／自動撮影（録画中）

自動で撮影する機能を設定します。

スマイルシャッター

被写体が笑った瞬間を撮影します。動画撮影中は笑った瞬間の静止画を撮影します。

ハンドシャッター（フロントカメラでの写真撮影時のみ）

カメラに手のひらを向けることで自動的に撮影できます（P.139）。

■ 電子式手ブレ補正（「ビデオ」設定時のみ）

撮影時の手ブレを軽減するかどうかを設定します。

インテリジェントアクティブ

ズームでの撮影時や、歩きながらの撮影時などの手ブレを軽減できます。

スタンダード

通常撮影時の手ブレを軽減できます。

■ 記録ファイル形式（4K）（「ビデオ」設定時のみ）

動画を4Kで撮影する際のファイル形式を、「H.264」「H.265」から選択できます。

■ 美肌効果（フロントカメラでの写真撮影時のみ）

人物の肌をなめらかに補正して撮影するかどうかを設定します。

■ 位置情報を保存

写真／動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けるかどうかを設定します。

- 撮影画面に  が表示されているときに撮影すると、位置情報が付加されます。
- 位置情報取得中は  が表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、ジオタグは付加されません。

■ カメラキー設定

 を押して静止画を撮影するときに、連続撮影をするかどうかを設定します。

■ 画面タッチ撮影

撮影画面をタップして撮影できるようにするかどうかを設定します。「フロントカメラのみON」に設定すると、フロントカメラに切り替えることで画面タッチ撮影ができます。

■ グリッドライン

撮影画面に目安となるグリッドラインを表示するかどうかを設定します。

■ 静止画オートレビュー

撮影した直後にプレビューを表示するかどうかを設定します。
「フロントカメラのみON」に設定すると、フロントカメラで撮影したときのみプレビューを表示します。

■ 静止画歪み補正

被写体により歪みが目立つ場合に静止画の歪みを補正するかどうかを設定します。オンに設定すると画質よりも歪み補正が優先されるため、画質を優先する場合はオフに設定してください。

■ 音量キー設定

音量キーに割り当てる機能を設定します。

■ 保存先

撮影した写真／動画の保存先を設定します。

■ クイック起動

クイック起動利用時の動作を設定します (P.146)。

■ ヘルプ

カメラ機能のヘルプを表示します。

■ プレビュー（「クリエイティブエフェクト」「サウンドフォト」設定時）

静止画を撮影した直後にプレビューや編集画面を表示するかどうかを設定します。

設定項目アイコンから変更する

撮影画面に表示されるアイコンをタップして設定を変更します。

- 表示されるアイコンや操作は、撮影モード、カメラ／フロントカメラ、カメラアプリによって異なります。
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

■ フラッシュ

-  自動
-  強制発光
-  赤目軽減
-  OFF
-  照明

■ ホワイトバランス（「マニュアル」設定時のみ）

周囲の光源に合わせて設定します。

 ► [WB] をタップして設定します。

-  電球
-  蛍光灯
-  太陽光
-  曇り
-  自動

■ 明るさ（EV補正）（「マニュアル」設定時のみ）

 ► [EV] ► バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

■ ISO（「マニュアル」設定時のみ）

▶ [ISO] ▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

- ISO感度を上げると、光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影できます。ただし、ノイズが目立ちます。
- ISO感度を下げると、ノイズを目立たせずに撮影できます。ただし、光量の少ない場所では暗く、手ブレしやすくなる場合があります。
- ISO感度を設定すると、HDMIはオフになります。

■ シャッタースピード（「マニュアル」設定時のみ）

被写体の動く速度などに合わせてシャッタースピードを設定します。

▶ [SS] ▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

■ フォーカス（「マニュアル」設定時のみ）

被写体からの距離に合わせて設定します。

▶▶バー上をタップするか、マーカーをドラッグして設定します。

■ 照明（「ビデオ」設定時のみ）

暗い場所や逆光での動画撮影時に、フラッシュライトを使用して撮影するかどうかを設定します。

 ON

 OFF

■ スローモーション撮影（「ビデオ」設定時のみ）

をタップするとスローモーションでの撮影ができるようになります。また、メニューの「スローモード」で「スーパースロー」「スーパースロー（ワンショット）」「スローモーション」のいずれかを選択できます（P.142）。

■ セルフタイマー（フロントカメラでの写真撮影時のみ）

をタップしてセルフタイマーの秒数を設定します。タップするたびに3秒→10秒→OFFの順に切り替わります。

シャッターアイコンがタイマーのアイコンに変わり、タップすると設定した秒数が経過した後に撮影します。

セルフポートレート撮影する場合や、集合写真を撮影するときなどに使用します。手ブレの防止としてもセルフタイマーの使用をおすすめします。

■ エフェクトの切り替え（「クリエイティブエフェクト」設定時のみ）

をタップしてエフェクトの種類を切り替えます。

クイック起動の設定を変更する

クイック起動でカメラを起動したときの動作を変更できます。

- 1 ホーム画面で【カメラ】
- 2 ▶【その他の設定】▶【クイック起動】
- 3 【起動のみ】／【起動&静止画撮影】／【OFF】のいずれかをタップ

❖お知らせ

- ・クイック起動でカメラを起動したときの撮影モードは、自動的に「プレミアムおまかせオート」になります。

アルバム

写真や動画を閲覧・再生できます。

写真／動画を表示する

- 1 ホーム画面で【アルバム】
 - ・画像が時系列で一覧表示されます。

■ 画像一覧画面



- ① メニュー
- ② 先読み撮影ファイル
- ③ 連続撮影ファイル
- ④ 動画ファイル
- ⑤ 操作メニュー
 - ・ ▶【アイテムを選択】▶画像をタップして選択すると、削除や共有などのメニューが表示されます。続けて画像をタップし、複数のファイルを選択することもできます。
- ⑥ スローモード撮影ファイル
 - ・ 120fpsで撮影し、スローモーションを含まないファイルには120fが表示されます。
- ⑦ サウンドフォトファイル
- ⑧ 4Kファイル

◆お知らせ

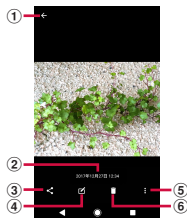
- ・保存されている画像の枚数により、画面の読み込みに時間がかかる場合があります。
- ・画像の表示を拡大／縮小するには、画像一覧画面を右／左にフリックするか、ピンチアウト／インします。
- ・DRM管理コンテンツや転送するアプリにより共有が制限される場合があります。
- ・画像一覧画面で画像をロングタッチするとファイルを選択できます。
- ・画面右上にが表示された場合は、Google Cast対応機器で写真や動画を再生できます。をタップして、画面の指示に従って接続します。Google Cast対応機器で再生するには、あらかじめGoogle Cast対応機器と同一のWi-Fiネットワークに接続しておきます (P.161)。

写真を再生する

1 ホーム画面で【アルバム】▶画像をタップ

- ・画面をタップすると、撮影日時などの情報やメニューなどのアイコンを表示／非表示にできます。
- ・サウンドフォトファイルの場合は、画像と音声が再生されます。
- ・先読み撮影ファイルの場合は、[ベストショットを選択] をタップして保存する写真を選択することができます。
- ・連続撮影ファイルの場合は、をタップするとすべてのファイルをフリックして表示することができます。

■ 写真再生画面



- ① 画像一覧画面に戻る
 - ・写真再生画面で上／下方向にフリックしても、画像一覧画面に戻ります。
- ② 撮影日時
 - ・位置情報が保存されている場合は国名や地名が表示され、 [地図に表示] をタップすると地図上に画像が表示されます。
- ③ 共有メニュー
 - ・オンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth通信やメールなどで送信したりします。
- ④ 写真を編集
- ⑤ メニュー
 - ・お気に入りへの追加／削除やスライドショー再生、画像の設定、画像の回転、詳細情報の表示、ジオタグ（位置情報）の追加／編集などができます。
- ⑥ 削除

❖ お知らせ

- 画像の表示を拡大／縮小するには、写真再生画面でピンチアウト／インまたはダブルタップします。
- アプリの利用状況や選択したファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合があります。また、ファイルによっては操作できない場合があります。

動画を再生する

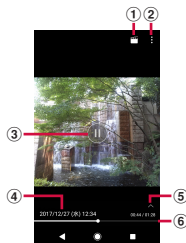
1 ホーム画面で【アルバム】▶動画をタップ

- プレビュー画面が表示されます。

2 動画をタップ

- 動画が再生されます。
- 動画再生／一時停止中は、画面をタップするとメニューなどを表示／非表示にできます。

■ 動画再生画面



- ① 動画を編集
- ② メニュー
- ③ 再生／一時停止
- ④ 動画ファイル名／撮影日時
- ⑤ 操作アイコンの表示／非表示
 - 10秒送りなどの操作アイコンやリピート再生の設定アイコンを表示／非表示にします。
- ⑥ プログレスバー
 - バー上をタップしたり、マーカーを左右にドラッグしたりして再生位置を変更できます。

❖ お知らせ

- 動画の表示を拡大／縮小するには、動画再生画面でピンチアウト／インします。
- アプリの利用状況や選択したファイルによっては、表示されるメニューが異なる場合があります。また、ファイルによっては操作できない場合があります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽や動画を再生します。

- 再生可能なデータのファイル形式について (P.235)

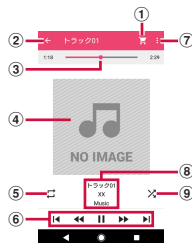
❖お知らせ

- メディアプレイヤーについて詳しくは、ホーム画面で **田**▶ [メディアプレイヤー] ▶ **田**▶ [ヘルプ] をタップしてメディアプレイヤー取扱説明書をご覧ください。

楽曲／動画を再生する

- 1 ホーム画面で**田**▶ [メディアプレイヤー]
- 2 画面上部のタブをタップまたは画面を左右にフリック
- 3 楽曲／動画をタップ

■ 楽曲再生画面

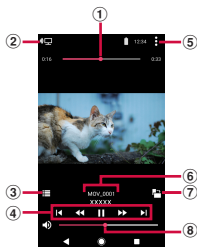


- ① dミュージックを利用する
- ② 楽曲一覧に戻る
- ③ 再生位置
- ④ アルバムアート
 - タップしてスライドパネルを表示し、音量の調節、SNSへの投稿、アルバム情報の表示などができます。
 - 楽曲再生画面で音量キーを押しても音量を調節できます。
- ⑤ リピートオフ／リピートオン／1曲リピート
- ⑥ 楽曲を操作
 - ◀: 楽曲の先頭に戻る、または前の楽曲へスキップ
 - ◀◀: 10秒戻し
 - ||: 一時停止
 - ▶: 再生
 - ▶▶: 10秒送り
 - ▶|: 次の楽曲へスキップ
- ⑦ メニュー
- ⑧ 楽曲情報
- ⑨ シャッフルオフ／シャッフルオン

❖ お知らせ

- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらバックグラウンドで楽曲を聴くことができます。楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面で **⏮▶** [メディアプレイヤー] をタップするか、ステータスバーを下にドラッグ▶再生中の楽曲名をタップします。

■ 動画再生画面



- 再生位置
- スクリーンミラーリング対応機器と本端末との間で動画を共有
- 動画一覧に戻る
- 動画を操作
 - ⏮**: 動画の先頭に戻る、または前の動画へスキップ
 - ⏮**: 10秒戻し
 - ⏮**: 一時停止
 - ▶**: 再生
 - ▶**: 10秒送り
 - ▶**: 次の動画へスキップ
- メニュー
- 動画情報

⑦ 画面の自動回転オン／オフ

- 🔄** をタップすると赤くなり、画面の自動回転がオフになります。

⑧ 音量調節

- 動画再生画面で音量キーを押しても音量を調節できます。

❖ お知らせ

- 画面をタップすると、メニューなどを表示／非表示にできます。

メディアプレイヤーを終了する

1 メディアプレイヤー画面／楽曲再生画面／動画再生画面で **⏮** / **▶** [アプリ終了]

位置情報サービスについて

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分たっても現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かす、GPSアンテナ部(P.29)を覆わないようにしてください。

GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に数分かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出ることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内

- 本端末の周囲に障害物（人やもの）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖ 注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、Wi-Fi (P.161) やモバイルデータ通信 (P.165) がオンになっていることを確認してください。
- 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能／位置情報サービスをオンにする

GPS機能やWi-Fi機能、モバイルネットワーク基地局からの情報を元にした現在地の特定などができます。

- 1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ロック画面とセキュリティ】** ▶ **【位置情報】**
- 2  **をタップ**
- 3 **位置情報の注意文を読んで【同意する】**

❖ お知らせ

- Google位置情報サービスにより、個人を特定しない形で位置情報が収集されます。なお、アプリが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを使用する

Googleマップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などができます。

- Googleマップを利用するには、モバイルデータ通信が可能な状態（LTE/3G/GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

地図上で現在地を検出する

位置情報サービスを利用して現在地を検出できます。

- 現在地を検出するには、あらかじめ「位置情報」(P.152) をオンに設定する必要があります。

- 1 ホーム画面で **【Google】** ▶ **【マップ】**

現在地が青い印で表示されます。

- 現在地が表示されていない場合に現在地を表示するには  をタップします。
-  をタップすると、アイコンが  に変わり、本端末の地磁気コンパスと地図上で表示される方角が連動します。

- 地図を拡大／縮小するには、マップ画面でピンチアウト／インするか、画面をダブルタップ／2本の指でタップします。
- 確認画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

ストリートビューを見る

- 1 ホーム画面で【Google】▶【マップ】
- 2 ストリートビューで表示する地点をロングタッチ
- 3 画面左下に表示される写真をタップ

場所を検索する

- 1 ホーム画面で【Google】▶【マップ】
- 2 検索バーに検索する場所を入力
- 3 ソフトウェアキーボードの  をタップ
- 4 目的の場所をタップ

情報を表示する

地図上に交通情報などの情報を表示できません。

- 1 ホーム画面で【Google】▶【マップ】
- 2 ≡▶表示する情報を選択

ナビゲーションをする

目的地への詳しい道案内を取得できます。

- 1 ホーム画面で【Google】▶【マップ】
- 2 【経路】▶移動の方法を選択
- 3 上の入力欄に出発地を入力▶下の入力欄に目的地を入力

スケジュール

スケジュールを表示する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【スケジュール】
- 2 ▶【月】／【週】／【日】のいずれかをタップ
 - ・カレンダー部分を左右にフリックすると、前後の月や週、日を表示します。

❖お知らせ

- ・現在の日付にカーソルを移動するには、手順2で▶【日付移動】▶【今日】をタップします。
任意の日付にカーソルを移動するには、手順2で▶【日付移動】▶カレンダー部分を左右にフリックして月を選択し日付をタップ▶【移動】をタップします。
- ・手順2で▶【スケジュール一覧】をタップすると、登録されているすべてのスケジュールを一覧で表示します。
- ・手順2で▶【メモ一覧】をタップすると、「メモ」アプリの表示に切り替えられます。

スケジュールの予定を作成する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【スケジュール】
 - 2 ▶項目を入力
 - ・アラームなどを設定する場合は【入力オプションを表示】をタップします。
 - 3 【保存】
- ❖お知らせ
- ・スケジュールのアラームを設定している場合は、設定時刻になるとステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶【お知らせ時間になりました】をタップすると、予定の詳細を表示することができます。

スケジュールの予定を表示する

- 1 ホーム画面で【ドコモクラウド】▶【スケジュール】▶予定のある日付／時間を表示
 - ・表示が月または週の場合は、予定のある日付をタップします。
- 2 詳細を表示する予定をタップ
 - ・予定を編集するには、【編集】をタップします。

❖お知らせ

- ・予定を削除するには、手順2で削除する予定をロングタッチ▶ [1件削除] ▶ [削除する] をタップします。
- ・すべての予定を削除するには、ホーム画面で [ドコモクラウド] ▶ [スケジュール] ▶  ▶ [全件削除] ▶ [削除する] をタップします。

スケジュールの表示条件を設定する

表示条件を設定すると、特定のデータのみ表示することができます。

- 1 ホーム画面で [ドコモクラウド] ▶ [スケジュール]
- 2  ▶ [表示条件]
- 3 表示条件を選択▶ [OK] ▶  をタップ

❖お知らせ

- ・手順3で [フリーワード検索] ▶ 検索する語句を入力▶ [OK] ▶ [OK] ▶  をタップすると、「タイトル」「本文」「どこで？」で入力した内容を検索することができます。

時計

アラームや世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

アラームを設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ [時計]
- 2  ▶ 時刻を設定 ▶ [OK]
 - ・時刻を編集するには [時間を編集] をタップします。
- 3 [詳細設定] ▶ 項目を設定
- 4 [保存]
 - ・ をタップすると設定画面を閉じます。

❖お知らせ

- ・アラームを編集するには、手順2で編集するアラームの  ▶ [詳細設定] をタップします。
- ・アラームを削除するには、手順2で削除するアラームをロングタッチ▶  をタップします。

アラームのオン／オフを切り替える

- 1 ホーム画面で  ▶ [時計]
- 2 オン／オフを切り替えるアラームの  /  をタップ

アラーム音を止める

1 アラームが鳴っているときにを右にドラッグ

❖お知らせ

- ・[スヌーズ] をタップすると、設定した時間の経過後に、再度アラームが鳴ります。
- ・画面のバックライト点灯時（ロック画面を除く）は画面上部の通知をタップしても操作できます。

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時や所在地との時差などを表示できます。

1 ホーム画面で▶【時計】▶「世界時計」タブをタップ

2 【ここをタップして所在地を設定】▶都市名を入力▶一覧から都市を選択

- ・所在地を変更する場合は▶[所在地の設定] をタップします。
- ・都市を追加するにはをタップします。

❖お知らせ

- ・追加した都市をロングタッチ▶をタップすると、都市を削除できます。
- ・サマータイム期間中の時差は、表示される時差とは異なる場合があります。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面で▶【時計】▶「ストップウォッチ」タブをタップ

2 【開始】

3 【停止】

タイマーを利用する

1 ホーム画面で▶【時計】▶「タイマー」タブをタップ

2 数字をタップして時間を設定

3 【開始】

4 【停止】

ドコモデータコピー

ドコモデータコピーは、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台を並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で田▶【データコピー】▶【データ移行】

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
- 対応機種や詳しい使いかたは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカードへのバックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の連絡先は、docomoのアカウントとして登録されている連絡先です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。

- ・ microSD カードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSD カードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- ・ 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- ・ 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち内部ストレージに保存されているもののみバックアップされます。microSD カードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、メディアファイルなどのデータを microSD カードにバックアップします。

- 1 ホーム画面で田▶【データコピー】▶【バックアップ&復元】
- 2 【バックアップ】
- 3 バックアップするデータにチェックを入れる
- 4 【バックアップ開始】▶【開始する】
 - ・ 選択したデータが microSD カードに保存されます。
- 5 【トップに戻る】

復元する

microSD カードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で田▶【データコピー】▶【バックアップ&復元】
- 2 【復元】
- 3 復元するデータ種別の【選択】▶復元するデータにチェックを入れる▶【選択】
 - ・ 【最新データを選択】をタップすると、データ種別ごとの最新のバックアップデータを選択します。
- 4 復元方法を選択▶【復元開始】▶【開始する】
 - ・ データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - ・ 選択したデータが本端末に復元されます。
- 5 【トップに戻る】

Googleアカウントの連絡先を docomoのアカウントにコピーする

Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で田▶【データコピー】
▶【バックアップ&復元】
- 2 【電話帳アカウントコピー】▶コピー
する電話帳の【選択】▶【上書き】
／【追加】
 - ・コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 【OK】

データ保管BOXへのバックアップ・復元

データ保管BOXを利用して、通話履歴・音楽のデータの移行やバックアップができます。

- 1 ホーム画面で田▶【データコピー】
- 2 Ⅱ▶【データ保管BOXへバックアップ・復元】
- 3 【バックアップ】または【復元】
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ・ドコモクラウドへログインしていない場合は、確認画面で【ログイン】をタップし、画面の指示に従ってログインしてください。

❖お知らせ

- ・画面ロック中や「STAMINAモード」(P.174)の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されないことがあります。その場合は次回起動可能となったときに実行されます。
- ・データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で田▶【設定】

ネットワークとインターネット	P.160
機器接続	P.170
外観	P.171
アプリと通知	P.171
バッテリー	P.174
画面設定	P.175
音設定	P.177
通話設定	P.99
ストレージ	P.179
ロック画面とセキュリティ	P.180
ドコモのサービス／クラウド	P.189
ユーザーとアカウント	P.190
アシスト	P.192
ユーザー補助	P.193
Google	P.195
システム	P.195

❖お知らせ

- 本端末の利用状況によっては、「ネットワークとインターネット」の上に設定中の機能をお知らせする項目などが表示される場合があります。

ネットワークとインターネット

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】

Wi-Fi	P.161
モバイルネットワーク	P.164、P.166、P.210、P.211
データ使用	P.165
テザリング	P.166
VPN	P.169
機内モード	P.170

❖お知らせ

- ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶⋮▶【ネットワーク設定のリセット】をタップすると、ネットワーク設定をリセットできます。

Wi-Fi

Wi-Fi機能で自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- **Bluetooth機器との電波干渉について**
無線LAN (IEEE802.11b/g/n) と Bluetooth機器は同一周波数 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
- 本端末とBluetooth機器は、約10m以上離してください。
 - 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

- 1 ホーム画面で田▶ **【設定】 ▶ 【ネットワークとインターネット】**
- 2 **「Wi-Fi」の  をタップ**
 - Wi-Fiがオンになるまで、数秒かかる場合があります。

❖お知らせ

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまま利用すると、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようにご注意ください。

Wi-Fiネットワークに接続する

- 1 **ホーム画面で田▶ **【設定】 ▶ 【ネットワークとインターネット】 ▶ **【Wi-Fi】******
- 2 **接続するWi-Fiネットワークを選択**
 - セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのパスワードを入力▶ **【接続】** をタップします。
 - WPS対応機器でWi-Fiネットワークに接続する場合は、**【Wi-Fi設定】 ▶ **【詳細設定】 ▶ **【WPSプッシュボタン】** / **【WPS PIN入力】** をタップし、画面の指示に従って操作してください。****

❖ お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
- Wi-Fiネットワークへの接続が成功すると、「接続済み」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。Wi-Fiネットワークへの接続操作をしてから、接続結果が表示されるまでに5分以上かかる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続するとが表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。ホーム画面で▶【設定】▶【ドコモのサービス/クラウド】▶【dアカウント設定】をタップして設定します。

接続中のWi-Fiネットワークの設定を削除する

- 1 ホーム画面で▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【Wi-Fi】

2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップ

3 【削除】

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.161）。

1 ホーム画面で▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【Wi-Fi】

2 【ネットワークを追加】▶追加するWi-Fiネットワークのネットワーク名（SSID）を入力

3 「セキュリティ」の設定項目をタップ▶追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップ

- 「設定しない」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から選択できます。

4 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力

5 【保存】

Wi-Fiの設定を行う

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【Wi-Fi】▶【Wi-Fi設定】

オープンネットワークの通知	Wi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。
接続不良のとき無効にする	Wi-Fiの電波が弱い場合や通信品質が悪い場合に、モバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。
スリープ時のWi-Fi接続※	画面のバックライトが消灯したときに、本端末のWi-Fi機能をオフにするかどうかを設定します。 ・初期状態は「充電時は接続を維持する」に設定されています。
証明書のインストール※	証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダー※	Wi-Fiネットワークの状態などを評価して、より良いWi-Fiネットワークに接続する機能を設定します。
Wi-Fi Direct※	P.163
WPSプッシュボタン※	P.161
WPS PIN入力※	
MACアドレス※	MACアドレスを確認できます。
IPアドレス※	IPアドレスを確認できます。

※【詳細設定】をタップすると表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【Wi-Fi】▶【保存済みネットワーク】をタップすると、保存済みネットワークの確認や削除ができます。

Wi-Fi Direct機能を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct®機能に対応した機器間で直接Wi-Fi接続ができます。

- あらかじめWi-Fiをオンにしておく必要があります（P.161）。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【Wi-Fi】
- 2 【Wi-Fi設定】▶【詳細設定】▶【Wi-Fi Direct】
- 3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択
 - ・【デバイスの検索】をタップすると、検出一覧を更新できます。
 - ・検出されたWi-Fi Direct対応機器側に表示される本端末の名前を変更するには、【機器名を変更】をタップします。

❖お知らせ

- Wi-Fi Direct機能は、対応したアプリをインストールすることで利用可能となります。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】▶【アクセスポイント名】
 - 現在使用されているアクセスポイントには、右側のラジオボタンにチェックが付いています。

アクセスポイントを追加で設定する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】▶【アクセスポイント名】
- 2 **＋をタップ**
 - アクセスポイントを編集する場合は、編集するアクセスポイントをタップします。
- 3 **【名前】▶任意の名前を入力▶【OK】**
- 4 **【APN】▶アクセスポイント名を入力▶【OK】**
- 5 **通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力**
- 6 **⋮▶【保存】**

❖お知らせ

- MCC/MNCを初期値（440/10）以外に変更すると、APN画面に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面に表示されなくなった場合には、手順2で⋮▶【初期設定にリセット】または＋をタップして再度アクセスポイントの設定を行ってください。
- あらかじめ登録されているアクセスポイントは、編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

アクセスポイントを初期化する

1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【モバイルネットワーク】** ▶ **【アクセスポイント名】**

2 **⋮** ▶ **【初期設定にリセット】**

データ使用

データ使用量を確認したり、モバイルデータ通信に関する設定をしたりできます。

1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【データ使用】**

使用量	「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量が表示されます。タップすると、モバイルデータ使用量の警告値を設定できます。
データセーバー	P.165
モバイルデータ	P.165
モバイルデータ使用量	「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量をグラフで確認できます。 ・グラフの下に表示されるアプリを選択すると、アプリごとにバックグラウンドでのモバイルデータ通信の制限などを設定できます。
請求期間	P.166

Wi-Fiデータ使用量	Wi-Fiデータ使用量を確認できます。
ネットワーク制限	特定のWi-Fiネットワークの利用を制限するように設定します。

データセーバーを有効にする

アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、データ使用量を抑制します。

1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【データ使用】**

2 **【データセーバー】** ▶  をタップ

❖お知らせ

- データセーバーでモバイルデータ通信を制限しないアプリを設定するには、手順2で **【データセーバー】** ▶ **【データ通信を制限しないアプリ】** ▶ 設定するアプリの  をタップします。

モバイルデータ通信を有効／無効にする

1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【データ使用】**

2 **「モバイルデータ」** の  /  をタップ

3 **注意文を読んで** **【OK】**

※お知らせ

- ホーム画面で田▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイルネットワーク]▶[モバイルデータ通信]のをタップしても、モバイルデータ通信を有効／無効にできません。

請求期間を設定する

モバイルデータ使用量の請求期間（測定期間）を設定したり、モバイルデータ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

1 ホーム画面で田▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[データ使用]

2 【請求期間】

請求期間	モバイルデータ使用量の請求期間（測定期間）を設定します。
データ警告を設定	モバイルデータ使用量が指定した警告値に達したとき、警告の通知を表示するかどうかを設定します。
データ警告	モバイルデータ使用量の警告値を設定します。
データ上限の設定	モバイルデータ使用量が指定した上限値に達したとき、モバイルデータ通信を一時停止するかどうかを設定します。
データ上限	モバイルデータ使用量の上限値を設定します。

※お知らせ

- 表示されるモバイルデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。実際のモバイルデータ使用量はMy docomoからご確認ください。
- モバイルデータ使用量が指定の上限値に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されます。ご注意ください。
モバイルデータ通信を再開するには、一時停止中をお知らせする画面で[再開]をタップします。一時停止をお知らせする画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にドラッグ▶[モバイルデータの上限に達しました]▶[再開]をタップします。

テザリング機能を利用する

テザリング機能を利用すると、本端末をモデムとしてUSB対応機器や無線LAN対応機器、Bluetooth機器をインターネットに接続させることができます。

※お知らせ

- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ドコモnanoUIMカードを取り付けていないときや、モバイルデータ通信を無効にしているとき、圏外のときなどでモバイルネットワークを利用できない場合は、テザリング機能を利用できません。

USBテザリングをオンにする

1 本端末をUSBケーブル A to C 01 (別売品) などでパソコンに接続 (P.41)

- 本端末上に「USB接続の用途」画面が表示されます。
- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上にソフトウェアのインストールを確認する画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。

2 [USBテザリング]

3 「USBテザリング」の をタップ

- 初めて本機能を利用したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。

❖ お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境 (OS) は次のとおりです。
 - Microsoft Windows 10
 - Microsoft Windows 8.1
 - Microsoft Windows 7
- USBテザリング中は、パソコンで本端末の内部ストレージおよび microSD カードにアクセスすることはできません。

- USBテザリングは、Wi-Fiテザリング、Bluetoothテザリングと同時に利用できます。

Wi-Fiテザリングをオンにする

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続できます。

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [テザリング]

2 「Wi-Fiテザリング」の をタップ

❖ お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にWi-Fiテザリングを開始すると、Wi-Fi接続は切断されます。Wi-Fiテザリングを終了すると、自動的にWi-Fiネットワークに接続されます。
- Wi-Fiテザリングは、USBテザリング、Bluetoothテザリングと同時に利用できます。
- 手順2で [ワンタッチWi-Fiテザリング] をタップすると、NFCを利用して無線LAN対応機器を接続できます。
- 手順2で [Wi-Fiテザリング設定] ▶ [省電力] をタップして省電力を有効にすると、無線LAN対応機器の接続がないまま設定時間を超えた場合、Wi-Fiテザリングは自動的にオフになります。

Wi-Fiテザリングの設定を変更する

初期状態で設定されているネットワーク名 (SSID) やセキュリティの設定、パスワードを変更できます。

- 1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【テザリング】**
- 2 **【Wi-Fiテザリング設定】** ▶ **【Wi-Fiテザリング設定】**
- 3 **設定するWi-Fiアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) を入力**
 - 初期状態は本端末のデバイス名が設定されています。
- 4 **「セキュリティ」の設定項目をタップ**
▶ **設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティタイプをタップ**
- 5 **必要に応じて、設定するWi-Fiアクセスポイントのパスワードを入力**
 - 初期状態はパスワードがランダムに設定されています。
- 6 **【保存】**

Bluetoothテザリングをオンにする

Bluetooth機器をインターネットに4台まで同時に接続できます。

- 1 ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークとインターネット】** ▶ **【テザリング】**
- 2 **「Bluetoothテザリング」の  をタップ**

❖ お知らせ

- Bluetooth機器から本端末に接続するには、ペア設定 (P.202) を行い、Bluetooth機器で本端末との接続方法を設定する必要があります。Bluetooth機器からの操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothテザリングは、USBテザリング、Wi-Fiテザリングと同時に利用できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）を使うと、企業や学校などの保護されたローカルネットワーク内の情報に外部からアクセスできます。

- 本端末にVPNを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

VPNを追加する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【VPN】
- 2 十をタップ
 - 注意文が表示された場合は、画面の指示に従って画面ロックの解除方法や指紋を設定してください（P.185、P.186）。
- 3 編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定
- 4 【保存】

❖お知らせ

- VPNを編集するには、手順2でVPNの⚙▶各項目を入力／設定▶【保存】をタップします。
- VPNを削除するには、手順2でVPNの⚙▶【削除】をタップします。

VPNに接続する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【VPN】
- 2 接続するVPNをタップ
- 3 【接続】
 - VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。
 - VPNの追加時にユーザー名やパスワードを入力していない場合は、必要な認証情報を入力▶【接続】をタップしてください。

VPNを切断する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【VPN】
- 2 接続中のVPNをタップ▶【切断】

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】

2 「機内モード」のをタップ ・ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできます。電波の使用を禁止された区域ではこれらの機能をオンにしないでください。

機器接続

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】

Bluetooth		P.201
キャスト		Google Cast対応機器に本端末の画面を表示します。
スクリーンミラーリング*		スクリーンミラーリングに対応したテレビやタブレットに接続し、本端末の画面を表示します。
メディアサーバー		P.207
画面点灯を維持		外部機器接続中に本端末の画面のバックライトを点灯し続けるかどうかを設定します。
NFC／おサイフケータイ設定		P.124、P.203
USB接続設定	USB接続モード	USB接続の接続モードを切り替えます（P.206）。
	ソフトウェアをインストール	本端末をパソコンに接続したとき、本端末のコンテンツを管理するソフトウェアのインストール確認画面を表示するかどうかを設定します。

DUALSHOCK™4	ワイヤレスコントローラー (DUALSHOCK™4) で本端末を操作できるように設定します。
印刷	プリントサービスのアプリをインストールします。

※ Wi-Fi CERTIFIED Miracast™ 準拠

使用環境によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。
Wi-Fi機能のアンテナ部付近を手で覆うと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。

外観

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【外観】

テーマ	P.58
壁紙	P.58、P.84

アプリと通知

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】

優先アプリ設定	優先して使用するアプリを、一括または個別で設定します。
アプリ情報	P.171
通知の設定	P.174
アプリの権限*	アプリの権限の設定を確認／変更します。
標準のアプリ*	標準で使用するアプリの設定を確認／変更します。
特別なアプリアクセス*	本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を確認／変更します。

※【詳細設定】をタップすると表示されます。

アプリ情報

インストールされたアプリの管理やアンインストールができます。また、アプリごとに通知や権限の設定を変更したり、データやキャッシュを削除したりできます。

アプリを管理する

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】▶【アプリ情報】

- ・：▶【システムを表示】をタップすると、すべてのアプリを表示できます。
- ・画面上部の【すべてのアプリ】をタップすると、表示するアプリの条件を選択できます。

2 管理するアプリをタップ

- ・画面を上下にドラッグし、画面右端に表示されたスクロールバーを上下にドラッグすると、インデックス文字がポップアップ表示されてアプリを検索できます。

アンインストール／無効にする	P.172、P.173
強制終了	P.172
アプリの通知	通知の設定を変更します。
許可	アクセス権限の設定を変更します。
ストレージ	データやキャッシュなどを削除します。
データ使用	データ使用量を確認します。
バッテリー	前回のフル充電からの電池の使用状況を確認します。
標準で開く	標準アプリの設定をクリアします。
メモリー	メモリー使用量を確認します。

バージョン	アプリのバージョンが表示されます。
-------	-------------------

❖お知らせ

- ・アプリや使用状況によって、表示される項目が異なる場合や、項目が選択できない場合があります。

アプリを強制終了する

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】▶【アプリ情報】

- ・：▶【システムを表示】をタップすると、すべてのアプリを表示できます。

2 強制終了するアプリをタップ

3 【強制終了】▶【注意文を読んで】【OK】

アプリをアンインストールする

- ・アンインストールする前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】▶【アプリ情報】

2 アンインストールするアプリをタップ

3 【アンインストール】▶【OK】

❖お知らせ

- ・プリインストールされているアプリはアンインストールできない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは、無効化 (P.173) できる場合があります。
- ・Google Playから入手したアプリはGoogle Playの画面からアンインストール (P.123) することをおすすめします。
- ・手順3で：▶【更新データの削除】が表示された場合は、タップするとアプリを初期状態に戻すことができます。

アプリを無効化する

アンインストールできないアプリやサービスは無効化できる場合があります。

- ・無効化したアプリはホーム画面やアプリ画面に表示されず、実行もされなくなります。が、アンインストールはされません。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】▶【アプリ情報】
 - ・：▶【システムを表示】をタップすると、すべてのアプリを表示できます。
- 2 無効化するアプリをタップ
- 3 【無効にする】▶注意文を読んで【アプリを無効にする】

❖お知らせ

- ・アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリの設定をリセットする

アプリの無効化 (P.173) や標準のアプリの設定 (P.171)、バックグラウンドデータの制限 (P.165)、アプリの権限 (P.49) などをリセットできます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】▶【アプリ情報】
- 2 ：▶【アプリの設定をリセット】
- 3 【設定リセット】

通知の設定

アプリや機能ごとに通知方法を設定できます。また、通知LEDの動作や、ロック画面での通知に関する設定を変更することもできます。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アプリと通知】▶【通知の設定】

通知	アプリや機能ごとに通知の動作を設定できます。
通知ドットの許可	アイコンにドット（点）を表示して、アプリの通知を知らせるかどうかを設定します。
点滅ライト	不在着信などを通知LED（P50）の点滅でお知らせするかどうかを設定します。
ロック画面の通知	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。*
ロック画面に通知を表示する	表示する通知があるとき、ロック画面に通知内容を表示し続けるかどうかを設定します。

※「画面のロック」（P185）の設定により表示される項目は異なります。

バッテリー

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【バッテリー】

電池残量と残り時間（使用状況から予測）	電池残量と使用状況から予測された残りの使用可能時間が表示されます。
STAMINAモード	本端末の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。 「電池残量××％で自動的に有効」を選択すると、指定した電池残量になったときにSTAMINAモードを有効にするように設定できます。⚙️をタップすると、有効にする電池残量を指定できます。 「節電レベル」をタップすると、制限のレベルを設定できます。 「スマートSTAMINA通知」をオンにすると、次の充電まで十分な電池残量がないと予測されたときに通知でお知らせします。 - STAMINAモードの設定に連動して、「電池残量と残り時間（使用状況から予測）」にSTAMINAモード設定時の使用可能時間が表示されます。
緊急省電力モード	P48
いたわり充電	P38
前回のフル充電から使用*	前回のフル充電から電池を使用したアプリや機能が表示されます。

機器の使用状況※	前回のフル充電から現在までの経過時間と、画面による電池の使用時間が表示されます。
----------	--

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

❖ お知らせ

- 省電力機能では、電池の消費を抑えるためにバックグラウンド通信やバックグラウンドでの動作を制限します。アプリが省電力機能の影響を受けないように設定するには、「対象外アプリ」に登録してください。
対象外アプリに設定するには、ホーム画面で **田▶ [設定] ▶ [バッテリー] ▶ ⋮▶ [省電力機能の対象外アプリ] ▶ [アプリ] / [システム]** タブをタップ▶設定するアプリにチェックを入れます。
- ホーム画面で **田▶ [設定] ▶ [バッテリー] ▶ ⋮▶ [電池を消費するアプリ]** をタップすると、電池を消費するアプリを管理して、電池の消費を抑えることができます。

画面設定

1 ホーム画面で**田▶ [設定] ▶ [画面設定]**

明るさのレベル	P.176
明るさの自動調節	「明るさのレベル」の設定を基準に、周囲の明るさに応じて自動で画面の明るさを調節します。
スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
スマートバックライト	本端末を手に持って使用している間、タッチ操作をしていない状態でも画面のバックライトを消灯しないように設定します。 ・スマートバックライトをオンにして本端末を手に持っていて、端末の静止状態が続くと画面のバックライトが消灯する場合があります。
色域とコントラスト	静止画や動画の表示モードを設定します。 ・「プロフェッショナルモード」を選択した場合は、オリジナルの色彩で再現します。 ・「スタンダードモード」を選択した場合は、色鮮やかに再現します。 ・「ダイナミックモード」を選択した場合は、スタンダードモードより強調した色彩で再現します。
ホワイトバランス	P.176

動画再生時の高画質処理	動画の再生時に模様や輪郭を強調し、きめ細やかな質感や鮮鋭感を再現します。
フォント変更	フォントを変更します。 ・設定を変更すると、本端末が再起動します。
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。
システムアイコン	ステータスバーに表示するアイコンを選択します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。
機器が回転したときの表示	P.46
カメラを起動	 を2回押して「カメラ」アプリを起動できるようにするかどうかを設定します。
手ぶくろモード	タッチ感度を上げて、手袋をしている状態でもタッチ操作ができるように設定します。 ・手ぶくろモードをオンにして手袋で画面に触れると、触れた箇所にリングが表示されます。 ・手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。

画面の明るさを調節する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【画面設定】 ▶ 【明るさのレベル】**
- 2 スライダーを左右にドラッグ

ホワイトバランスを調整する

- 1 ホーム画面で  ▶ **【設定】 ▶ 【画面設定】 ▶ 【ホワイトバランス】**
- 2 スライダーを設定する位置でタップまたは左右にドラッグ
・「ここを長押しすると以前の設定が確認できます」と表示された部分をロングタッチすると、調整前の設定を確認することができます。
- 3 **【完了】**
❖お知らせ
・手順2で  ▶ **【初期値に戻す】 ▶ 【完了】** をタップすると、初期状態に戻ります。

音設定

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【音設定】

オーディオ設定	DSEE HX	圧縮された音楽データの再生時にハイレゾ・オーディオ相当で再現するかどうかを設定します。 ヘッドセット接続端子にハイレゾ・オーディオ対応ヘッドホンを接続した場合のみ再現されます。
	ClearAudio+	ソニーが推奨する音楽のためのサウンド設定で、デジタル信号処理技術の設定をワンタッチで最適化します。
	サウンドエフェクト	サウンドエフェクトの設定をします。
	ダイナミックノーマライザー	音量レベルの異なる複数の楽曲を再生しても、同程度の音量で再生するように設定します。

アクセサリ設定	自動最適化	耳の形状や接続したヘッドホンの特性を解析して音質を最適化します。
	ノイズキャンセル	ノイズキャンセル機能を有効にして周囲の騒音を減らすことができます。ノイズキャンセリングヘッドホンを接続すると設定が可能になります。
	ワイヤレス再生品質	LDAC対応機器またはaptX HD対応機器を使用して、高音質オーディオを再生するように設定します。対応機器と接続すると設定が可能になります。
	マイク感度	マイク感度を設定します。
メディアの音量		P.178
アラームの音量		
着信音の音量		
着信時バイブレーション		着信時に本端末を振動させるかどうかを設定します。

通知の鳴動制限	重要な通知の選択	「通知の鳴動制限」※1を「重要な通知のみ鳴動」に設定したときにお知らせする重要な通知の種類を設定します。
	視覚的な通知のブロック	「通知の鳴動制限」※1を設定中に、ポップアップ表示や画面のバックライトの点灯、通知LEDの点灯／点滅などの通知動作を制限するかどうかを設定します。
	自動ルール	特定の曜日・時刻や「カレンダー」アプリで登録した予定の日時に、自動的に「通知の鳴動制限」※1を起動するためのルールを設定します。
着信音	P.179	
通知音		
アラーム音		
ダイヤルキー操作音※2	ダイヤルキーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。	
画面ロック音※2	[🔒]を押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	
タッチ操作音※2	メニューを選択したときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。	

タップ操作時のバイブ※2	キーアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかどうかを設定します。
--------------	--

※1 クイック設定パネル (P.54) で  をタップし、「通知の鳴動制限」を有効なクイック設定ツールに設定すると利用できます。

※2 「詳細設定」をタップすると表示されます。

◆お知らせ

- マナーモードについては、「マナーモードを設定する」(P.46) をご参照ください。

各種音量を調節する

メディア再生音、アラーム、着信音と通知音の音量を調節します。

1 ホーム画面で 【設定】 ▶ 【音設定】

2 「メディアの音量」／「アラームの音量」／「着信音の音量」のスライダーを左右にドラッグ

◆お知らせ

- 着信音の音量は音量キーを押しても調節できません。着信時に音量キーまたは  を押すと、着信音を消音にすることができます。

着信音／通知音／アラーム音を設定する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【音設定】
- 2 【着信音】／【通知音】／【アラーム音】のいずれかをタップ
- 3 設定する音を選択▶【完了】

❖お知らせ

- ・初期状態で登録されている着信音や通知音、アラーム音以外の音を設定する場合は、手順3で✚をタップします。
- ・手順3で音を選択すると、「着信音の音量」や「アラームの音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、音量が0の場合は鳴りません。

ストレージ

内部ストレージやUSBストレージ、microSDカードの容量を確認したり、USBストレージやmicroSDカードを初期化（フォーマット）したりできます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ストレージ】

××.××GB 使用中（合計 64.00GB）※1	内部ストレージの使用容量および合計容量が表示されます。
内部共有ストレージ※1	内部ストレージの使用容量／合計容量が表示されます。
USBドライブ※1	USBストレージの使用容量／合計容量が表示されます。
SDカード※1	microSDカードの使用容量／合計容量が表示されます。
SDカードヘデータ 転送※1※2	内部ストレージのデータをmicroSDカードへ転送します。

※1 USBストレージやmicroSDカードの認識状態により表示される項目は異なります。

※2 内部ストレージ内の特定のフォルダに格納されているデータのみがmicroSDカードに転送されます。

❖お知らせ

- ・[内部共有ストレージ] ▶ [空き容量を増やす] をタップすると、ファイルやアプリを選択して削除/アンインストールし、内部ストレージの空き容量を増やすことができます。
- ・[内部共有ストレージ] ▶ [ファイル] をタップするか、[USBドライブ] / [SDカード] をタップするとデータ一覧画面が表示され、保存されているデータの確認や、データのコピー/移動/削除/共有などの操作ができます (P.199)。
- ・USBストレージ/microSDカードの認識を解除するには、「[USBドライブ] / [SDカード]」の▲をタップします。再度認識させる場合は「[USBドライブ] / [SDカード] ▶ [マウント]」をタップします。
- ・USBストレージ/microSDカードのフォーマットを行うには、「[USBドライブ] / [SDカード] ▶ ⓘ▶ [ストレージの設定] ▶ [フォーマット] ▶ [削除してフォーマット]」をタップします。
フォーマットを行うと保存されている内容がすべて消去されますのでご注意ください。

ロック画面とセキュリティ

1 ホーム画面で ⓘ▶ [設定] ▶ [ロック画面とセキュリティ]

Google Play プロテクト※1	本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかどうかを設定します。
端末を探す※1	本端末の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかどうかを設定します。
セキュリティアップデート※1	ソフトウェアアップデートの更新の有無を確認したり、更新ファイルの自動更新を設定したりします (P.230)。
画面のロック	P.185
指紋設定	P.186
Smart Lock	画面ロックの解除方法を「パターン」 / 「ロック No.」 / 「パスワード」に設定している場合に、持ち運び検知機能や登録した場所 / 機器 / 音声 / 顔でロックを解除できるように設定します。
時計	ロック画面の時計を設定します。

ロック画面 の設定	通知の設定	P.174
	ロック画面 の通知	ロック画面に通知内容を表示するかどうかを設定します。※2
	ロック画面 からユー ザーを追加	画面ロックの解除方法を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定しているとき、ロック画面のクイック設定パネル (P.54) からゲストやユーザーを追加できるようにするかどうかを設定します。
	ロック画面 メッセージ	ロック画面に表示するメッセージを入力します。
位置情報		P.188
パスワードの表示		ロックNo./パスワードの入力画面で、「●」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
機器管理アプリ		本端末を管理するアプリを有効にするかどうかを設定します。
SIMカードロック※3		P.184

暗号化と認 証情報	機器を暗号 化	内部ストレージはお買い上げ時に暗号化されています。
	ストレージ のタイプ	認証情報ストレージ※4のタイプを表示します。
	信頼できる 認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ユーザー認 証情報	本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
	機器メモリ がSDカード からインス トール	証明書をインストールします。
	認証情報ス トレージの データ削除	認証情報ストレージ※4からすべての証明書や認証情報を削除します。※5
信頼できるエージェント		信頼できるエージェントを有効にするかどうかを設定します。
画面のピン留め		画面をピン留めできるようにするかどうかを設定します。オンに設定すると、最近使用したアプリのサムネイル (P.71) に📌が表示されます。
使用履歴にアクセスできるアプリ		使用履歴を読み取るアプリに、使用状況へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

※1 使用状況によって表示が異なる場合があります。

※2 「画面のロック」 (P.185) の設定により表示される項目は異なります。

- ※ 3 ドコモ nanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。
- ※ 4 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。
- ※ 5 VPNの設定も削除されます。

本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。本端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- ・ 設定する暗証番号には、「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号を使用しないでください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- ・ 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

- ・ 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモ nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- ・ PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモ nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ・ ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.184）。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUKコード）」（P.183）でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

■ dアカウント

dアカウントとは、ドコモが提供するアプリやサービスを利用するためのID／パスワードです。dアカウントを使えばLTEやWi-Fiなどの回線の種類や、スマートフォンやタブレット、パソコンなどの端末の種類を問わずに、多彩なサービスをより便利に利用できます。

- dアカウントについて詳しくは、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド] ▶ [dアカウント設定] ▶  ▶ [ヘルプ] をタップしてdアカウント設定のヘルプをご覧ください。

■ Googleアカウント

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

- Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントを設定する」(P.191)をご参照ください。

SIMカードロックを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ロック画面とセキュリティ】▶【SIMカードロック】▶【SIMカードをロック】
- 2 PINコードを入力▶【OK】

電源を入れたときにPINコードを入力する

- 1 PINコードの入力画面で、PINコードを入力
- 2 ☒をタップ

PINコードを変更する

- SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ロック画面とセキュリティ】▶【SIMカードロック】▶【SIM PINの変更】
- 2 現在のPINコードを入力▶【OK】
- 3 新しいPINコードを入力▶【OK】
- 4 もう一度新しいPINコードを入力▶【OK】

PINロックを解除する

- 1 PINロック解除コード（PUKコード）を入力▶☒をタップ
- 2 新しいPINコードを入力▶☒をタップ
- 3 もう一度新しいPINコードを入力▶☒をタップ

画面ロックの解除方法を設定する

本端末の電源を入れたりスリープモードを解除したりしたときに、画面ロックの解除方法（パターン／ロックNo.／パスワード）を入力するように設定できます。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ロック画面とセキュリティ】▶【画面のロック】
- 2 【パターン】／【ロックNo.】／【パスワード】のいずれかをタップ
- 3 画面の指示に従って設定

- 電源を入れるたびに設定した画面ロックの解除方法の入力を必要とするかどうかを設定できます。
一定回数入力を誤ると本端末が初期化されます。設定した画面ロックの解除方法を忘れないようにご注意ください。
- 設定が完了すると、設定メニューの「ロック画面とセキュリティ」に戻ります。
- 「ロックNo.」を選択したときは4～16桁の数字、「パスワード」を選択したときは4～16桁の英数字・記号を登録します。

4 必要に応じて「画面のロック」のギアをタップ

パターンを表示する*	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック	画面のバックライトが消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	 を押して画面のバックライトを消灯したとき、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
ロック画面メッセージ	ロック画面に表示するメッセージを入力します。

※「パターン」に設定したときのみ表示されます。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.185）した後に、 を押してスリープモードにする、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する場合

- 1 画面ロック中に  を押して画面のバックライトを点灯▶画面を上／左にスワイプ（フリック）▶画面ロックの解除方法を入力

■ 画面ロックを無効にする場合

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ロック画面とセキュリティ】▶【画面のロック】▶設定したパターン／ロックNo.／パスワードを入力▶【設定しない】▶【削除する】

❖お知らせ

- ・パターン／ロックNo.／パスワードの入力を5回連続して間違えると、画面ロックを解除できなくなります。約30秒経過してから再度画面ロック解除の操作を行ってください。
- ・設定したパターン／ロックNo.／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

指紋認証機能を設定する

本端末には指紋センサー（）が搭載されており、に登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- ・指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- ・認証性能（指で指紋センサー（）に正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、認証性能が改善されることがあります。
 - 風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
 - 指に汗や脂（ハンドクリームなど）が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手荒れしているか、指に損傷（切り傷やただれなど）がある
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー（）利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また、表面を引っかいたり、先の尖ったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。

指紋を登録する

- ホーム画面で **田** ▶ **【設定】** ▶ **【ロック画面とセキュリティ】** ▶ **【指紋設定】**
 - 指紋を登録済みの場合は画面ロックの解除方法を入力する画面が表示され、解除方法を入力すると指紋設定画面が表示されます。

2 [次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。登録が終了すると指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示されます。[完了] をタップすると登録を終了、[他の指紋を追加] をタップすると他の指紋を登録できます。
- 画面ロックの解除方法を設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。設定した解除方法は、指紋認証を利用できないときに使用できます。
- 画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は設定した解除方法を入力し、画面の指示に従って操作してください。

❖ お知らせ

- 指紋設定画面では、次の操作ができます。
 - 指紋の名前を変更するには、登録した指紋をタップ ▶ 名前を入力 ▶ [OK] をタップします。
 - 指紋を削除するには、登録した指紋をタップ ▶ [削除] ▶ [削除] をタップします。
 - 他の指紋を登録するには、[指紋を追加] をタップします。

指紋認証を行う

1 ロック画面表示中に

- 登録した指で  に触れます。
- ロック画面で画面を上／左にスワイプ（フリック）すると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

❖お知らせ

- 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、画面を上／左にスワイプ（フリック）して設定した画面ロックの解除方法を入力してください。
- 指紋認証が20回連続して認識されなかった場合は、指紋認証センサーが無効になります。画面を上／左にスワイプ（フリック）して設定した画面ロック解除方法を入力してください。

位置情報

1 ホーム画面で 【設定】 ▶ 【ロック画面とセキュリティ】 ▶ 【位置情報】

2 をタップ

3 位置情報の注意文を読んで【同意する】

- 位置情報の精度を改善するかどうかの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

モード	位置情報を特定するモードを設定します。
アプリレベルの権限	位置情報を使用するアプリの権限を確認／変更します。
スキャン	システムのアプリやサービスに Wi-Fi ネットワーク／Bluetooth 機器の検出を許可して、位置情報の精度を向上させるようにするかどうかを設定します。
位置情報サービス	Google ロケーション履歴や、Google 現在地の共有機能の設定や確認などができます。 Google アカウントの設定が必要な場合があります。
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリが表示されます。

ドコモのサービス／クラウド

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ドコモのサービス／クラウド】

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定をします。
ドコモアプリ管理	ドコモが提供するアプリの管理をしたり、通知や自動アップデートの設定をしたりします。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
オートGPS	オートGPS対応のサービスを利用するための設定をします。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するプロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモサービス初期設定	P.43
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定をします。

オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
--------------	---------------------

※お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

ユーザーとアカウント

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ユーザーとアカウント】

ユーザー	P.190
アカウントを追加	P.191
緊急情報	緊急時の初期対応で役立つ血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。 ・「連絡先」アプリからも登録や確認ができます。
自動でデータを同期	P.192
ロック画面からユーザーを追加	画面ロックの解除方法を「パターンの」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定しているとき、ロック画面のクイック設定パネル（P.54）からゲストやユーザーを追加できるようにするかどうかを設定します。

ユーザー

ユーザーを追加することで、本端末を複数のユーザーで共有できます（ユーザーやゲストが利用できる機能）。

使用者の切り替えやゲストの追加などは、クイック設定パネル（P.54）から行います。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ユーザーとアカウント】▶【ユーザー】

自分（所有者）	プロフィール情報の確認や編集ができます。
ゲスト	所有者が使用中のときに⚙️をタップすると、ゲストに電話の使用を許可するかどうかを設定できます。 ・ゲストが使用中の場合は「ゲストを削除」が表示され、タップするとゲストが使用したアプリやデータを削除できます。
ユーザーを追加	ユーザーを追加します。ユーザーを追加すると、追加したユーザーごとに初期設定が必要になります。画面の指示に従って設定してください。 ・追加したユーザーが使用中の場合は「自分（ユーザーのGoogleアカウントに設定した名前）」と表示されます。 ・ユーザーの初期設定時に「後で行う」をタップした場合は、「新しいユーザー」が追加されます。

❖ お知らせ

- 所有者とゲストを合わせて、最大5人のユーザーを登録できます。
- 所有者が使用中のときに「(ユーザー名)」の  または「新しいユーザー」の  をタップすると、電話とメッセージ (SMS) の使用を許可するかどうかを設定したり、ユーザーを削除したりできます。
- 使用者がユーザー／ゲストの場合は、表示される機能が異なったり、アプリや機能の利用が制限されたりします。

アカウントを追加する

オンラインサービスのアカウントを追加したり、削除したりできます。

- 自動同期について (P.192)

Googleアカウントを設定する

Google アカウントを本端末に設定し、Gmail や Google Play などの Google サービスを利用できます。

なお、本端末には複数の Google アカウントを設定できます。

- 1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google]
- 2 画面の指示に従って Google アカウントを設定

❖ お知らせ

- 「Google サービス」画面で Google ドライブにバックアップする旨の項目をオンにして登録した Google アカウントは、バックアップアカウント (P.195) として登録されます。
- Google アカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google Play などの Google サービスがご利用になれません。
- ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント] ▶ 設定した Google アカウントをタップ ▶ [アカウントの同期] をタップすると、自動同期を行う項目のオン／オフを設定できます。

その他のアカウントを設定する

- 1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント] ▶ [アカウントを追加]
- 2 アカウントの種類をタップ
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

❖ お知らせ

- docomo のアカウントは、お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

- 1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [ユーザーとアカウント] ▶ 削除するアカウントを選択

2 【アカウントを削除】 ▶ 【アカウントを削除】

❖お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

アカウントの自動同期を設定する

本端末とオンラインサービス上の情報を自動的に同期できます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ユーザーとアカウント】

2 「自動でデータを同期」の をタップ▶【OK】

手動同期する

自動同期がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ユーザーとアカウント】

2 アカウントを選択▶【アカウントの同期】▶同期する項目を選択

アシスト

本端末の機能紹介の確認や、本端末のカスタマイズなどを行います。また、本端末のヒントを表示する設定や、本端末が自動的に行う動作の設定、電池やメモリに関する設定ができます。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【アシスト】

Xperia™の紹介※1	新機能※2	最新のアプリ／機能について確認します。
	基本機能の確認※2	AndroidとXperia™の基本機能を確認します。
	機器をカスタマイズ	テーマや壁紙、ロック画面の時計、着信音、通知音をカスタマイズします。
	アシスト	アシスト機能について確認します。
	Xperia™サービス	Xperia™サービスを利用するためのサインインを行います。
Xperia™のヒント		Xperia™のヒント機能を利用するかどうかを設定します。
Xperia™アクション		就寝中や集中したいとき、通勤中、ゲーム中、海外にいるときに本端末が自動的に行う動作を設定します。
STAMINAモード		STAMINAモードの設定を行います（P.174）。

スマートクリーナー	アプリの利用傾向を分析して、自動でストレージとメモリを最適化するかどうかを設定します。
いたわり充電	いたわり充電の設定を行います (P.38)。

- ※ 1 以前の携帯電話の選択画面が表示された場合は、携帯電話の種類を選択するとXperia™の紹介画面が表示され、項目を選択できます。
- ※ 2 選択した以前の携帯電話の種類により表示される項目は異なります。携帯電話の種類を変更するには、Xperia™の紹介画面で ▶ [携帯電話を選択] をタップします。

ユーザー補助

1 ホーム画面で ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

ユーザー補助のショートカット	ショートカットでユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定したり、起動するショートカットサービスを設定したりします。
Xperia™ アクション	Xperia™ アクション機能 (P.192) の「ゲーム中」をオンにすると、自動的にオンになります。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒント機能を利用するかどうかを設定します。 • あらかじめ利用するための設定が必要です (P.189)。
テキスト読み上げの出力	P.194
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどの表示サイズを拡大／縮小します。
拡大操作	画面を3回タップするか、画面右下に表示される  をタップして拡大操作ができるようにするかどうかを設定します。
大きなマウスポインター	マウス使用時のポインターを大きくするかどうかを設定します。

マウスポインターが停止したらクリック	マウス使用時にポインターが停止したらクリック操作を行うようにするかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了※ ¹	 を押して通話を終了できるようにするかどうかを設定します。
画面の自動回転	P.46
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
モノラル音声	音声をモノラル再生するかどうかを設定します。
字幕	字幕を表示するかどうかを設定したり、字幕の言語や文字サイズなどを設定したりします。
高コントラストテキスト※ ²	背景色に対して文字色をくっきり表示するかどうかを設定します。
色補正※ ²	色が区別しにくい場合に色補正します。
色反転※ ²	画面の色を反転させるかどうかを設定します。

※¹ 「電源ボタンで通話を終了」がオンの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、 または音量キーを押してスリープモードを解除してから  を押すと通話を終了できます。

※² 適切に機能しない場合があります。

テキスト読み上げを設定する

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ユーザー補助】▶【テキスト読み上げの出力】

優先するエンジン	テキスト読み上げエンジンの選択や設定を行います。
言語	テキスト読み上げの言語を設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
音の高さ	テキストを読み上げる音声の高さを設定します。
再生	読み上げのサンプルを再生します。
リセット	「音声の速度」「音の高さ」の設定を標準に戻します。

※お知らせ

- 本機能の設定でテキスト読み上げを行うには、対応するテキスト読み上げアプリをダウンロードする必要があります。

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【Google】

2 各項目を設定

❖お知らせ

- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、手順2で【検索】▶【音声】▶「Bluetoothヘッドセット」のをタップします。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】

言語と入力		P.196
日付と時刻		P.197
バックアップ	Googleドライブへのバックアップ	アプリのデータや本端末の設定などを、Googleドライブにバックアップするかどうかを設定します。
	バックアップアカウント*	Googleドライブにバックアップするアカウントを設定します。 ・アカウントを設定するとバックアップコンテンツの項目が表示され、自動復元や同期などの設定ができます。
リセット	ネットワーク設定のリセット	ネットワーク設定をリセットできます。
	アプリの設定をリセット	P.173
	データの初期化	P.197
端末情報		P.198

※ 使用状況によって表示が異なる場合があります。

言語と入力

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】▶【言語と入力】

言語		P.196
画面上のキーボード	POBox Plus	P.81
	ドコモ文字編集	
	Google音声入力	
	キーボードを管理	文字入力時に切り替えて使用するソフトウェアキーボードを設定します。
物理キーボード	画面上のキーボードの表示	本端末にキーボードを接続して文字を入力するとき、ソフトウェアキーボードも表示するかどうかを設定します。
	キーボードショートカットヘルパー	本端末に接続したキーボードで利用できるショートカットを表示します。
スベルチェッカー※1※2		スベルチェックを行うかどうかを設定します。
自動入力サービス※1		自動入力サービスの選択や設定を行います。
単語リスト※1		スベルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加できます。
ポインターの速度※1		マウスやトラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

テキスト読み上げの出力※1

P.194

※1 「詳細設定」をタップすると表示されます。

※2 スベルチェッカーアプリをダウンロードする必要があります。

使用する言語を変更する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】▶【言語と入力】▶【言語】
- 2 【言語を追加】▶使用する言語を選択▶必要に応じて国・地域を選択
- 3 使用する言語の三を最上段（「1」の位置）までドラッグ

❖お知らせ

- ・間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、次のホームページのFAQをご覧ください。

<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

日付と時刻

- 日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」をオフにする必要があります。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】▶【日付と時刻】

日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンの自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
日付設定	日付を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	24時間表示にするかどうかを設定します。

❖お知らせ

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、端末内のすべてのデータおよびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態に戻ります。

- 削除されるデータにはダウンロードしたアプリや内部ストレージ内のデータ（音楽や画像など）も含まれます。
- 必ず本端末の重要なデータをバックアップしてからリセットしてください。
- リセットは充電しながら行うか、電池が十分に充電された状態で行ってください。
- 初期設定について（P.43）

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】▶【リセット】▶【データの初期化】▶【携帯電話をリセット】

2 【すべて削除】

❖お知らせ

- リセットによりプリインストールされているコンテンツが削除された場合、コンテンツによっては再度ダウンロードできます。ダウンロードするには、ホーム画面で田▶[Xperia™ Lounge Japan]▶田▶[サポート]▶[ブラウザで開きます]▶[スマートフォン/タブレット関連（プリインストールコンテンツなどの再ダウンロード）]▶[ドコモ]をタップして表示される画面から本端末を選択してください。

端末情報

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】▶【端末情報】

ソフトウェアアップデート	P.228
機器の状態	自分の電話番号や電池の状態、電池残量、電池性能などを確認できます。
法的情報	サードパーティライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
認証	P.237
使用情報	本端末の使用情報を送信するかどうかを設定します。
モデル	バージョンや各番号などを確認できます。
Androidバージョン	
Androidセキュリティパッチレベル	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時に、内部ストレージ（/storage/emulated/0）に作成されるフォルダは次のとおりです。

- 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	システムや各種アプリの設定データ、一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画が保存されます。
Download	ウェブブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画（カメラで撮影したものを除く）が保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音などが保存されます。
Pictures	静止画（カメラで撮影したものを除く）が保存されます。
Podcasts	Podcastのファイルなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードの取り付け／取り外しについて（P.34）

ファイル操作

「ファイル管理」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを操作します。

- 1 ホーム画面で田▶【ファイル管理】**
 - 本端末の内部ストレージが表示されます。
 - microSDカードを取り付けている場合は、≡をタップするとメニューに表示されます。
- 2 必要に応じてフォルダをタップ**
- 3 ファイルをタップ**
 - 対応するアプリでデータが表示されます。

❖お知らせ

- データを検索する場合は、手順2で🔍をタップしてファイル名を入力し、ソフトウェアキーボードの🔍をタップします。

■ フォルダを作成する

- 1 ホーム画面で田▶【ファイル管理】
- 2 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 田▶【新しいフォルダ】
- 4 フォルダ名を入力▶【OK】

■ フォルダまたはファイルの名前を変更する

- 1 ホーム画面で田▶【ファイル管理】
- 2 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 名前を変更するフォルダまたはファイルをロングタッチ
- 4 田▶【名前を変更】▶名前を入力▶【OK】

■ フォルダまたはファイルを削除する

- 1 ホーム画面で田▶【ファイル管理】
- 2 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 削除するフォルダまたはファイルをロングタッチ
- 4 田▶【OK】

■ フォルダまたはファイルをコピー／移動する

- 1 ホーム画面で田▶【ファイル管理】
- 2 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 コピー／移動するフォルダまたはファイルをロングタッチ
- 4 田▶【コピー ...】／【移動 ...】
- 5 任意の場所で【コピー】／【移動】

Bluetooth機能

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 対応しているBluetoothプロファイルについて (P.233)

❖ お知らせ

- Bluetooth機能のオン/オフの設定は、電源を切っても変更されません。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、約10m以上離してください。
- 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

本端末を検出可能にする

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】
- 2 【Bluetooth】▶をタップ
 - ステータスバーにが表示されます。

メニューを利用する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】
- 2 【Bluetooth】▶をタップ

検索	使用可能なBluetooth機器を再検索します。
この機器の名前を変更	他のBluetooth機器に表示される本端末の名前を変更します。
受信済みファイルを表示	他のBluetooth機器との転送履歴を表示します。

Bluetooth機器とペア設定する

本端末とBluetooth機器を接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード (PIN) の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード (PIN) は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめペア設定を行う機器側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】▶【Bluetooth】
 - 「使用可能な機器」欄に検出されたBluetooth機器名が表示されます。
- 2 ペア設定を行うBluetooth機器名をタップ
- 3 確認画面でBluetoothペア設定コード (パスコード) を確認▶【ペア設定する】
 - 「ペアリングされた機器」欄にペア設定されたBluetooth機器名が表示されます。

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

確認画面でBluetoothペア設定コード (パスコード) を確認し、【ペア設定する】をタップします。

❖ お知らせ

- ペア設定済みのBluetooth機器名の⚙️をタップすると、相手のBluetooth機器の名前を変更したり、使用目的を設定したりできます。
- ペア解除する場合は、解除するBluetooth機器名の⚙️▶【削除】をタップします。

Bluetooth機器と接続する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】▶【Bluetooth】
- 2 接続するBluetooth機器名をタップ

❖ お知らせ

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる台数が異なる場合があります。

Bluetooth機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】▶【Bluetooth】
- 2 接続中のBluetooth機器名をタップ
- 3 【OK】
 - 再接続するときは、Bluetooth機器名をタップします。

Bluetooth機能でデータを送受信する

あらかじめ、Bluetooth機能をオンにして、相手のBluetooth機器とペア設定を行ってください。

データを送信する

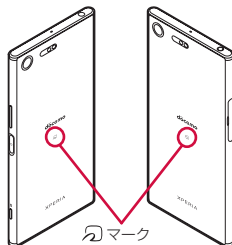
- 1 各アプリの共有メニューで【Bluetooth】
- 2 送信する相手のBluetooth機器をタップ

データを受信する

- 1 相手のBluetooth機器からデータを送信
・ステータスバーにが表示されます。
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶【着信ファイル】▶【受信する】

NFC通信

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。



- データを送信／受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください (P.204)。
- 2台の端末を平行にしてNFCマークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 端末によってNFCマークの位置が異なります。各端末のNFCマークの位置をご確認ください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリによって異なります。画面の指示に従って操作してください。

- ㊄マークを向かい合わせても、送信／受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。
- 対向機にかざす際の注意事項について (P.125)

NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにする

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】
- 2 【NFC／おサイフケータイ 設定】▶【Reader/Writer, P2P】のをタップ▶【OK】
 - 「Reader/Writer, P2P」「Androidビーム」がオンになります。
 - ステータスバーにNが表示されます。

❖お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」(P.127) 設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本端末で撮影した写真や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- あらかじめ、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください (P.204)。

データを送信する

- 1 送信するデータを画面に表示させる
- 2 受信側の端末と、㊄マークを向かい合わせる (P.125)
 - 「画面をタップしてビーム」と表示されます。
- 3 小さくなった画面をタップ

データを受信する

- 1 送信側の端末で、データ送信の操作を行う
- 2 送信側の端末と、 マークを向かい合わせる (P.125)
 - データを受信すると、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にドラッグ▶ [ビームが完了しました] をタップすると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

NFC Typeを選択する

- 1 ホーム画面で▶ [設定] ▶ [機器接続]
- 2 [NFC／おサイフケータイ 設定] ▶ [NFC Type 設定]
- 3 [FeliCa/Type A/Type B (標準)]
／ [FeliCa/Type A] ／ [FeliCa/Type B] のいずれかをタップ

パソコンとの接続

パソコンに接続すると、内部ストレージや microSD カードのデータをパソコンとやり取りできます。

❖お知らせ

- 表示される画面はパソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- 著作権で保護された画像や音楽などは操作ができない場合があります。

USBケーブル A to Cでパソコンに接続する

- 以下のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。
 - Microsoft Windows 10
 - Microsoft Windows 8.1
 - Microsoft Windows 7
 - Macで操作するには「Xperia Companion」をダウンロードする必要があります。
- 対応機種や推奨システムなどについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/software/xperia-companion/>

1 本端末をUSBケーブル A to C 01（別売品）などでパソコンに接続（P.41）

- パソコンに本端末のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。
- 本端末上にソフトウェアのインストールを確認する画面が表示されたら、[スキップ] または [キャンセル] をタップしてください。
- 本端末上に「USB接続の用途」画面が表示され、USB接続モードを選択できます。

この機器を充電する	充電のみを行います。
電源として利用する	接続されている他の機器を充電します。 接続機器が対応している必要があります。
ファイルを転送する	パソコン上の画面に本端末がポータブルデバイスとして表示され、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。
この機器をMIDIとして利用する	本端末をMIDI入力に使用します。
USBデジタリング	P.167

❖お知らせ

- USB接続モードを変更するには、ステータスバーを下にドラッグ▶USB接続モードの通知をタップし、USB接続モードを選択します。

USBケーブル A to Cを安全に取り外す

- データ転送中にUSBケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 データ転送中でないことを確認し、USBケーブル A to Cを本端末とパソコンから取り外す

DLNA 機器との接続

Wi-Fi機能を利用して、他のDLNA (Digital Living Network Alliance) 機器と本端末のメディアファイルを共有し再生できます。

- あらかじめ他のDLNA機器と同一のWi-Fiネットワークに接続しておきます (P.161)。

メディアサーバーを設定する

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【機器接続】▶【メディアサーバー】
- 2 「メディア共有」の●をタップ
 - ステータスバーにが表示されます。
 - [サーバー名の変更] をタップすると、DLNA機器上に表示される本端末 (メディアサーバー) の名前を変更できます。
- 3 DLNA 機器のアプリで本端末へ接続
 - 本端末にメディアサーバーへのアクセス要求が通知されます。
- 4 本端末のメディアサーバー設定画面でアクセス許可待ちのDLNA機器をタップ▶アクセスレベルを設定
 - DLNA機器が登録されます。
 - [今回のみ許可する] をタップした場合は、表示されるメッセージを確認▶[OK] をタップします。
- 5 DLNA 機器で本端末のメディアファイルを選択して再生

国際ローミングサービス (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、メッセージ (SMS) は設定の変更なくご利用になれます。国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

■ 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

※ お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
メッセージ (SMS)	○	○	○	○
メール※	○	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」 (P.210) をオンに設定する必要があります。

※ お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、「通知パネル」 (P.53) または「クイック設定パネル」 (P.54) で確認できます。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

- **ご契約について**
 - WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **充電について**
 - 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。
- **料金について**
 - 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
 - ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」(P.100)を「遠隔操作開始」に設定する必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます(P.215)。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国外での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

モバイルネットワーク設定の「通信事業者」(P.210)の選択を「自動」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」をオンに設定する必要があります。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】
- 2 「データローミング」のをタップ▶注意文を読んで【OK】

通信事業者の設定

初期状態は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】▶【通信事業者】
- 2 【ネットワークを検索】
 - 注意文が表示された場合は、【OK】をタップします。
 - ネットワークの検索を行います。
- 3 【利用可能なネットワーク】の中から使用するネットワークをタップ

❖お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「自動」に戻す場合は、手順2で【自動】をタップします。

優先ネットワークタイプの設定

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】▶【優先ネットワークタイプ】
- 2 【4G/3G/GSM（自動）】／【4G/3G】／【3G/GSM】／【GSMのみ】のいずれかをタップ
 - ・「4G/3G/GSM（自動）」を選択すると、利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

国際ローミング中にVoLTEを利用する

国際ローミング中にVoLTEが利用可能なときはVoLTEを使用できるように設定します。

- 1 ホーム画面で田▶【設定】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】
- 2 「VoLTEを有効」のをタップ

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」がオンの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- ・海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- ・補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ・日付と時刻の設定について（P.197）

お問い合わせについて

- ・本端末やドコモ nanoUIM カードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- ・一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

海外に到着後、本端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されなかったりすることがあります。
この場合、発信履歴から電話をかけることはできません。

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。

1 ホーム画面で ▶ 「ダイヤル」タブをタップ

2 + ([0] をロングタッチ) ▶ 国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 をタップ

- 国際ダイヤルアシストの「自動変換機能」（P.214）がオンの場合は、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。日本に発信する場合は「発信」をタップします。
- ビデオコールをかける場合は：▶
「ビデオコール」をタップします。

4 通話が終了したら をタップ

❖ お知らせ

- ビデオコールについて詳しくは、「電話をかける／受ける」（P.90）をご参照ください。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップ
- 2 電話番号を入力
 - ・一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。
- 3 をタップ
 - ・「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は「元の番号で発信」をタップします。
- 4 通話が終了したらをタップ

海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話を受けることができます。

- 1 着信画面で（左）を（右）にドラッグ

- 2 通話が終了したらをタップ

❖お知らせ

- ・国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

- 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合
日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
- 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合
滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号 - 81 - 90（または80、70）- XXXX - XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- ・海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で : をタップ

2 【通話設定】▶【海外設定】

ローミング時 着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着 信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合に、メッセージ(SMS)でお知らせします。
ローミングガ イダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
国際ダイヤル アシスト	P214
ネットワーク サービス	P214

国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で : をタップ

2 【通話設定】▶【海外設定】

3 【国際ダイヤルアシスト】

自動変換機能	国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号	自動変換機能で使用する国番号を選択します。
国際プレ フィックス	自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- ・あらかじめ、「遠隔操作設定」(P.100)を「遠隔操作開始」に設定する必要があります。
- ・海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- ・海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で : をタップ

2 【通話設定】▶【海外設定】

3 【ネットワークサービス】▶目的のサービスを選択

遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に、発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	P.214
ローミングガイダンス（有料）	P.214
留守番電話サービス（有料）	電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。 別途お申し込みが必要です。
転送でんわサービス（有料）	かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。 別途お申し込みが必要です。

4 画面の指示に従って操作

5 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「優先ネットワークタイプ」（P.211）を「4G/3G/GSM（自動）」に設定してください。
- 「通信事業者」（P.210）の選択を「自動」に設定してください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.228、P.232）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

本端末の電源が入らない

- 電池切れになっていませんか。→P.37

画面が動かない、電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、と音量キーの上を同時に約8秒間押し、連続して3回振動した後に指を離すと本端末の電源を強制的に切ることができます。
※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中の表示に変わらない）

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しく取り付けられていますか。→P.40
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末と正しく接続されていますか。→P.40
- USBケーブル A to C 01（別売品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して通知LEDが消灯する（充電が停止する）、充電が完了しない、または電池残量が減少する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は充電してください。→P.37

いたわり充電が開始されない

- 充電の習慣に規則性を見つけれない場合は学習が完了しないため、いたわり充電は開始されません。→P.38

満充電にならない

- いたわり充電中に充電器を取り外すと、満充電されていない場合があります。満充電にするには、ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [バッテリー] ▶ [いたわり充電] ▶  をタップしていたわり充電をオフにし、通常の充電に切り替えてください。→P.38

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口／スピーカー周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 操作中や充電中、充電しながらアプリ、テレビ視聴や動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
- 本端末の温度が高くなると、通知パネルに本端末の温度が上昇した旨が表示され、テザリングなどいくつかのアプリやサービスが使用できなくなる場合があります。
この場合は、本端末の温度が下がるのを待ってから、再度ご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外の状態が続く場所では機内モードに設定するか、電源を切ってください。→P.42、P.170
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.37
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 複数のアプリを起動していませんか。
使用していないアプリを終了してください。→P.69
- Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、設定をオフにしてください。→P.161、P.201
- STAMINAモードを設定すると、本端末の動作と一部の機能を制限し、電池の消費を抑えることができます。→P.174

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.42
- 画面ロックを設定していませんか。→P.185
- 「手ぶくろモード」をオンにしているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチスクリーンに接触させて操作してください。→P.176

タップしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い

- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。

ドコモnanoUIMカードが認識されない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.31

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」がオンになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→P.197

端末動作が不安定

- お買い上げ後に本端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（初期状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。

セーフモードを起動するには、電源を切った状態で  を1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたら音量キーの下を長く押し続けてください。

電源を入れている状態では、 を1秒以上押す▶「電源を切る」をロングタッチすると、本端末が再起動してセーフモードで起動できます。

セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。

セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

※ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。

※ アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。

※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→P.173
- アプリの権限を許可していますか。→P.49、P.172

■ 通話

をタップしても発信できない

- 機内モードを設定していませんか。→P.170

着信音が鳴らない

- 「着信音の音量」を最小にいませんか。→P.178
- 次の機能を起動していませんか。
 - マナーモード→P.46
 - 機内モード→P.170
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていますか。→P.99
- 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていますか。→P.98
- 着信拒否の設定をしていませんか。→P.100

通話ができない（場所を移動しても■の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P.31、P.42
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は■を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否の設定をしていませんか。→P.100
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

電話発信後にアプリが起動する

- モバイルセレクト対象の電話番号へ発信すると、モバイルセレクトアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

■ 画面

ディスプレイが暗い

- 「スリープ」を短い時間で設定していませんか。→P.175
- 画面の明るさを変更していませんか。→P.176
- 「明るさの自動調節」をオンにしている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります。→P.175
- 近接／照度センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.29
- 使用中に本端末の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 通話音量を変更していませんか。→P.96

■ メール

メールを自動で受信しない

- Eメールアカウントの設定で「確認頻度」を「手動」に設定していませんか。→P.115

■ カメラ

カメラで撮影した写真や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないか、フィルムを貼り付けていないかを確認してください。
- 撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に切り替えてください。→P.136
- 「電子式手ブレ補正」を設定して撮影してください。→P.143

フラッシュ撮影時に写真や動画が白っぽくなる

- カメラレンズ周辺に指やカバーがあると、フラッシュの光が反射して撮影した写真や動画に悪影響を与える場合があります。

■ テレビ

フルセグ／ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
- 現在地のチャンネルを登録していますか。→P.133

■ おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P.127
- 本端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.125

■ 海外利用

海外で本端末が使えない (が表示されている場合)

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

海外で本端末が使えない (が表示されている場合)

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。
利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
-「優先ネットワークタイプ」を「4G/3G/GSM (自動)」に設定してください。→P.211

-「通信事業者」の選択を「自動」に設定してください。→P.210

- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P.42

海外でデータ通信ができない

- 「データローミング」をオンにしてください。→P.210

海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

- 利用停止目安額を超えていませんか。
「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

海外で電話がかかってこない

- 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→P.214
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを取り付け直してください。→P.34

画像を表示しようとすると「」／「×」が表示される、またはデモやプレビューで「」／「×」が表示される

- 画像データが壊れている場合は「」／「×」が表示されることがあります。

■ Bluetooth機能

Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない

- Bluetooth機器（市販品）側を検出可能な状態にしてから、本端末側からペア設定を行う必要があります。ペア設定済みの機器を解除して再度ペア設定を行う場合には、本端末とBluetooth機器（市販品）の両方でペア設定を解除してから行ってください。→P.202

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

- 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 外部機器接続

USBケーブル A to Cなどで接続した外部機器が認識されない

- 外部機器を取り付け直してください。ただし、機器によっては検出されない場合があります。

■ 地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。
「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P.37、P.189
- 「オートGPS動作設定」にチェックが入っていますか。→P.189

エラーメッセージ

● 通信サービスなし／通信サービスはありません

- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
- ドコモnanoUIMカードが正しく機能していません。

ドコモnanoUIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。

改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

● モバイルネットワークが利用できません

ドコモnanoUIMカードを正しく取り付けて（P.31）、電波の届く場所まで移動してください。

● ビデオコールへの切り替えに失敗しました

ビデオコールへの切り替えができない場合に 표시됩니다。通話相手がビデオコールに対応していない場合やキャッチホンを使用している場合、音声ガイダンス中などは、切り替えができません。

● 発信できませんでした

音声通話やビデオコールの発信ができない場合に 표시됩니다。ビデオコール中は別の相手への音声発信はできません。また、相手がビデオコールに対応していない場合や音声通話中などは、ビデオコール発信はできません。

● 通常の通話はアクセス制御によって制限されています。

回線の混雑などにより通常通話音声サービスが受けにくい場合に 표시됩니다。

● すべての通話はアクセス制御によって制限されています。

回線の混雑などにより通常／緊急通話音声サービスが受けにくい場合に 표시됩니다。

● アクセス制限が変更されました

音声サービスやデータサービスが受けられない場合に 표시됩니다。

● SIMカードはロックされています

PINコード（P.183）を正しく入力してください。

● SIMカードはPUKでロックされています

PUK（PINロック解除コード）（P.183）を正しく入力してください。

● PINロック解除コードがロックされています

PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

● 空き容量わずか

内部ストレージの空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部の機能やアプリが動作しない場合があります。不要なアプリをアンインストール(P.172)してください。

● メモリーがいっぱいです。

内部ストレージやmicroSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除(P.200)して容量を確保してください。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモ nanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) 15710 (無料)

一般電話などからの場合

 0120-783-360

受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で
 [遠隔サポート] ▶ [このスマートフォンから発信する] ▶  を
タップします。

2 ホーム画面で [遠隔サポート]

- 3 **【遠隔サポートの接続画面に進む】▶
【同意する】**
- 4 **ドコモからご案内する接続番号を入力▶【開始】**
- 5 **接続後、遠隔サポートを開始**

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ※テレビアンテナケーブル SO01は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」(P.216)をご覧ください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※修理の際は、当社の品質基準を満たした再利用部品を使用することがあります。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。

- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
 - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- **本端末および付属品の改造はおやめください。**
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。**
 - ・ 銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。

アップデートが必要な場合には、ステータスバーの  (ソフトウェアアップデート) やドコモのホームページにてご案内いたします。ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

- ・機能の向上、追加
- ・操作性の向上
- ・品質改善
- ・セキュリティパッチの最新化

❖お知らせ

- ・アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

注意事項

- ・アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ・アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ・Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- ・パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- ・インストール中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- ・インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- ・アップデートが完了すると再起動します。
- ・アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- ・PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ・アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ・アップデート中に送信されてきたメッセージ（SMS）は、SMSセンターに保管されます。
- ・アップデートには時間がかかることがあります。
- ・以下の場合はアップデートができません。
 - 通話中
 - 圏外の状態のとき
 - 親機としてデザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 本体メモリに必要な空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ・国際ローミング中にアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続（ドコモnanoUIMカード未挿入）で行ってください。
- ・インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- ・本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- ・アップデート中は電源を切らないでください。
- ・ダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- ・アップデートが不要な場合は、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

- ・アップデート可能期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェアをアップデートする

- ・アップデートは、お客様自身でインストールを実行していただく必要があります。ステータスバーを下にドラッグ▶通知をタップ▶[インストール]をタップしてください。
- ・更新ファイルの自動ダウンロードやアップデートの自動更新の設定を変更するには、ホーム画面で田▶[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[ソフトウェアアップデート]▶「自動ダウンロード／自動更新」の●／●をタップしてください。
- ・「自動ダウンロード／自動更新」をオフにした場合、「ステータスバーにアイコンが表示されない場合」(P.230)の操作を行ってください。

ステータスバーにアイコンが表示されない場合

以下の操作でアップデートを実行できます。

- 1 ホーム画面で田▶[設定]▶[システム]▶[端末情報]
- 2 [ソフトウェアアップデート]▶[今すぐ更新]
 - ・ダウンロードが開始されます。

3 インストールを開始する旨のメッセージが表示される▶[インストール]

- ・インストールが開始されます。

■ アップデートの実施についての確認画面が表示される場合

アップデートの内容によっては、[今すぐ更新]をタップ後、アップデートの実施についての確認画面が表示されます。

1 実施方法を選択

- ・「今すぐ実施 (Wi-Fiのみ)」: Wi-Fi接続により、即時に更新ファイルをダウンロードします。
- ・「予約して実施 (Wi-Fi/XI)」: Wi-Fi接続またはXi/FOMA*により、自動的に予約された時刻に更新ファイルをダウンロードします。

※ Xi/FOMAによるダウンロードができない場合、「予約して実施 (Wi-Fiのみ)」と表示されます。spモードを設定されていない場合は、「予約して実施 (Wi-Fiのみ)」をタップしてもアップデートを実行できません。Wi-Fi接続をご利用ください。

2 【ダウンロードしてインストール】／ 【ダウンロードのみ】

- 「ダウンロードしてインストール」：ダウンロード完了後、自動でインストールが実行されます。[OK] をタップしなくても、約10秒後にインストールが実行されます。
- 「ダウンロードのみ」：更新ファイルのダウンロードが完了しても、自動でインストールは実行されません。インストールする場合、お客様がインストールを実行する必要があります。

❖ お知らせ

- 本端末のソフトウェアが最新の場合には、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ダウンロードが途中で中断すると、それまでダウンロードしたデータは最長14日間保持されます。ダウンロードを再開する場合は、通知パネルの（ダウンロードが中断されました）から再開できます。
- 「予約して実施（Wi-Fi／Xi）」を選択した場合、ダウンロードの時刻は自動的に設定されます。[戻る] ▶ [予約して実施（Wi-Fi／Xi）] をタップすると、ダウンロードの時刻は再度、自動的に設定されます。

アプリのアップデート

アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

- **通知アイコンからアップデートする**
アップデート完了後、再起動し、通知アイコン（アップデートを完了しました）が表示されます。

ステータスバーを下にドラッグ▶ [アップデートを完了しました] ▶ 画面の指示に従って操作し、アップデート一覧でアプリのアップデートを行ってください。

- **Playストアからアップデートする**
ホーム画面で [Playストア] ▶ ▶ [マイアプリ&ゲーム] をタップし、各アプリのアップデートを行ってください。

❖ お知らせ

- 各アプリのOSバージョン対応状況については、アプリの提供元にご確認ください。

パソコンに接続して更新する

あらかじめパソコンに「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェアをインストールする必要があります。

ソフトウェアのインストール方法などについては、次のホームページをご参照ください。
<http://www.sonymobile.co.jp/support/>

主な仕様

■ 本体

品名	SO-04J	
サイズ	高さ約156mm× 幅約77mm× 厚さ約7.9mm	
質量	約191g	
内蔵メモリ	ROM：64GB ^{*1} RAM：4GB	
外部メモリ対応	microSD 2GBまで microSDHC 32GBまで microSDXC 256GBまで対応 (2017年11月現在)	
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約500時間
	GSM	静止時（自動）：約350時間
	LTE	静止時（自動）：約460時間
連続通話時間	FOMA／3G	約1150分
	GSM	約740分
	VoLTE通話（音声）	VoLTE：約1140分 VoLTE（HD+）：約960分
充電時間	ACアダプタ 06：約185分 DCアダプタ 05：約200分 ^{*2}	
フルセグ連続視聴時間	約560分	
ワンセグ連続視聴時間	約610分	

ディスプレイ	種類／ 発色数	TFT (Triluminos® Display for Mobile／トリルミナス® ディスプレイ for mobile) 16,777,216色
	サイズ	約5.5inch
	解像度	横2160×縦3840ピクセル (4K)
撮像素子	種類	カメラ：裏面照射積層型 CMOS フロントカメラ：裏面照射積層型 CMOS
	サイズ	カメラ：1/2.3inch フロントカメラ：1/3.0inch
カメラ有効画素数		カメラ：約1920万画素 フロントカメラ：約1320万画素
カメラ記録画素数 (最大時)		カメラ：約1920万画素 フロントカメラ：約1320万画素
ズーム		カメラ：(静止画) 最大約8.0倍 (121段階)、(動画) 最大約8.0倍 (121段階) フロントカメラ：ー
静止画記録サイズ		カメラ： 5056×3792 (19MP 4:3) 5504×3096 (17MP 16:9) 4000×3000 (12MP 4:3) 4608×2592 (12MP 16:9) フロントカメラ： 4160×3120 (13MP 4:3) 4192×2358 (10MP 16:9)

動画記録サイズ		ビデオカメラ： 3840×2160 (4K 16:9) 1920×1080 (フルHD 16:9) 1280×720 (HD 16:9) 640×480 (VGA 4:3) フロントビデオカメラ： 1920×1080 (フルHD 16:9) 1280×720 (HD 16:9) 640×480 (VGA 4:3)
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n ^{※3} /ac ^{※3} 準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz)
Bluetooth	バージョン	5.0 ^{※4}
	出力	power class 1
	見通し通信距離 ^{※5}	約10m以内
	対応プロファイル／コーデック ^{※6} (バージョン)	HFP (1.7) (mSBC：16kHz)、HSP (1.2)、OPP (1.2)、SPP (1.2)、HID (1.0)、A2DP (1.2) (LDAC/aptX HD/aptX/SBC)、AVRCP (1.6)、PBAP (1.2)、PAN (PAN-NAP (1.0) / PANU (1.0))、HOGP (1.0)、MAP (1.2)
	ヘッドセット接続端子	サイズ 直径3.5mm 極数 ^{※7} 5極

※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。
使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.179)をご参照ください。

- ※ 2 USBケーブル A to C 01 (別売品) を使用した
場合の充電時間です。
- ※ 3 MIMOに対応しています。
- ※ 4 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器
は、Bluetooth SIGが定めている方法で
Bluetooth標準規格に適合していることを確認
しており、認証を取得しております。ただし、
接続する機器の特性や仕様によっては、操作方
法が異なったり、接続してもデータのやり取り
ができなかったりする場合があります。
- ※ 5 通信機器間の障害物や、電波状況により変化し
ます。
- ※ 6 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕
様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※ 7 4極ヘッドセットについてはCTIA規格に準拠し
たものに対応しています。
- ・ 連続待受時間とは、電波を正常に受信でき
る状態での目安です。静止時の連続待受時
間とは、電波を正常に受信できる静止状態
での平均的な利用時間です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気
温などの使用環境、利用場所の電波状態
(電波が届かない、または弱い場所) など
により、待受時間は約半分程度になる場合
があります。
- ・ 連続通話時間とは、電波を正常に送受信で
きる状態で通話に使用できる時間の目安で
す。

- ・ インターネット接続を行うと通話 (通信) ・
待受時間は短くなります。
また、通話やインターネット接続をしなく
てもメールを作成したり、カメラやアプリ
を起動したりすると通話 (通信) ・待受時
間は短くなります。
- ・ 充電時間とは、内蔵電池が空の状態から充
電したときの目安です。低温時に充電する
と、充電時間は長くなる場合があります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.8V
公称容量*	3230mAh

※ 連続使用可能時間などの目安となる電池の容量です。

■ テレビアンテナケーブル SO01

サイズ	長さ 約148mm
質量	約5g

■ ファイル形式（メディア）

本端末は次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種 類	ファイル形式
音	AAC-LC (.mp4, .m4v, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .ts, .aac, .m4a), AAC+ (.mp4, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .ts, .aac), eAAC+ (.mp4, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .ts, .aac), AAC-ELD (.mp4, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2), AMR-NB (.3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .amr), AMR-WB (.3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .awb), FLAC (.flac), MP3 (.avi, .mp3), MIDI (.mid, .midi, .smf, .xmf, .mxmf, .rtttl, .rtx, .ota, .imy), Vorbis (.mkv, .webm, .mka, .ogg), PCM (.wav, .aiff, .aif, .aifc), Opus (.mkv, .webm, .mka, .ogg), ALAC (.m4a), WMA (.wma), DSD (.dsf, .dff)
静止画*	JPEG (.jpg, .jpeg), GIF (.gif), PNG (.png), BMP (.bmp), WBMP (.wbmp), Webp (.webp), DNG (.dng), CR2 (.cr2), NEF (.nef), NRW (.nrw), ARW (.arw), RW2 (.rw2), ORF (.orf), RAF (.raf), PEF (.pef), SRW (.srw)

種 類	ファイル形式
動画	H.263 (.mp4, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2), H.264 (.mp4, .m4v, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .ts, .avi, .mkv), H.265 (.mp4, .mkv), MPEG-2 Video (.ts), MPEG-4 Video (.mp4, .m4v, .3gp, .3gpp, .3g2, .3gpp2, .avi), VP8 (.mkv, .webm), VP9 (.mkv, .webm)

※ 本端末でのカメラ撮影時はJPEGで保存されます。

■ ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（1GB）に 保存できる録画時間	約320分
-------------------------------	-------

■ 動画の撮影時間（目安）

内部ストレージに保存 できる撮影時間	1件あたり：最大約360分
-----------------------	---------------

※ ビデオ解像度が1920×1080（フルHD）の場合の撮影時間です。

対応言語

表示言語

アゼルバイジャン語（ラテン）／マレー語／ボスニア語／カタルーニャ語／チェコ語／デンマーク語／ドイツ語／エストニア語／英語／スペイン語／バスク語／フィリピン語／フランス語／ガリシア語／クロアチア語／インドネシア語／アイスランド語／イタリア語／ジャワ語／ラトビア語／リトアニア語／ハンガリー語／オランダ語／ノルウェー語（書籍語）／ポーランド語／ポルトガル語／ルーマニア語／アルバニア語／スロバキア語／スロベニア語／セルビア語／スンダ語／フィンランド語／スウェーデン語／タタール語／ベトナム語／トルコ語／ギリシャ語／ベラルーシ語／ブルガリア語／カザフ語／マケドニア語／ロシア語／ウクライナ語／グルジア語／アルメニア語／ヘブライ語／アラビア語／ペルシャ語（ダリー語）／マラーティー語／ヒンディー語／ベンガル語／パンジャブ語／タミル語／テルグ語／カンナダ語／マラーヤラム語／タイ語／韓国語／日本語／中国語（簡体）／中国語（繁体）

文字言語（文字入力）

アフリカーンス語／アカン語／アルバニア語／アラビア語／アラゴン語／アルメニア語／アッサム語／アストゥリアス語／アゼルバイジャン語／バンバラ語／バシキール語／バスク語／ベラルーシ語／ベンガル語／ボド語／ボスニア語／ブルトン語／ブルガリア語／ビルマ語／カタルーニャ語／チェチェン語／中国語（香港）／中国語（簡体）／中国語（台湾）／チュヴァシ語／コルシカ語／クロアチア語／チェコ語／デンマーク語／ディベヒ語／ドゥグリー語／オランダ語／英語（オーストラリア）／英語（カナダ）／英語（イギリス）／英語（アメリカ）／エスペラント語／エストニア語／フェロー語／フィジー語／フィンランド語／フランス語（カナダ）／フランス語（フランス）／フリジア語／フリウリ語／ガリシア語／グルジア語／ドイツ語（スイス）／ドイツ語（ドイツ）／ギリシャ語／グジャラート語／ハイチ語／ハウサ語／ヘブライ語／ヒリガイノン語／ヒンディー語／インド英語／ハンガリー語／アイスランド語／イボ語／インドネシア語／アイルランド語／イタリア語／日本語／ジャワ語／カバルド語／カンナダ語／カシミール語（インド）／カザフ語／クメール語／コンカニ語／コンカニ語（カンナダ）／韓国語／クルド語（クルマンジー）／クルド語（ソラニー）／キルギ

ス語／ラーオ語／ラトビア語／リンガラ語／リトアニア語／低地ドイツ語／ルクセンブルク語／マケドニア語／マイティリー語／マダガスカル語／マレー語／マラヤーラム語／マルタ語／マニプリ語／マオリ語／マラーティー語／モンゴル語／ンコ語／ネパール語／ノルウェー語（書籍語）／ノルウェー語（新ノルウェー語）／オック語／オリヤー語／オロモ語／パシュトー語／ペルシャ語／ポーランド語／ポルトガル語（ブラジル）／ポルトガル語（ポルトガル）／パンジャブ語／ルーマニア語／ロシア語／ルワンダ語／サンスクリット語／サントアル語／スコットランド・ゲール語／セルビア語／セルビア語（キリル）／ソト語／シンド語（インド）／シンド語（パキスタン）／シンハラ語／スロバキア語／スロベニア語／ソマリ語／ナンデベレ語／スペイン語（スペイン）／スペイン語（ラテンアメリカ）／スペイン語（アメリカ）／スンダ語／スワヒリ語／スワジ語／スウェーデン語／タガログ語／タジク語／中央アトラス・タマジクト語／タミル語／タタール語／テルグ語／タイ語／チベット語／ツォンガ語／ツワナ語／トルコ語／トルクメン語／ウドムルト語／ウクライナ語／ウルドゥー語／ウイグル語／ウズベク語／ヴェンダ語／ベトナム語／ウェールズ語／コサ語／サハ語／イディッシュ語／ヨルバ語／ズールー語

■ 文字言語（音声入力） Google 音声入力による

認証および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

1 ホーム画面で田▶【設定】▶【システム】

2 【端末情報】▶【認証】

■ VCCIについて

本機は、VCCI自主規制措置運用規程に基づき技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 SO-04J の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※¹ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この携帯電話機の頭部における SAR の最大値は 1.71W/kg※²、身体に装着した場合の SAR の最大値は 0.43W/kg※³です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもあります、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ

<http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phone

This model SO-04J mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^(*) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition. The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone

when tested for use near the head is 1.71 W/kg^(*)2) and when worn on the body is 0.43 W/kg^(*)3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To

date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

Sony Mobile Communications, Inc. Website:
<http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/> (in Japanese only)

※ 1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

- ※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
- ※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

Important Information United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES. The SO-04J Series mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic

and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User Guide. The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.97 W/kg*, when worn on the body is 0.35 W/kg* and when WiFi hotspot mode is 0.74 W/kg. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 15 mm from the body.

For devices which include “WiFi hotspot” functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

**** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://>**

transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCCID PY7-54254H. Additional information on SAR can be found on the Mobile Manufacturers Forum EMF website at <http://www.emfexplained.info/>.

- * In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- ** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-04J has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

The highest SAR value for this model phone when tested by Sony for use at the ear is 1.21 W/kg (10g). In the case where the phone is worn on the body, the highest tested SAR value is 0.89 W/kg (10g).

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines.

Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.



■ Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C (+140°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.



- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Mobile Communications Inc. authorised personnel should perform service. 
- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipments.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, when required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.
- Avoid contact with your skin for long periods. The heat generated when your device is transmitting, including processing apps or charging, can irritate your skin. It is recommended to use a headset for long phone calls.

■ Children

Warning! Keep out of reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that can be detached and create a choking hazard. 

■ Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected, there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications Inc. branded may pose increased safety risks.

■ Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Mobile Communications Inc. service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Mobile Communications Inc. branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Mobile Communications Inc. battery that has been qualified with the product as per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 15 cm (6 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Mobile Communications Inc. does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

■ Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Mobile Communications Inc. could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

■ Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: <http://www.sonymobile.co.jp>.

■ Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

■ Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Mobile Communications Inc. does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading

content to the mobile phone from known, reliable sources.

■ Accessories

Use only Sony Mobile Communications Inc. branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications Inc. does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications Inc. Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal



batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications Inc. Contact Center for information. Never use municipal waste.



■ Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

■ Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check if you have inserted the memory card correctly.

- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

■ Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Mobile Communications Inc. does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that

interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity for SO-04J



Hereby, Sony Mobile declares that the radio equipment type PM-1030-BV is in compliance with Directive: 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/doc/>

Manufacturer: Sony Mobile
Communications Inc, 4-12-3 Higashi-Shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo, 140-0002, Japan

For EU product compliance: Sony
Belgium, bijkantoor van Sony Europe
Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935
Zaventem, Belgium

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンスサーがその権利を有するものとします。ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。

お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。

本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。

本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。

お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取消されます。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。

本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。

本契約の準拠法は、日本法とします。

上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。

本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

・「FOMA」「spモード」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD WING」「WORLD CALL」「トルカ」「おまかせロック」「おサイフケータイ」「iD」「公共モード」「エリアメール」「i コンシェル」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「Xi」「Xi/クローッシィ」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」「かざしてリンク」「あんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」「しゃべってコンシェル」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「LIVE UX」「マイマガジン」「トルカ」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「iD」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「i コンシェル」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「あんしんスキャン」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「フォトコレクション」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。

- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。



- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2008-2017 All Rights Reserved.
- Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、WPA2™、Wi-Fi DirectおよびWi-Fi CERTIFIED MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。



- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Xperiaは、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- PlayStation、DUALSHOCKは、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの商標または登録商標です。
- Sony、スマイルシャッター、プレミアムおまかせオート、FeliCa、Reader、トリルミナス、Triluminos、STAMINAはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SmartAR®は、ソニー株式会社が開発した拡張現実技術で、同社の日本国内及びその他の国における登録商標または商標です。

- POBoxおよびPOBoxロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。

POBox®

POBoxは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- 🌀はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- NFCはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。

- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google Play」ロゴ、「Gmail」「Gmail」ロゴ、「Googleマップ」「Googleマップ」ロゴ、「Google Calendar」「Google Calendar」ロゴ、「YouTube」「YouTube」ロゴ、「Google ドキュメント」「Google ドキュメント」ロゴ、「Google Chrome」「Google Chrome」ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- "DLNA"、"DLNA"ロゴはDigital Living Network Allianceの商標  または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」「PlayReady」と「Microsoft Exchange ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Microsoft Word」は、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReadyコンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスをします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化しよう申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます（<http://www.mpegla.com>を参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを取り付ける
- 2 本端末の電源を入れる
- 3 SIMロック解除コードを入力▶
[ロック解除]

あ

アカウントを削除	191	アプリ情報	171
アカウントを追加	191	アプリ選択画面	48
明るさのレベル	176	アプリと通知	171
アクセスポイント		アプリの権限	49
初期化	165	アプリボタン	
設定	164	docomo LIVE UX	82
アシスト	192	Xperia ホーム	56
アプリ		アラーム	155
アンインストール (アプリ画面)	86	アラーム音	179
アンインストール (docomo LIVE UX)	83	アラームの音量	178
アンインストール (Playストア)	123	アルバム	146
アンインストール (Xperia ホーム)	70	暗証番号	
一覧	64	ネットワーク暗証番号	182
移動	86	PINコード	183
検索	87	PINロック解除コード (PUKコード)	183
ホーム画面に移動 (docomo LIVE UX)	85	あんしんスキャン	64
ホーム画面に追加 (Xperia ホーム)	69	いたわり充電	38
リセット	173	位置情報	188
docomo LIVE UX	85	位置情報サービス	151
Xperia ホーム	63	オンにする	152
アプリ画面		英語ガイダンス	100
おすすめ	86	エリアメール	117
切り替え (docomo LIVE UX)	85	遠隔サポート	224
切り替え (Xperia ホーム)	64	遠隔操作設定	100
シンプルホーム	60	応答拒否メッセージ	94
追加	71	オートGPS	189
並べ替え	71	おサイフケータイ	124
フォルダ	70	おサイフケータイ対応サービス	125
docomo LIVE UX	85	かざしてリンク対応サービス	126
Xperia ホーム	63	タップ&ペイ	128
		NFC／おサイフケータイ ロック	127

音設定	177	緊急通報	91
音声検索	74	近接／照度センサー	29
音量調節	178	クイック設定パネル	54
か		言語と入力	196
海外設定	214	検索	73
外観	171	公共モード（電源OFF）設定	100
壁紙		国際電話	
シンプルホーム	62	滞在先でかける	212
docomo LIVE UX	84	日本からかける	92
Xperiaホーム	58	国際ローミングサービス	208
カメラ	135	故障かな？と思ったら	216
解像度	137	さ	
カメラアプリ	137	災害用キット	64
起動	135	自局電話番号	
クイック起動	135	マイプロフィール	104
撮影画面	136	システム	195
撮影モード	136	自動でデータを同期	192
写真撮影	138	指紋認証機能	186
設定	141	登録	187
動画撮影	140	認証	188
画面設定	175	写真再生	147
画面ロック	185	写真撮影	138
解除	43	しゃべってコンシェル	64
設定	185	充電	37
カレンダー	64	卓上ホルダを使って	38
キーアイコン	45	パソコンを使って	41
機器が回転したときの表示	46	ACアダプタを使って	40
機器接続	170	DCアダプタを使って	40
きせかえ	83	仕様	232
機内モード	170	省電力機能	175
キャッチホン	99	初期設定	43
緊急省電力モード	48	シンプルホーム	60
緊急速報「エリアメール」	117		

スグ電	縦画面表示	46
スグ電設定	端末情報	198
スクリーンショット	着信音	179
スケジュール	着信音の音量	178
作成	着信拒否設定	100
表示	着信通知	99
スケッチ	通知アイコン	51
ステータスアイコン	通知音	179
ステータスバー	通知の設定	174
ストップウォッチ	通知パネル	53
ストレージ	通知LED	50
外部ストレージ	通話音量	96
内部ストレージ	通話設定	99
スプレッドシート	データ使用	165
スライド	データ保管BOX	65
スリープモード	テーマ	58
世界時計	手書き入力	76
設定メニュー	テキスト編集	79
ソフトウェアアップデート	テキスト読み上げの出力	194
ソフトウェアキーボード	テザリング	166
切り替え	Bluetoothテザリング	168
	USBテザリング	167
	Wi-Fiテザリング	167
た	テレビ	129
タイマー	設定	132
ダイヤル	テレビアンテナケーブル	130
タスクマネージャ	テレビリンク	132
タッチスクリーン	テレビを見る	131
スクロール	番組表	132
スワイプ	録画	134
タップ	録画／視聴予約	132
ドラッグ	テンキー	76
ピンチ	電源を入れる／切る	42
フリック	伝言メモ	98
ロングタッチ	転送でんわサービス	99

電卓	65	電話帳一覧画面	104
電池残量	37	動画再生	148
電話	90	動画撮影	140
アプリ起動中	94	ドキュメント	65
受ける	93	トグル入力	78
音声出力先	95	時計	155
かける	90	ドコモ音声入力	76
スピーカー	95	ドコモデータコピー	157
着信音量	93	ドコモのサービス／クラウド	189
着信拒否	93	ドコモへのお問合せ	100
通話終了	95	ドコモメール	109
通話中画面	95	ドコモ文字編集	81
伝言メモで応答	93	ドコモ nanoUIMカード	30
保留	96	取り扱い上のご注意	20
ミュート	95	ドライブ	65
電話帳	103	トルカ	129
インポート	107		
エクスポート	107	な	
お気に入り	105	ニュース	66
共有	106	ネットワークサービス	99
クラウド	104	ネットワークとインターネット	160
クラウドメニュー	106		
グループ作成	107	は	
グループ設定	106	バイブレーション	
新規登録	104	本体設定	177
全件データ送信（共有）	107	マナーモード	46
着信音	106	バックライト	42
電話をかける	105	発信者番号通知	99
統合	106	発信履歴	97
ビデオコールをかける	105	削除	98
マイプロフィール一斉送信	106	電話帳に登録	97
マイプロフィール（表示）	104	発信履歴画面	97
マイプロフィール（編集）	107	バッテリー	174
連絡先削除	106	はなして翻訳	66
連絡先を編集	105		

番号通知お願いサービス	99	シンプルホーム	60
比吸収率 (SAR)	238	設定	59
日付と時刻	197	追加 (docomo LIVE UX)	84
ビデオ	66	追加 (Xperia ホーム)	56
ビデオコール	90	テーマ	58
アプリ起動中	94	バックアップ	87
受ける	93	フォルダ (docomo LIVE UX)	82
かける	90	フォルダ (Xperia ホーム)	57
着信拒否	93	復元	87
ファイル管理	199	docomo LIVE UX	82
フォト	66	Xperia ホーム	56
フォトコレクション	66	ホワイトバランス	176
不在着信	98		
ブックマーク	120		
フリック入力	78		
フルセグ	129		
分割画面	72		
防水／防塵性能	23		
ホームアプリ			
切り替え	73		
シンプルホーム	60		
ドコモ	82		
Xperia	56		
ホーム画面	55		
ウィジェット (docomo LIVE UX)	82		
ウィジェット (Xperia ホーム)	57		
壁紙 (シンプルホーム)	62		
壁紙 (docomo LIVE UX)	84		
壁紙 (Xperia ホーム)	58		
画面切り替え	58		
きせかえ	83		
グリッド	58		
削除 (docomo LIVE UX)	84		
削除 (Xperia ホーム)	57		
ショートカット	57		

ま

マイプロフィール	
表示	104
編集	107
マイマガジン	88
マクドナルド	66
マナーモード	46
マネレコ	66
ミュージック	66
迷惑電話ストップサービス	99
メッセージ (SMS)	109
受信	110
設定	111
送受信者ごとに削除	111
送信	109
電話帳に登録	110
メッセージの削除	111
メディアの音量	178
メディアプレイヤー	149
再生	149
メモ	66

文字入力	74
設定	81
入力方法	76
編集	79

や

ユーザー	190
ユーザー辞書	80
ユーザーとアカウント	190
ユーザー補助	193
ユーザーやゲストが利用できる機能	190
優先ネットワークタイプ	211
横画面表示	46

ら

リセット	197
留守番電話サービス	99
連絡先	67
連絡先引用2.3	80
ロック画面とセキュリティ	180

わ

ワンセグ	129
------	-----

英数字

Amazon ショッピング	67
Amazon Kindle	67
Bluetooth	201
受信	203
送信	203
端末名	201
ペア設定	202
Chrome	118

シークレットタブ	119
設定	120
タブの追加	119
テキストの検索	120
ブックマーク	120
履歴	121
リンク	120
dアカウント	183
dポイント	67
dマーケット	122
dメニュー	122
DLNA機器に接続	207
メディアサーバー	207
Duo	67
Eメール	112
削除	114
受信	113
初期設定	112
送信	113
転送	114
添付ファイルの保存	114
返信	114
Eメールアカウント	
設定	112
変更	115
Facebook	67
Gmail	116
Google	195
Googleアカウント	191
Google音声検索	74
Google音声入力	76
Google検索	73
Googleマップ	152
経路検索	153
現在地検出	152

検索	153	Twitter	68
情報の表示	153	USBストレージ	179
ストリートビュー	153	USB接続	206
GPS機能	151	VoLTEを有効	211
オンにする	152	VPN	169
i コンシェル	67	What's New	68
iDアプリ	128	Wi-Fi	161
Instagram	67	Wi-Fi Direct	163
LAWSON	68	WORLD CALL	92
Lifelog	68	WORLD WING	208
Messenger	68	Xperia Lounge Japan	68
microSDカード	34	YouTube	68
フォーマット	180	3Dクリエイター	68
マウント解除	36		
Movie Creator	68		
NFC	203		
ワンタッチ機能	204		
NFC／おサイフケータイ ロック	127		
PCキーボード	76		
PINコード	183		
PINロック解除コード（PUKコード）	183		
Playストア	123		
アンインストール	123		
インストール	123		
Playムービー＆TV	68		
Play Music	68		
PlayStation	68		
POBox Plus	81		
日本語入力 使い方ガイド	74		
Reader by Sony	68		
SIMカードロック	184		
SIMロック解除	256		
SMS	109		
Specific Absorption Rate (SAR)	239		
STAMINAモード	174		

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー ▶ [My docomo (お客様サポート)]

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

※ システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にならない場合があります。

※ [My docomo] のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「d アカウントの ID / パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

【マナーモード】(P.46)

着信音や操作音など、本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

【公共モード(電源OFF)】(P.100)

電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

【バイブレーション】(P.177)

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【伝言メモ】(P.98)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の着信を録音します。

その他にも、留守番電話サービス (P.99)、転送でんわサービス (P.99) などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクルネットワーク
www.nttdocomo.co.jp/recycle

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ (自社・他社製品を問わず回収)

総合お問い合わせ先 (ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・ 修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 -81-3-6832-6600 (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 -81-3-6832-6600 (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方へのくばりを忘れずに。



**危険です、
歩きスマホ。**



**キケン！
水ぬれ充電**



SONY®

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

'17.11 (2.1版) 1309-1393.3